

付録

目次

付録 1	予備アンケート調査票	2
付録 2	本アンケート調査票・本アンケート調査票（回答例）	9
付録 3	本アンケート回答結果（改善可能性・実施可能性）	87
付録 4	改善策の標準偏差（改善可能性・実施可能性）	124
付録 5	参考及び引用 URL	128

付録1 予備アンケート調査票

教育委員会の皆さまへ

～学校給食における地場産物の利用割合に関する
予備アンケートへのご協力のお願い～

滋賀県立大学 環境科学部 環境政策・計画学科 金谷研究室 3回生の楠彩花と申します。私は現在、「学校給食における地場産物の利用割合の実態把握と向上させる方法の提案」というテーマで、卒業研究を進めております。その一環として、文部科学省のHPに記載されている教育委員会の皆さまに、学校給食における地場産物の利用割合の現状や課題点を伺いたく、予備アンケートをお願いしています。

そのため、ご多忙中のところ大変恐縮でございますが、ご教示可能な範囲で結構ですので、このワードファイルにご回答いただき、わたくし楠 (of12akusunoki@ec.usp.ac.jp) に 2017年3月30日までにメール添付にてお送りいただければ、ありがたく存じます。

なお、ご教示いただいた情報につきましては、厳重に管理し、用済み後は確実に消去(及び廃棄)いたしますのでご安心ください。どうぞよろしく申し上げます。

予備アンケートに関して不明な点や質問などがございましたら、下記のE-mailアドレスまでお問合せいただければ幸いです。

2017年3月9日(木)

〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町 2500

滋賀県立大学 環境科学部 環境政策・計画学科
金谷研究室 3回生 楠彩花 (調査担当者)

E-mail : of12akusunoki@ec.usp.ac.jp

金谷研究室 TEL : 0749-28-8279

FAX : 0749-28-8349

<なお、以下は指導教員からのお願い文です>

楠彩花の指導教員の、滋賀県立大学環境科学部環境政策・計画学科 教授 金谷健と申します。このたびは、大変ご面倒なお願いをさせていただき、申し訳ございません。

差支えない範囲で結構ですので、ご教示いただければありがたく存じます。どうかよろしくお願ひいたします。

なお、当研究室の研究内容等は、下記サイトをご参照いただければ幸いに存じます。

金谷研究室 HP <http://kanayaken.web.fc2.com/>

学校給食における地場産物利用割合に関する予備アンケート

滋賀県立大学 環境科学部 環境政策・計画学科

金谷研究室 3回生 楠彩花

E-mail : of12akusunoki@ec.usp.ac.jp

[ご教示いただくに当たってのお願い]

・選択形式の質問は、[1.はい 2.いいえ 3.その他] のいずれかを残してください。

例) 「いいえ」の場合

回答欄 1.はい 2.いいえ 3.その他 → 回答欄 2.いいえ

・問5は別紙の Excel ファイルにお答えください。

・問6は [① ② ③ ④ ⑤] のあてはまるものすべてを残してください。

・問8は [1.増えた 2.減った 3.変わらない 4.その他] のいずれかを残してください。

・各問の回答について、補足説明や回答できない理由がございましたら回答欄下の備考欄にご記入ください。

・なお、この調査票に関してご質問等がございましたら、上記の金谷研究室の楠まで、E-mail にてご連絡いただきますようお願いいたします。

お手数ですが、最初に、市名・部署名・ご担当者名をご教示ください。

市名 : _____

部署名 : _____

ご担当者名 : _____

※このアンケートにおきまして、「地場産物」という文言は、当該都道府県で生産、収穫、水揚された食料の総称として用います。

※このアンケートにおきまして、「地場産物の利用割合」という文言は、給食に使用している「地場産物の食材数」を給食に使用している「全食材数」で割った値です。

問1. 学校給食における地場産物の利用割合を把握していますか。※国の調査対象期間である6月と11月のデータで結構です。

回答欄 1.はい 2.いいえ 3.その他

「はい」と答えた方は、以下の空欄に数値を入力してください。

回答欄 利用割合の数値 _____ %

<備考欄>

--

以下、「はい」の方は問2へ、「いいえ」「その他」の方は問3へお願いします。

問2. 最新の学校給食における地場産物の利用割合の詳細データ（別紙のExcelファイルにデータ例あり）は、お持ちでしょうか。

回答欄 1.はい 2.いいえ 3.その他

「いいえ」「その他」の方は問3へお願いします。

「はい」の方はお持ちのデータの年度を以下の空欄に入力し、そのデータを送っていただくか、または、そのデータが乗ったサイトのURLを教えてください。

回答欄 _____ 年度

URL :

<備考欄>

--

問3. 給食に利用している食材の中に、当該都道府県で生産されてはいるが、全く利用されていない食材はありますか。

回答欄 1.はい 2.いいえ 3.その他

<備考欄>

--

問4. 給食に利用している食材の中に、当該都道府県で生産されてはいるが、一部しか利用されていない食材はありますか。

回答欄 1.はい 2.いいえ 3.その他

<備考欄>

以下、問3、問4の片方または、両方「はい」の方は問5へ、「いいえ」「その他」の方は問6へお願いします。

問5. 全く利用されていない食材、または、一部しか利用されていない食材について、具体的な食材名と利用されていない理由をお答えください。※別紙のExcelファイルに主な食材リスト作成しておりますので、そちらでお答えください。最新版のみで結構です。

問6. 当該都道府県が学校給食における地場産物の利用割合を上げるために行っている取り組みはありますか。あてはまるものすべてを残してください。

回答欄 1.はい 2.いいえ 3.その他

回答欄 ① ② ③ ④ ⑤

- ① 学校給食関係者と生産者の話し合いの場をつくっている
- ② 地場産物を安定的に供給する体制を整えている
- ③ 学校給食のニーズに応えた地場産物を供給している
- ④ 地場農産物の十分に供給している
- ⑤ その他（具体的に備考欄にお書きください）

<備考欄>

以下、「はい」の方は問7へ、「いいえ」「その他」の方は問8へお願いします。

問 7. 取り組みの具体的な内容を教えてください。(上で選んだ項目それぞれについて詳しくお願いします。)

回答例) ①学校給食関係者との話し合いは月に1回で2時間程度、参加者は栄養士、地区の学校の校長先生、...計15名。話し合いの内容は...

回答欄

①
②
③
④
⑤

<備考欄>

--

問 8. 昨年、または、過去3年(平成27, 26, 25年度)と比べて地場産物の利用割合は増えましたか、減りましたか、変わりませんか。

回答欄 1.増えた 2.減った 3.変わらない 4.その他

<備考欄>

--

以下、「増えた」「減った」の方は問9へ、「変わらない」「その他」の方は問10へお願いします。

問 9. どうしてですか。考えられる要因をお答えください。

回答例) <減った場合>台風が地元の畑に直撃し、壊滅的な被害を受けたため野菜の価格が高騰し、給食費の面から地元の野菜を取り入れることが難しくなったため。

回答欄

--

<備考欄>

--

問 10. 学校給食に地場産物を取り入れていくにあたって、課題となっているものは何ですか。

回答例) 安定的な地場産物の数量を確保すること。

回答欄

--

<備考欄>

--

問 11. どうすれば、学校給食における地場産物の割合が上がると考えられますか。

回答例) 栄養士だけでなく、農産物生産販売組合や自治体関係者を交えた地場産物の利用割合を向上させるための話し合いを月に 1 回は開催する。その際に、前月の結果を共有し、そのことを踏まえて、次月の取組みに活かす。

回答欄

--

<備考欄>

--

問 12. 今後、楠が卒業研究で、「学校給食における地場産物の割合の実態把握と向上させる方法の提案」について研究していく上で、「こうした点を調査研究すべき、あるいは調査研究するとおもしろい」とお考えの点がございましたら、是非ご教示いただければ幸いです。

回答欄

<備考欄>

以上です。ご教示、ありがとうございました。

予備アンケート調査票 (Excel)

問 2.最新の学校給食における地場産物の利用割合の詳細データ (使用している食材それぞれの産地) は、お持ちでしょうか。

データ例

種類	その他の地域
青果類	
じゃがいも	北海道・鹿児島
キャベツ	愛知
きゅうり	群馬・徳島・宮崎
ごぼう	青森・茨城
こまつな	
しょうが	高知
たまねぎ	北海道・佐賀・長崎
チンゲンサイ	静岡
にんじん	徳島
白ねぎ	群馬・埼玉・鳥取
青ねぎ	京都・岡山・愛媛
ほうれんそう	
肉類	その他の地域
牛肉	北海道・青森・岩手・茨城・栃木・埼玉・千葉・神奈川・長野・岐阜・静岡・愛知・三重・大阪・奈良・和歌山
豚肉	岩手・茨城・栃木・千葉・福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄
鶏肉	京都・鳥取・徳島・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島
魚介類・海藻類	その他の地域
さわら	対馬・韓国
冷凍えび	インドネシア・インド・タイ・ベトナム
しらす干し	
煮干し	広島・山口・香川・愛媛・佐賀・長崎・大分
削節(いわし)	静岡・和歌山・愛媛・高知・福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島
はたはた	
竹輪	北海道・アメリカ・タイ・ベトナム・インド
ひじき	韓国
わかめ	韓国
一般食品	その他の地域
いりだいず	北海道
木綿豆腐	アメリカ・カナダ・石川
油揚げ	アメリカ・カナダ・石川
マカロニ	カナダ・アメリカ
スパゲティ	カナダ・アメリカ
マッシュルーム水煮	岡山
たけのこ水煮	徳島・福岡・熊本・宮崎・鹿児島
片栗粉	北海道

問 5.全く利用されていない食材、または、一部しか利用されていない食材について、具体的な食材名と利用されていない理由をお答えください。(回答例)

<回答例> ↓当てはまる方に色をお付けください。

→具体的な食材名を入力ください。

※当てはまらない食材は無視していただいて結構です。
※また、追加したい食材名がございましたら、空欄に入力ください。

種類	地場産物		具体的な理由	備考
	利用			
青果類	全くない	一部		
さつまいも			需要量〇〇kg に対して、供給 量は△△kgの ため。	
じゃがいも				
かぼちゃ				
キャベツ				
きゅうり				
ごぼう				
こまつな				
しょうが				
たまねぎ				
なす				
にら				
にんじん				
青ねぎ				
パセリ				
ピーマン				
ぶどう				
肉類	使用		具体的な理由	備考
	すべて	一部		
牛肉				
豚肉				
鶏肉				

魚介類・ 海藻類	使用		具体的な理由	備考
	すべて	一部		
いわし				
ます				
さわら				
しらす干し				
煮干し				
削節(いわし)				
まぐろ油漬				
ひじき				
わかめ				
冷凍野菜	使用		具体的な理由	備考
	すべて	一部		
冷凍えだまめ				
冷凍グリーンピース				
冷凍ほうれんそう				
冷凍さやいんげん				
冷凍むきえだまめ				
冷凍カリフラワー				
冷凍ブロッコリー				
冷凍かぼちゃ				
冷凍おろしだいこん				
冷凍ホールコーン				
冷凍カットコーン				
一般食品	使用		具体的な理由	備考
	すべて	一部		
だいず水煮				
冷凍豆腐				
冷凍生揚げ				
冷凍油揚げ				
豆乳				
スパゲティ				
つきこんにやく				
はるさめ				
ホールトマト				
乾燥うめ				
干しいたけ				
大根葉(乾燥)				
米粉				
片栗粉				

問 5.全く利用されていない食材、または、一部しか利用されていない食材について、具体的な食材名と利用されていない理由をお答えください。(回答欄)

平成28年度 月

種類	地場産物		具体的な理由	備考
	利用			
青果類	全くない	一部		
じゃがいも				
キャベツ				
きゅうり				
ごぼう				
こまつな				
しょうが				
たまねぎ				
チンゲンサイ				
にんじん				
白ねぎ				
青ねぎ				
ほうれんそう				
肉類	利用		具体的な理由	備考
	全くない	一部		
牛肉				
豚肉				
鶏肉				

魚介類・ 海藻類	利用		具体的な理由	備考
	全くない	一部		
さわら				
冷凍えび				
しらす干し				
煮干し				
削節(いわし)				
はたはた				
竹輪				
ひじき				
わかめ				
一般食品	利用		具体的な理由	備考
	全くない	一部		
いりだいず				
木綿豆腐				
油揚げ				
マカロニ				
スパゲティ				
マッシュルーム水煮				
たけのこ水煮				
米粉				
片栗粉				
冷凍野菜	利用		具体的な理由	備考
	全くない	一部		
冷凍えだまめ				
冷凍グリーンピース				
冷凍ほうれんそう				
冷凍さやいんげん				
冷凍むきえだまめ				
冷凍カリフラワー				
冷凍ブロッコリー				
冷凍かぼちゃ				
冷凍おろしだいこん				
冷凍ホールコーン				
冷凍カットコーン				

付録2 本アンケート調査票

教育委員会の皆様へ

～小学校給食における地場産物の利用割合に関する 本アンケートへのご協力のお祝い～

滋賀県立大学 環境科学部 環境政策・計画学科 金谷研究室 4 回生の楠彩花と申します。今年、1 月～3 月のアンケート調査へのご協力ありがとうございました。私は現在、「小学校給食における地場産物の利用割合の実態把握と向上させる方法の提案」というテーマで、卒業研究を進めております。その一環として、前回のアンケートにお答えいただいた教育委員会の皆様に、学校給食における地場産物の利用割合を向上させる方法の実現可能性を伺いたく、本アンケートをお願いしています。そのため、ご多忙中のところ大変恐縮でございますが、アンケートにご協力いただければありがたく存じます。なお、アンケートにご協力いただいた皆様のうち、調査結果の送付を希望される皆様には、卒業論文完成後（平成 30 年 3 月初旬）に卒業論文要旨を送付させていただきます。よろしくお祝い申し上げます。

このアンケート票に、ご教示可能な範囲で結構ですので、ご回答いただき、わたくし楠宛 (of12akusunoki@ec.usp.ac.jp) に 2017 年 11 月 28 日までにメール添付にてお送りいただければ、幸いです。ご教示いただいた情報につきましては、厳重に管理し、用済み後は確実に消去及び廃棄いたしますのでご安心ください。本アンケートに関して不明な点や質問などがございましたら、下記の E-mail アドレスまでお問合せいただければ幸いです。どうぞよろしくお願い致します。

2017 年 11 月 7 日(火)

〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町 2500

滋賀県立大学 環境科学部 環境政策・計画学科
金谷研究室 4 回生 楠彩花 (調査担当者)

E-mail : of12akusunoki@ec.usp.ac.jp

金谷研究室 TEL : 0749-28-8279

FAX : 0749-28-8349

<なお、以下は指導教員からのお願い文です>

楠彩花の指導教員の、滋賀県立大学環境科学部環境政策・計画学科 教授 金谷健と申します。このたびは、大変ご面倒なお願いをさせていただき、申し訳ございません。

差支えない範囲で結構ですので、ご教示いただければありがたく存じます。どうかよ

ろしくお願いいたします。なお、当研究室の研究内容等は、下記サイトをご参照いただければ幸いに存じます。金谷研究室 HP <http://kanayaken.web.fc2.com/>

小学校給食における地場産物利用割合に関する本アンケート

滋賀県立大学 環境科学部 環境政策・計画学科
金谷研究室 4回生 楠彩花
E-mail : of12akusunoki@ec.usp.ac.jp

[ご教示いただくに当たってのお願い]

- ・基本的には当てはまる選択肢に1つ○(マル)をつけてください。
- ・下線部には文字や数値をご記入ください。
- ・このアンケート調査票について、ご質問等がございましたら、楠まで電話またはE-mailにて連絡いただきますよう、お願い申し上げます。

お手数ですが、最初に、市名・部署名・ご担当者名をご教示ください。

市名 : _____

部署名 : _____

ご担当者名 : _____

なお、アンケートにご協力いただいた市の方のうち、調査結果の送付を希望される方には卒業論文完成後（平成30年3月中旬）に卒業論文の要旨を送付させていただきます。

卒業論文要旨の送付を希望されますか。

- A. 希望する（ 郵送 ・ メール送付 : どちらかに○）
B. 希望しない

目次

P2	目次
P3	はじめに
P4～P5	大問1 問1
P6～P7	大問2 問2 問3（※別紙Excelファイル） 問4
P8	情報公開可否

はじめに

このアンケートに出てくる文言の定義は以下の通りとします。

「単独調理」...学校に設置された調理場において調理する方式

※自校方式も同義

「共同調理」...共同調理場（学校給食センター）において一括調理し各校に配送する方式※

給食センター方式も同義

「単独献立」...調理場ごとに献立を作成する方式

「統一献立」...市町村内や地域ブロック内の学校給食が同じ献立を作成する方式

※共同献立も同義

「共同購入」...市町村や市町村学校給食会が一括して購入する方式

※一括購入も同義

「個別購入」...学校や調理場ごとに食材を購入する方式

※単独購入も同義

「地場産物」...当該都道府県で生産、収穫、水揚された食料の総称

「地場産物の利用割合」...給食に使用している「地場産物の食材数」を給食に使用している

「全食材数」で割った値

大問 1. 給食の概要について

※小学校給食における地場産物の利用割合を向上させるための課題や改善策は、給食の概要に関係していると考えているため、お聞きしています。

問1. 貴市の給食方式についてお答えください。A～Fそれぞれで当てはまるものに○（マル）をつけてください。その他を選んだ方は、下の欄に詳しい内容をご記入ください。また、わからない場合は、補足欄に「不明」とお答えください。E. と F. に関しては、数値をご記入ください。

A. 調理場方式（ 単独調理 ・ 共同調理 ・ その他 ）

※共同調理とお答えくださった方は、センター数もご教示願います。

（センター数： カ所）

その他：

*補足欄

B. 献立（ 単独献立 ・ 統一献立 ・ その他 ）

その他：

*補足欄

C. 食材の購入方法（ 共同購入 ・ 個別購入 ・ その他 ）

その他：

*補足欄

D. 1食当たりの小学校給食費

(~159円 ・ 160~169円 ・ 170~179円 ・ 180~189円 ・
190~200円 ・ 200~209円 ・ 210~219円 ・ 220~229円 ・
230円~)

※1食当たりの給食費は把握していないが、年間給食費または月間給食費、実施回数は把握しているという方は、補足欄にご記入ください。

*補足欄

E. 給食を提供している小学校数 _____ 校

*補足欄

F. 給食を提供している対象人数（児童+先生等） 約 _____ 人

*補足欄

大問 2. 地場産物の利用割合を向上させるための課題

※前回の予備アンケートを参考に、大きく4つに分けた課題（安定的な供給量の確保・価格・品質・流通）のより具体的な内容を以下の様に考えています。

以下の内容を参考に、問2. 問3. にお答えください。

a. 安定的な供給量の確保

- ・生産者について（生産者の確保、生産者の高齢化、後継者不足）
- ・農業の特徴について（近郊農業、特産品がない、収穫時期と使用時期の乖離）
- ・農地について（農地減少、青果店の減少、農業の活性化が必要）
- ・生産体制について（生産者の情報不足、手間がかかる、市場、青果業者への保障）
- ・提供数が多い

b. 価格

- ・最低価格業者との契約が必要

c. 品質

- ・給食に最適な食材が必要（調理しやすいもの、献立に組み込みやすい品目）
- ・農薬使用や虫などの考え方

d. 流通

- ・納入時間
- ・納入方法
- ・関係機関との連携（八百屋との兼ね合い）

問2. 貴市で現在よりも多く、学校給食に地場産物を取り入れていくにあたって、主に課題となっているものは何ですか。以下 a~f から当てはまるもの最大3つに○(マル)をつけてください。また、a~c については改善の可能性が少しでもある食材が具体的にございましたら、最大3つまでご記入ください。

() a. 安定的な供給量の確保 (対象品目: _____)

() b. 価格 (対象品目: _____)

() c. 品質 (対象品目: _____)

() d. 流通

() e. その他「_____」

() f. 特に課題はない

※補足欄

※当てはまるものが1つの場合は問3へお進みください

以上の3つ又は2つのうち、特に重要な課題となっている項目を左から1番重要な順にお答えください。

回答欄) _____ → _____ → _____

問3. 問2でご回答いただいた課題について、改善策によってどれほど改善可能性があるのか、またどれほど実施可能性があるのか、5段階評価でご教示いただければ幸いです。改善可能性については、当てはまる課題についてだけ、ご回答をお願いします。

なお、問3については、別添のExcelファイルに、次の手順でご記入ください。

- ①ワークシート「問3 改善策の改善可能性・実施可能性」をお開きください。
- ②問2でご回答いただいた課題に、すべて○（マル）を選択してください。
- ③○を選択した課題それぞれについて、
 - * 「問3の回答欄」をクリックいただきますと、別ワークシートに移動します。改善可能性を5段階評価でご教示ください。なお、回答にあたっては、「問3の回答例」をご参照いただければ幸いです。
- ④実施可能性については、全員お答えいただけると幸いです。

問4. 最後に、こちらのアンケートを通して何かコメントがございましたら、今後の研究に役立てるため、ご自由にご記入ください。

コメント欄)

情報公開の可否について

今回お答えいただいた内容は、卒業研究や学会発表等のみに使用します。その際、市が特定されて困る質問がございましたら、お手数ですが以下の設問番号に○（マル）をしてください。

大問1 問 1 1-A 1-B 1-C 1-D 1-E 1-F

大問2 問 2

問 3 3-a 3-b 3-c 3-d 3-e 実施可能性

問 4

全て

該当なし

以上です。ご教示ありがとうございました。

本アンケート回答例

教育委員会の皆様へ

～小学校給食における地場産物の利用割合に関する
本アンケートへのご協力のお祝い～

滋賀県立大学 環境科学部 環境政策・計画学科 金谷研究室 4 回生の楠彩花と申します。

今年、1 月～3 月のアンケート調査へのご協力ありがとうございました。私は現在、「小学校給食における地場産物の利用割合の実態把握と向上させる方法の提案」というテーマで、卒業研究を進めております。その一環として、前回のアンケートにお答えいただいた教育委員会の皆様に、学校給食における地場産物の利用割合を向上させる方法の実現可能性を伺いたく、本アンケートをお願いしています。

そのため、ご多忙中のところ大変恐縮でございますが、アンケートにご協力いただければありがたく存じます。なお、アンケートにご協力いただいた皆様のうち、調査結果の送付を希望される皆様には、卒業論文完成後（平成 30 年 3 月初旬）に卒業論文要旨を送付させていただきます。よろしくお祝い申し上げます。

このアンケート票に、ご教示可能な範囲で結構ですので、ご回答いただき、わたくし楠宛 (of12akusunoki@ec.usp.ac.jp) に 2017 年 11 月 28 日までにメール添付にてお送りいただければ、幸いです。ご教示いただいた情報につきましては、厳重に管理し、用済み後は確実に消去及び廃棄いたしますのでご安心ください。本アンケートに関して不明な点や質問などがございましたら、下記の E-mail アドレスまでお問合せいただければ幸いです。どうぞよろしくお願い致します。

2017 年 11 月 7 日(火)

〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町 2500

滋賀県立大学 環境科学部 環境政策・計画学科

金谷研究室 4 回生 楠彩花 (調査担当者)

E-mail : of12akusunoki@ec.usp.ac.jp

金谷研究室 TEL : 0749-28-8279

FAX : 0749-28-8349

<なお、以下は指導教員からのお願い文です>

楠彩花の指導教員の、滋賀県立大学環境科学部環境政策・計画学科 教授 金谷健と申します。このたびは、大変ご面倒なお願いをさせていただき、申し訳ございません。

差支えのない範囲で結構ですので、ご教示いただければありがたく存じます。どうかよろしくお願いたします。なお、当研究室の研究内容等は、下記サイトをご参照いただければ幸いに存じます。金谷研究室 HP <http://kanayaken.web.fc2.com/>
小学校給食における地場産物利用割合に関する本アンケート

滋賀県立大学 環境科学部 環境政策・計画学科
金谷研究室 4回生 楠彩花
E-mail : of12akusunoki@ec.usp.ac.jp

[ご教示いただくに当たってのお願い]

- ・基本的には当てはまる選択肢に1つ〇(マル)をつけてください。
- ・下線部には文字や数値をご記入ください。
- ・このアンケート調査票について、ご質問等がございましたら、楠まで電話またはE-mailにて連絡いただきますよう、お願い申し上げます。

お手数ですが、最初に、市名・部署名・ご担当者名をご教示ください。

市名 : くすのき市
部署名 : くすのき市教育委員会 教育部 学校教育課
ご担当者名 : 楠 彩花

なお、アンケートにご協力いただいた市の方のうち、調査結果の送付を希望される方には卒業論文完成後（平成30年3月中旬）に卒業論文の要旨を送付させていただきます。

卒業論文要旨の送付を希望されますか。

- A. 希望する（ 郵送 ・ メール送付 : どちらかに〇）
B. 希望しない

目次

P2	目次
P3	はじめに
P4～P5	大問1 問1
P6～P7	大問2 問2 問3（※別紙 Excel ファイル） 問4
P8	情報公開可否

はじめに

このアンケートに出てくる文言の定義は以下の通りとします。

「単独調理」...学校に設置された調理場において調理する方式

※自校方式も同義

「共同調理」...共同調理場（学校給食センター）において一括調理し各校に配送する方式※

給食センター方式も同義

「単独献立」...調理場ごとに献立を作成する方式

「統一献立」...市町村内や地域ブロック内の学校給食が同じ献立を作成する方式

※共同献立も同義

「共同購入」...市町村や市町村学校給食会が一括して購入する方式

※一括購入も同義

「個別購入」...学校や調理場ごとに食材を購入する方式

※単独購入も同義

「地場産物」...当該都道府県で生産、収穫、水揚された食料の総称

「地場産物の利用割合」...給食に使用している「地場産物の食材数」を給食に使用している

「全食材数」で割った値

大問 1. 給食の概要について

※小学校給食における地場産物の利用割合を向上させるための課題や改善策は、給食の概要に関係していると考えているため、お聞きしています。

問2. 貴市の給食方式についてお答えください。A～Fそれぞれで当てはまるものに○（マル）をつけてください。その他を選んだ方は、下の欄に詳しい内容をご記入ください。また、わからない場合は、補足欄に「不明」とお答えください。E. と F. に関しては、数値をご記入ください。

A. 調理場方式（ 単独調理 ・ **共同調理** ・ その他 ）

※共同調理とお答えくださった方は、センター数もご教示願います。

（センター数： 3 カ所 ）

その他：

*補足欄

B. 献立（ 単独献立 ・ **統一献立** ・ その他 ）

その他：

*補足欄

例) 市内すべてで統一献立を採用している。

市内を3ブロックに分けて統一献立を採用している。

C. 食材の購入方法（ **共同購入** ・ 個別購入 ・ その他 ）

その他：

*補足欄

例) 教育委員会で一括購入している。

D. 1食当たりの小学校給食費（平均）

（ ～159円 ・ 160～169円 ・ 170～179円 ・ 180～189円 ・
190～200円 ・ 200～209円 ・ 210～219円 ・ 220～229円 ・
230円～ ）

※1食当たりの給食費は把握していないが、年間給食費または月間給食費、実施回数は把握しているという方は、補足欄にご記入ください。

*補足欄

例) 平均年間給食費 48000円 (188回)

平均月間給食費 3930円 (22回)

E. 給食を提供している小学校数

15 校

*補足欄

F. 給食を提供している対象人数（児童＋先生等）

約 5000 人

*補足欄

大問 2. 地場産物の利用割合を向上させるための課題

※前回の予備アンケートを参考に、大きく4つに分けた課題（安定的な供給量の確保・価格・品質・流通）のより具体的な内容を以下の様に考えています。

以下の内容を参考に、問 2. 問 3. にお答えください。

a. 安定的な供給量の確保

- ・生産者について（生産者の確保，生産者の高齢化，後継者不足）
- ・農業の特徴について（近郊農業，特産品がない，収穫時期と使用時期の乖離）
- ・農地について（農地減少，青果店の減少，農業の活性化が必要）
- ・生産体制について（生産者の情報不足，手間がかかる，市場，青果業者への保障）
- ・提供数が多い

b. 価格

- ・最低価格業者との契約が必要

c. 品質

- ・給食に最適な食材が必要（調理しやすいもの，献立に組み込みやすい品目）
- ・農薬使用や虫などの考え方

d. 流通

- ・納入時間
- ・納入方法
- ・関係機関との連携（八百屋との兼ね合い）

問 2. 貴市で現在よりも多く、学校給食に地場産物を取り入れていくにあたって、主に課題となっているものは何ですか。以下 a～f から当てはまるもの最大 3 つに○(マル)をつけてください。また、a～c については改善の可能性が少しでもある食材が具体的にございましたら、最大 3 つまでご記入ください。

- a. 安定的な供給量の確保（対象品目：キャベツ）
- b. 価格（対象品目：_____）
- c. 品質（対象品目：_____）
- d. 流通
- e. その他「_____」
- f. 特に課題はない

＊補足欄

※当てはまるものが1つの場合は問3へお進みください

以上の3つ又は2つのうち、特に重要な課題となっている項目を左から1番重要な順にお答えください。

回答欄) a → e → b

問3. 問2でご回答いただいた課題について、改善策によってどれほど改善可能性があるのか、またどれほど実施可能性があるのか、5段階評価でご教示いただければ幸いです。改善可能性については、当てはまる課題についてだけ、ご回答をお願いします。

なお、問3については、別添のExcelファイルに、次の手順でご記入ください。

- ①ワークシート「問3 改善策の改善可能性・実施可能性」をお開きください。
- ②問2でご回答いただいた課題に、すべて○（マル）を選択してください。
- ③○を選択した課題それぞれについて、
 - * 「問3の回答欄」をクリックいただきますと、別ワークシートに移動します。改善可能性を5段階評価でご教示ください。なお、回答にあたっては、「問3の回答例」をご参照いただければ幸いです。
- ④実施可能性については、全員お答えいただけると幸いです。

問4. 最後に、こちらのアンケートを通して何かコメントがございましたら、今後の研究に役立てるため、ご自由にご記入ください。

コメント欄)

例) くすのき市では、地場産物を積極的に取り入れていきたいと考えているが、まだ取り組める段階には至っていない。

情報公開の可否について

今回お答えいただいた内容は、卒業研究や学会発表等のみに使用します。その際、市が特定されて困る質問がございましたら、お手数ですが以下の設問番号に○（マル）をしてください。

大問1 問 1 1-A 1-B 1-C 1-D 1-E 1-F

大問2 問 2

問 3 3-a 3-b 3-c 3-d 3-e 実施可能性

問 4

全て

該当なし

以上です。ご教示ありがとうございました。

問3. 問2でご回答いただいた課題について、改善策によってどれほど改善可能性があるのか、またどれほど実施可能性があるのか、5段階評価でご教示いただければ幸いです。改善可能性については、当てはまる課題についてだけ、ご回答お願いします。なお、問3についてはこちらのExcelファイルに、次の手順でご記入ください。

①ワークシート「問3 改善策の改善可能性・実施可能性」をお開きください。

②問2でご回答いただいた課題に、すべて○（マル）を選択してください。

③○（マル）を選択した課題それぞれについて、

* 「問3の回答欄」をクリックいただきますと、別ワークシートに移動します。改善可能性を5段階評価でご教示ください。なお、回答にあたっては、「問3の回答例」をご参照いただければ幸いです。

④実施可能性については、全員お答えいただけると幸いです。

改善可能性		問3の回答欄	問3の回答例
問2で設定した課題	問2でご回答されたものに○（マル）を選択	回答欄	回答例
a. 安定的な供給量		回答欄	回答例
b. 価格		回答欄	回答例
c. 品質		回答欄	回答例
d. 流通		回答欄	回答例
e. その他		回答欄	

※当てはまる方だけお答えください
 ※当てはまる方だけお答えください
 ※当てはまる方だけお答えください
 ※当てはまる方だけお答えください
 ※当てはまる方だけお答えください

※全員お答えください

実施可能性	回答欄	回答例
-------	-----	-----

本アンケート調査票 (Excel) (安定的な供給量) (回答例)

評価基準 (改善可能性)	改善可能性目安
1	全く改善できない
2	あまり改善できない
3	どちらともいえない
4	やや改善できる
5	大いに改善できる

a. 安定的な供給量	
回答方法	①当てはまる課題の行を黄色で塗りつぶす。複数回答可。 ②当てはまる課題について、それぞれの改善策が左の評価基準のどれに当てはまるのか、数字を選択する。
回答例	①「提供するべき量が多いため」、「生産者の確保が難しいため」が当てはまるので、この2つの行を黄色で塗りつぶす。 ②「提供するべき量が多いため」の行を見る。改善策の行の左から「年間予定表を作成し、計画的な作付けを生産者をお願いする」ことでは「やや改善できる」ので、4を選択する。「栄養教諭や地元農家等の関係者で使用する食材の意見交換をする」では「どちらともいえない」ので3を選択する。…このようにして選択していく。

当てはまる課題の行に黄色を付けてください
その他は「」に詳しい内容をご記入ください

課題	改善策							配送手段を整える	
	話し合いの場を設ける	話し合いの場を設ける	話し合いの場を設ける	話し合いの場を設ける	話し合いの場を設ける	話し合いの場を設ける	話し合いの場を設ける		
提供量	提供するべき量が多いため	年間予定表を作成し、計画的な作付けを生産者にお願	栄養教諭や地元農家等の関係者で使用する食材の意見交換をする	前年の納入や取り組み等についての反省をする	市場産物の供給状況、使用状況、生産状況、品質・価格・市場動向等について現状報告をする	納入可能な食材の種類や数量、期間等を検討する	市場産物を一括で優先的に安価に納品できる環境を整える	流通業者に相場産物の取り扱いを増やしてもらう	配送を専門に行う人員を自治で確保する
	生産者の確保が難しいため	4(やや改善できる)	3(どちらともいえない)	4(やや改善できる)	5(大いに改善できる)	1(全く改善できない)	3(どちらともいえない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)
生産者について	生産者の確保が難しいため	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	4(やや改善できる)	3(どちらともいえない)	3(どちらともいえない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)
	生産者の後継者不足のため								
農業の特徴について	近郊農業のため特産品がないため								
	収穫時期と使用時期が乖離しているため								
農地について	その他「農地減少のため」								
	青果店減少のため農業の活性化が必要								
生産体制について	その他「生産者の情報不足」								
	手間がかかる市場								
	青果業者への保障								
	その他「」								

改善策		意識		改善策						課題							
食材の調達を工夫する								提供数		具体的な課題							
地場産野菜生産出荷組合と給食センター間で、献立に合わせ、栽培や出荷量を調整する		使用頻度の高い物(にんじん、玉ねぎ、じゃがいも等)を年中供給できる体制を整える	特別栽培の推奨を行う	計画的に栽培し、計画的に購入する仕組みをつくる	品質及び規格が均一で作業しやすい食材を提供してもらう	地域全体で地場産物を優先的に使用する意識を向上させる	市でなるべく、市産→県産→国産の順で食材を使用しようとする意識を高める	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)			2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	提供すべき量が多いため	生産者について	生産者の高齢化のため 生産者の確保が難しいため	農業者の後継者不足のため 近郊農業のため 特産品がないため
2(あまり改善できない)		2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	提供すべき量が多いため	生産者について	生産者の高齢化のため 生産者の確保が難しいため			
2(あまり改善できない)		2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	提供すべき量が多いため			生産者について	生産者の高齢化のため 生産者の確保が難しいため	農業者の後継者不足のため 近郊農業のため 特産品がないため
2(あまり改善できない)		2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	提供すべき量が多いため	生産者について	生産者の高齢化のため 生産者の確保が難しいため			
2(あまり改善できない)		2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	提供すべき量が多いため			生産者について	生産者の高齢化のため 生産者の確保が難しいため	農業者の後継者不足のため 近郊農業のため 特産品がないため
2(あまり改善できない)		2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	提供すべき量が多いため	生産者について	生産者の高齢化のため 生産者の確保が難しいため			
2(あまり改善できない)		2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	提供すべき量が多いため			生産者について	生産者の高齢化のため 生産者の確保が難しいため	農業者の後継者不足のため 近郊農業のため 特産品がないため
2(あまり改善できない)		2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	提供すべき量が多いため	生産者について	生産者の高齢化のため 生産者の確保が難しいため			
2(あまり改善できない)		2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	提供すべき量が多いため			生産者について	生産者の高齢化のため 生産者の確保が難しいため	農業者の後継者不足のため 近郊農業のため 特産品がないため

改善策		課題	
協力	農家と契約		
地元の農産物生産販売組合や地元販売店から生産情報を早めに知らせてもらう	地元農家と直接契約し、年度当初に使う数量を事前に確保する	具体的な課題	
2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)		提供数
			生産者について
2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)		農業の特徴について
			農地について
			生産体制について

課題		改善策												
		市から生産者への対応					外部			情報発信				
具体的な課題	提供数	提供すべき量が 多いため	生産者への支援や 後継者の育成等々 の農業振興策を行 う	農家が安心し て経営できる 環境を整える	生産者人口や 生産地面積が 増えるような 働きかけを市 農政担当者 と行う	早期の配達や、数量の確保 等、大きな組織を通して、 安定的な供給を行う	府県産大豆を 使用した製品 を安くで入手 する	ハムやさつま揚げのような 原料も外国産が多い食材に 代わる製品を見つける	果物を安価で 皮をむく、 カットする、 個包装にして くれる業者を 見つける	発注された食材 を取りまとめ、 生産者と連絡及 び調整しなが ら、食材が確実 に物品されるよ うに調理場と生 産者との間に入 ターを見つける	学校給食に地場産物 を使用した際、子 供達の様子や感想等 を業者・生産者へ発 信する	生産者側から地場 産についての情報 を発信する	生産者から、農産物の 生産状況や生産履歴に ついての確実な細かい 情報発信を定期的にし てもらう	
		生産者の確保が 難しいため	2(あまり改善でき ない)	2(あまり改善でき ない)	2(あまり改善 できない)	2(あまり改善でき ない)	2(あまり改善 できない)	2(あまり改善 できない)	2(あまり改善 できない)	2(あまり改善でき ない)	2(あまり改善でき ない)	2(あまり改善でき ない)	2(あまり改善でき ない)	2(あまり改善でき ない)
	生産者について	生産者の後継者 不足のため	2(あまり改善でき ない)	2(あまり改善 できない)	2(あまり改善 できない)	2(あまり改善でき ない)	2(あまり改善 できない)	2(あまり改善 できない)	2(あまり改善 できない)	2(あまり改善 できない)	2(あまり改善でき ない)	2(あまり改善でき ない)	2(あまり改善でき ない)	2(あまり改善でき ない)
	農業の特徴について	特産品がないた 収穫時期と使用 時期が乖離して いるため												
	農地について	農地減少のため	「 その他」											
		青果店減少のため	「 その他」											
	生産体制について	農業の活性化が 必要												
		生産者の情報不 手間がかかる												
		市場 青果業者への保 その他」												

改善策			課題
改善策	課題	提供数	
<p>割高感のない価格設定にする</p> <p>2(あまり改善できない)</p>	<p>生産者と学校栄養士が交流を深め、学校給食への地域や農家の理解を促す</p> <p>2(あまり改善できない)</p>	<p>提供すべき量が多いため</p>	<p>具体的な課題</p>
<p>関係者の理解を得、給食費を上げる</p> <p>2(あまり改善できない)</p>	<p>生産者と子供たちが給食を一緒に食べる機会を設け、「とれたての食材を子供たちに届けたい」という思いを深める</p> <p>2(あまり改善できない)</p>	<p>生産者高齢化のため</p>	
<p>産業振興面からの購入費補助を行う</p> <p>2(あまり改善できない)</p>	<p>月1回の地場産物Dayを設ける</p> <p>2(あまり改善できない)</p>	<p>生産者の確保が難しいため</p>	
<p>生産者の理解を得、給食費を上げる</p> <p>2(あまり改善できない)</p>	<p>生産者と子供たちが給食を一緒に食べる機会を設け、「とれたての食材を子供たちに届けたい」という思いを深める</p> <p>2(あまり改善できない)</p>	<p>生産者の後継者不足のため</p>	
<p>関係者の理解を得、給食費を上げる</p> <p>2(あまり改善できない)</p>	<p>生産者と子供たちが給食を一緒に食べる機会を設け、「とれたての食材を子供たちに届けたい」という思いを深める</p> <p>2(あまり改善できない)</p>	<p>近郊農業のため</p>	
<p>関係者の理解を得、給食費を上げる</p> <p>2(あまり改善できない)</p>	<p>生産者と子供たちが給食を一緒に食べる機会を設け、「とれたての食材を子供たちに届けたい」という思いを深める</p> <p>2(あまり改善できない)</p>	<p>特産品がないため</p>	
<p>関係者の理解を得、給食費を上げる</p> <p>2(あまり改善できない)</p>	<p>生産者と子供たちが給食を一緒に食べる機会を設け、「とれたての食材を子供たちに届けたい」という思いを深める</p> <p>2(あまり改善できない)</p>	<p>収穫時期と使用時期が乖離しているため</p>	
<p>関係者の理解を得、給食費を上げる</p> <p>2(あまり改善できない)</p>	<p>生産者と子供たちが給食を一緒に食べる機会を設け、「とれたての食材を子供たちに届けたい」という思いを深める</p> <p>2(あまり改善できない)</p>	<p>その他「</p>	
<p>関係者の理解を得、給食費を上げる</p> <p>2(あまり改善できない)</p>	<p>生産者と子供たちが給食を一緒に食べる機会を設け、「とれたての食材を子供たちに届けたい」という思いを深める</p> <p>2(あまり改善できない)</p>	<p>農地減少のため</p>	
<p>関係者の理解を得、給食費を上げる</p> <p>2(あまり改善できない)</p>	<p>生産者と子供たちが給食を一緒に食べる機会を設け、「とれたての食材を子供たちに届けたい」という思いを深める</p> <p>2(あまり改善できない)</p>	<p>青果店減少のため</p>	
<p>関係者の理解を得、給食費を上げる</p> <p>2(あまり改善できない)</p>	<p>生産者と子供たちが給食を一緒に食べる機会を設け、「とれたての食材を子供たちに届けたい」という思いを深める</p> <p>2(あまり改善できない)</p>	<p>農業の活性化が必要</p>	
<p>関係者の理解を得、給食費を上げる</p> <p>2(あまり改善できない)</p>	<p>生産者と子供たちが給食を一緒に食べる機会を設け、「とれたての食材を子供たちに届けたい」という思いを深める</p> <p>2(あまり改善できない)</p>	<p>その他「</p>	
<p>関係者の理解を得、給食費を上げる</p> <p>2(あまり改善できない)</p>	<p>生産者と子供たちが給食を一緒に食べる機会を設け、「とれたての食材を子供たちに届けたい」という思いを深める</p> <p>2(あまり改善できない)</p>	<p>生産者の情報不足</p>	
<p>関係者の理解を得、給食費を上げる</p> <p>2(あまり改善できない)</p>	<p>生産者と子供たちが給食を一緒に食べる機会を設け、「とれたての食材を子供たちに届けたい」という思いを深める</p> <p>2(あまり改善できない)</p>	<p>手間がかかる</p>	
<p>関係者の理解を得、給食費を上げる</p> <p>2(あまり改善できない)</p>	<p>生産者と子供たちが給食を一緒に食べる機会を設け、「とれたての食材を子供たちに届けたい」という思いを深める</p> <p>2(あまり改善できない)</p>	<p>市場</p>	
<p>関係者の理解を得、給食費を上げる</p> <p>2(あまり改善できない)</p>	<p>生産者と子供たちが給食を一緒に食べる機会を設け、「とれたての食材を子供たちに届けたい」という思いを深める</p> <p>2(あまり改善できない)</p>	<p>青果業者への保障</p>	
<p>関係者の理解を得、給食費を上げる</p> <p>2(あまり改善できない)</p>	<p>生産者と子供たちが給食を一緒に食べる機会を設け、「とれたての食材を子供たちに届けたい」という思いを深める</p> <p>2(あまり改善できない)</p>	<p>その他「</p>	

本アンケート調査票 (Excel) (安定的な供給量) (回答欄)

評価基準 (改善可能性)		改善可能性目安
1	全く改善できない	0%
2	あまり改善できない	1%~25%
3	どちらともいえない	26%~50%
4	やや改善できる	51%~75%
5	大いに改善できる	76%~100%

a. 安定的な供給量	
回答方法	①当てはまる課題の行を黄色で塗りつぶす。複数回答可。 ②当てはまる課題について、それぞれの改善策が左の評価基準のどれに当てはまるのか、数字を選択する。

当てはまる課題の行に黄色を付けてください
その他は「」に詳しい内容をご記入ください

改善策		話し合いの場を設ける				体制を整える		配送手段を整える	
課題	提供数	年間予定表を作成し、計画的な作付けを生産者にお願	栄養教諭や地元農家等の関係者で使用する食材の意見交換をする	前年の納入や取り組み等についての反省をする	地場産物の供給状況、使用状況、生育状況、品質・価格・市場動向等について現状報告をする	納入可能な食材の種類や数量、期間等を検討する	地場産物を一括で優先的に安価に納品できる環境を整える	流通業者に地場産物の取り扱いを増やしてもらう	配送を専門に行う人員を自治で確保する
		具体的な課題	提供すべき量が多いため						
生産者高齢化のため									
生産者の確保が難しいため									
生産者の後継者不足のため									
近郊農業のため									
農産物がないため									
収穫時期と使用時期が乖離しているため									
その他「」									
農地減少のため									
青果店減少のため									
農業の活性化が必要									
その他「」									
生産者の情報不足									
手間がかかる									
市場									
青果業者への保障									
その他「」									

改善策						課題	
改善策			意識				
食材の調達を工夫する						具体的な課題	
地場産野菜生	使用頻度の高い物（にんじん、玉ねぎ、じゃがいも等）を年中供給できる体制を整える	特別栽培の推奨を行う	計画的に栽培し計画的に購入する仕組みをつくる	品質及び規格が均一で作業しやすい食材を提供してもらう	地域全体で地場産物を優先的に使用する意識を向上させる		市でなるべく、市産→県産→国産の順で食材を使用しようとする意識する
産出荷組合と給食センター間で、献立に合わせた栽培や出荷量を調整する							提供すべき量が多いため
							生産者高齢化のため
							生産者の確保が難しいため
							生産者の後継者不足のため
							近郊農業のため
							特産品がないため
							収穫時期と使用時期が乖離しているため
							その他「」
							農地減少のため
							青果占減少のため
							農業の活性化が必要
						その他「」	
						生産者の情報不足	
						手間がかかる	
						市場	
						青果業者への保障	
						その他「」	

改善策		改善策										
加工		連携										
課題	加工	県と市の取り組み方に積極的な運動性を果たせる	出荷組織と連携をする(発注等の確保・変更等に柔軟に対応するため)	学校・農家・教育委員会と連携をとる	学校側が前年度に使用した月ごとの野菜の品目と数量を把握し、生産者や農協に提示する	生産者(JA)と給食センターが連携して野菜の使用計画を立てる	生産者と食料提供価格の調整	卒業生と生産者が積極的にコミュニケーションをとる	地元のお店とのつながりを強く持つ	農家・仲介業者・自治体のそれぞれに利益があるように需要と供給をすり合わせる	農政管理部署や府県との連携(農業従事者と農地の確保)	
課題 具体的な課題	提供数	提供すべき量が多いため										
	生産者について	生産者高齢化のため										
		生産者の確保が難しいため										
		生産者の後継者不足のため										
	農業の特徴について	近郊農業のため										
		特産品がないため										
		収穫時期と使用時期が乖離しているため										
		その他「」										
	農地について	農地減少のため										
		青果店減少のため										
農業の活性化が必要												
生産体制について	その他「」											
	生産者の情報不足											
	手間がかかる											
	市場											
		青果業者への保障										
		その他「」										

改善策		課題
協力	農家と契約	
地元の農産物生産販売組合や地元販売店から生産情報を早めに知らせてもらう	地元の農産物生産販売組合や地元販売店から生産情報を早めに知らせてもらう	提供すべき量が多いため
		生産者高齢化のため
		生産者の確保が難しいため
		生産者の後継者不足のため
		近郊農業のため
		特産品がないため
		収穫時期と使用時期が乖離しているため
		その他「」
		農地減少のため
		青果店減少のため
		農業の活性化が必要
		その他「」
		生産者の情報不足
		手間がかかる
		市場
		青果業者への保障
		その他「」
		生産者について
		農業の特徴について
		農地について
		生産体制について

改善策		改善策													
		市から生産者への対応					外部					情報発信			
課題	具体的な課題	生産者への支援や後継者の育成等々の農業継承策を行う	生産者への支	市から生産者への対応	生産者人口や生産地面積が増えるような働きかけを市農政担当者として、安定的な供給を行う	早期の配送や、数量の確保等、大きな組織を通して、安定的な供給を行う	府県産大豆を使用した製品を安くで入手する	ハムやさつま揚げのような原料も外国産が多い食材に代わる製品を見つける	果物を安価で皮をむく、カットする、個包装にしてくれる業者を見つける	発注された食材を取りまとめ、生産者と連絡及び調整しながら、食材が確実に納品されるように調理場と生産者	学校給食に地場産物を使用した際、子供達の様子や感想等を業者・生産者へ発信する	生産者側から地場産物についての情報を発信する	生産者から、農産物の生産状況や生産量等についての確実な細かい情報発信を定期的にしてもらう		
		提供数	提供すべき量が多いため												
		生産者について	生産者高齢化のため												
			生産者の確保が難しいため												
			生産者の後継者不足のため												
			近郊農業のため												
			特産品がないため												
			収穫時期と使用時期が乖離しているため												
			その他【】												
			農地減少のため												
	青果店減少のため														
	農業の活性化が必要														
	その他【】														
	生産者の情報不足														
	手間がかかると														
	市場														
	青果業者への保障														
	その他【】														

改善策			課題
コスト	理解	その他	
割高感のない価格設定にする			
保護者の理解を得、給食費を上げる			
産業振興面からの購入費補助を行う			
生産者と学校栄養士が交流を深め、学校給食への地域や農家の理解を促す		生産者と子供たちが給食を一緒に食べる機会を設け、「とれたての食材を子供たちに届けたい」という思いを深める	
		月1回の地場産物Dayを設ける	
		調理場の設備、機器、器具等の採用と活用をする	
			提供すべき量が多いため
			生産者高齢化のため
			生産者の確保が難しいため
			生産者の後継者不足のため
			近郊農業のため
			特産品がないため
			収穫時期と使用時期が乖離しているため
			その他【】
			農地減少のため
			青果店減少のため
			農業の活性化が必要
			その他【】
			生産者の情報不足
			手間がかかる
			市場
			青果業者への保障
			その他【】
			生産者について
			農業の特徴について
			農地について
			生産体制について

本アンケート調査票 (Excel) (価格) (回答例)

評価基準 (改善可能性)	改善可能性目安
1	全く改善できない
2	あまり改善できない
3	どちらともいえない
4	やや改善できる
5	大いに改善できる

b. 価格	
回答方法	①当てはまる課題の行を黄色で塗りつぶす。複数回答可。 ②当てはまる課題について、それぞれの改善策が左の評価基準のどれに当てはまるのか、数字を選択する。
回答例	①「他府県産の方が安い」、「限られた予算の中で実施する必要がある」が当てはまるので、この2つの行を黄色で塗りつぶす。 ②「他府県産の方が安い」の行を見る。 改善策の行の左から「年間予定表を作成し、計画的な作付けを生産者にお願います」ことでは「あまり改善できない」ので、2を選択する。「栄養教諭や地元農家等の関係者で使用する食材の意見交換をする」では「どちらともいえない」ので3
当てはまる課題の行に黄色を付けてください その他は「」に詳しい内容をご記入ください	

課題	改善策					
	話し合いの場を設ける	納入可能な食材の種類や数量、期間等を検討する	少数の作物の供給量を増やす	体制を整える	配送手段を整える	
他府県産の方が安い	年間予定表を作成し、計画的な作付けを生産者にお願います	栄養教諭や地元農家等の関係者で使用する食材の意見交換をする	前年の納入や取り組み等についての反省をする	地場産物の供給状況、生育状況、品質・価格・市場動向等について現状報告をする	地場産物の供給量を増やす	流通業者に地場産物の取り扱いを増やしてもらう
他府県産の方が高い	2(あまり改善できない)	3(どちらともいえない)	4(やや改善できる)	5(大いに改善できる)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)
限られた予算の中で実施する必要はある	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	4(やや改善できる)	3(どちらともいえない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)
時期により、市場より価格が高い						
その他「」						

改善策							課題	改善策	課題
食材の調達を工夫する			意識						
地場産野菜生産出荷組合と給食センター間で、献立に合わせた栽培や出荷量を調整する	使用頻度の高い物（にんじん、玉ねぎ、じゃがいも等）を年中供給できる体制を整える	特別栽培の推奨を行う	計画的に栽培し計画的に購入する仕組みをつくる	品質及び規格が均一で作業しやすい食材を提供してもらう	地域全体で地場産物を優先的に使用する意識を向上させる	市でなるべく、市産→県産→国産の順で食材を使用しようとする意識	他府県産の方が安い 地場産の方が高い 限られた予算の中で実施する必要が時期により、市場より価格が高い その他「」		
2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)			
2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)			

改善策		連携											
		加工	県と市の取り組みに積極的な運動性を持たせる	出荷組織と連携をする(発注量の確保・変更等に柔軟に対応するため)	学校・農家・教育委員会と連携をとる	学校側が前年度に使用した月ごとの野菜の品目と数量を把握し、生産者や農協に提示する	生産者(JA)と給食センターが連携して野菜の使用計画を立てる	JAとの連携	生産者と食材提供価格の調整	求農士と生産者が積極的にコミュニケーションをとる	地元のお店とのつながりを強く持つ	農家・仲介業者・自治体のそれぞれに利益があるように需要と供給をすり合わせる	農政管轄部署や府県との連携(農業従事者と農地の確保)
課題	他府県の方が安い	4(やや改善できる)	3(どちらでもない)	4(やや改善できる)	5(大いに改善できる)	1(全く改善できない)	4(やや改善できる)	3(どちらともいえない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)
	地場産の価格が高い 限られた予算の中で実施する必要がある 時期により、市場より価格が高い その他「」	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	4(やや改善できる)	4(やや改善できる)	3(どちらともいえない)	2(あまり改善できない)	改善できない	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)

改善策		課題
協力	農家と契約	
地元の農産物生産販売組合や地元販売店から生産情報を早めに知らせてもらおう	栄養士だけでなく市の産業経済課、JAなどからの情報提供や協力	地元農家と直接契約し、年度当初に使う数量を事前に確保する
2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	他府県産の方が安い
2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	地場産の方が高い
2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	限られた予算の中で実施する必要がある
		時期により、市場より価格が高い
		その他「」
		具体的な課題

改善策		改善策											
		市から生産者への対応					外部					情報発信	
課題	他府県産の方が安い 地場産の方が高い 限られた予算の中で実施する 必要がある 時期により、市場より価格が 高い その他「	生産者への支援や後継者の育成等々の農業振興策を行う	農家が安心して栽培できる環境を整える	生産者人口や生産地面積が増えるような働きかけを市農政担当者で行う	早期の配達や、数量の確保等、大きな組織を通して、安定的な供給を行う	府県産大豆を使用した製品を安く入手する	ハムやさつま揚げのような原料も外国産が多い食材に代わる製品を見つける	果物を皮をむく、カットする、個別包装にしてくれる業者を見つける	発注された食材を取りまとめ、生産者と連絡しながらが確実に	学校給食に地場産物を使用した際、子供達の様子や感想等を業者・生産者へ発信する	生産者側から地場産物についての情報を発信する	生産者から、農産物の生産状況や生産量等についての情報を定期的に発信してもらう	
		4(やや改善できる)	3(どちらともいえない)	4(やや改善できる)	5(大いに改善できる)	1(全く改善できない)	4(やや改善できる)	3(どちらともいえない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)
具体的な課題													

改善策				課題	改善策	具体的な課題
コスト		理解				
割高感のない価格設定にする	保護者の理解を得、給食費を上げる	産業者と学校栄養士が交流を深め、学校給食への地域や農家の理解を促す	生産者と子供たちが給食を一緒に食べる機会を設け、「とれたての食材を子供たちに届けたい」という思いを深める	調理場の設備、機器、器具等の採用と活用をする		
2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	他府県産の方が安い	
					地場産の方が高い	
2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	限られた予算の中で実施する必要がある	
					時期により、市場より価格が高い	
					その他「」	

本アンケート調査票 (Excel) (価格) (回答欄)

評価基準 (改善可能性)		改善可能性目安
1	全く改善できない	0%
2	あまり改善できない	1%~25%
3	どちらともいえない	26%~50%
4	やや改善できる	51%~75%
5	大いに改善できる	76%~100%

b. 価格	
回答方法	①当てはまる課題の行を黄色で塗りつぶす。複数回答可。 ②当てはまる課題について、それぞれの改善策が左の評価基準のどれに当てはまるのか、数字を選択する。

当てはまる課題の行に黄色を付けてください
その他は「」に詳しい内容をご記入ください

課題	改善策								
	話し合いの場を設ける	体制を整える	配送手段を整える	改善策					
他府県産の方が安い 地場産の方が高い 限られた予算の中で実施する必要がある 時期により、市場より価格が高い その他「」	年間予定表を作成し、計画的な作付けを生産者にお願する	栄養教諭や地元農家等関係者で使用する食材の意見交換をする	前年の納入や取り組み等についての反省をする	地場産物の供給状況、生育状況、品質・価格・市場動向等について現状報告をする	地場産物の種類や数 納入可能な食材の量、期間等を検討する	少数の作物の供給量を増やす	地場産物を一括で優先的に安価に納品できる環境を整える	流通業者に地場産物の取り扱いを確保する	配送を専門に行う人員を自治で確保する

改善策						
食材の調達を工夫する				意識		
地場産野菜生産出荷 組と給食センター 間で、献立に合わせ て栽培や出荷量を調 整する	使用頻度の高い物 (にんじん、玉ね ぎ、じゃがいも等) を年中供給できる体 制を整える	特別栽培の推奨を行う	計画的に栽培し計画的 に購入する仕組みをつく る	品質及び規格が均 一で作業しやすい 食材を提供しても らう	地域全体で地場産物を 優先的に使用する意識 を向上させる	市でなるべく、市産→ 県産→国産の順で食材 を使用しようと意識す る
						他府県産の方が安い
						地場産の方が高い
						限られた予算の中で実 施する必要がある
						時期により、市場より 価格が高い
						その他「」
						具体的な課題

改善策		改善策																				
課題	加工	連携																				
		県と市の取り組みに積極的な運動性を持たせる	出荷組織と連携をする(発注量の確保・変更等に柔軟に対応するための)	学校・農家・教育委員会と連携をとる	学校側が前年度に使用した月ごとの野菜の品目と数量を把握し、生産者や農協に提示する	生産者(JA)と給食センターが連携して野菜の使用計画を立てる	JAとの連携	生産者と食材提供者の価格の調整	消費者と生産者が積極的にコミュニケーションをとる	地元の商店とのつながりを強く持つ	農家・仲介業者・自治体のそれぞれに利益があるように需要と供給をすり合わせる	農政管轄部署や府県との連携(農業従事者と農地の確保)										
具体的な課題	他府県産の方が安い																					
	地場産の方が高い																					
	限られた予算の中で実施する必要がある																					
	時期により、市場より価格が高い その他「」																					

改善策		課題
協力	農家と契約	
地元の農産物生産販売組合や地元販売店から生産情報を早めに知らせてもらおう	栄養士だけでなく市の産業経済課、JAなどからの情報提供や協力	<div style="background-color: #e0f0ff; padding: 5px; text-align: center;"> 具体的な課題 </div>
	地元農家と直接契約し、年度当初に使う数量を事前に確保する	

他府県産の方が安い
 地場産の方が高い
 限られた予算の中で実施する必要がある
 時期により、市場より価格が高い
 その他「」

改善策		改善策																		
		市から生産者への対応					外部					情報発信								
課題	生産者への支援や後継者の育成等々の農業振興策を行う	農家が安心して栽培できる環境を整える	生産者人口や生産地面積が増えるよう働きかけを市農政担当者と行う	早朝の配送や、数量の確保等、大きな組織を通して、安定的な供給を行う	府県産大豆を使用した製品を安くで入手する	ハムやさつま揚げのような原料も外国産が多い食材に代わる製品を見つける	果物を安価で販売をむく、カットする、個包装にしてくれる業者を見つける	発注された食材を取りまとめ、生産者との連絡及び調整しながら、食材が確実に納品されるように調理場と生産者との間に入るコーディネーターを見つける	学校給食に地場産物を使用し、産物を使用した際、子供達の様子や感想等を業者・生産者へ発信する	生産者側から地場産についての情報を発信する	生産者から、農産物の生産状況や生産量等についての確実な細かい情報発信を定期的にもらう									
	具体的な課題	他府県産の方が安い	地場産の方が高い	限られた予算の中で実施する必要がある	時期により、市場より価格が高い	その他「」														

改善策					課題	具体的な課題
コスト		理解		その他		
割高感のない価格設定にする	保護者の理解を得、給食費を上げる	産業者と学校栄養士が交流を深め、学校給食への地域や農家の理解を促す	生産者と子供たちが給食を一緒に食べる機会を設け、「とれたての食材を子供たちに届けたい」という思いを深める	月1回の地場産物Dayを設ける	調理場の設備、機器、器具等の採用と活用をする	
						他府県産の方が安い
						地場産の方が高い
						限られた予算の中で実施する必要がある
						時期により、市場より価格が高い
						その他「」

本アンケート調査票 (Excel) (品質) (回答例)

評価基準 (改善可能性)	改善可能性目安
1	全く改善できない
2	あまり改善できない
3	どちらともいえない
4	やや改善できる
5	大いに改善できる

C. 品質	
回答方法	①当てはまる課題の行を黄色で塗りつぶす。複数回答可。 ②当てはまる課題について、それぞれの改善策が左の評価基準のどれに当てはまるのか、数字を選択する。
回答例	①「虫や砂などの異物が混入している」、「地場産物にこだわりすぎて、質の悪いものを出すのは避けたい」が当てはまるので、この2つの行を黄色で塗りつぶす。 ②「虫や砂などの異物が混入している」の行を見る。 改善策の行の左から「年間予定表を作成し、計画的な作付けを生産者をお願いする」ことで「全く改善できない」ので、1を選択する。「栄養教諭や地元農家等の関係者で使用する食材の意見交換をする」では「どちらともいえない」ので3を選択する。 当てはまる課題の行に黄色を付けてください その他は「」に詳しい内容をご記入ください

課題	改善策						改善手段を整える	
	年間予定表を作成し、計画的な作付けを生産者にお願する	栄養教諭や地元農家等の関係者で使用する食材の意見交換をする	前年の納入や取り組み等についての反省をする	地場産物の供給状況、生育状況、品質・価格・市場動向等について現状報告をする	話し合いの場を設ける	改善策	体制を整える	配送手段を整える
虫や砂などの異物が混入している	1(全く改善できない)	3(どちらともいえない)	4(やや改善できる)	5(大いに改善できる)	4(やや改善できる)	1(全く改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)
統一した品目や形状の地場産物の数量確保								
地場産物にこだわりすぎて、質の悪いものを出すのは避けたい	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	4(やや改善できる)	3(どちらともいえない)	2(あまり改善できない)	3(どちらともいえない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)
その他「」								

改善策							課題	改善策
食材の調達を工夫する				意識				
地場産野菜生産出荷 組立と給食センター 間で、献立に合わせ て栽培や出荷量を調 整する	使用頻度の高い物 (にんじん、玉ね ぎ、じゃがいも等) を年中供給できる体 制を整える	特別栽培の推 奨を行う	計画的に栽培し 計画的に購入する 仕組みをつくる	品質及び規格 が均一で作業 しやすい食材 を提供しても らう	地域全体で地場 産物を優先的に 使用する意識を 向上させる	市でなるべく、市 産→県産→国産の 順で食材を使用し ようと意識する	虫や砂などの異物が混 入している	
2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善 できない)	2(あまり改善で きない)	2(あまり改善で きない)	2(あまり改善で きない)	2(あまり改善でき ない)		統一した品目や形状の 地場産食材の数量確保 地場産物にこだわりす ぎて、質の悪いものを 出すのは避けたい その他「J」
2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善 できない)	2(あまり改善で きない)	2(あまり改善で きない)	2(あまり改善で きない)	2(あまり改善でき ない)		

本アンケート調査票 (Excel) (品質) (回答欄)

評価基準 (改善可能性)		改善可能性目安
1	全く改善できない	0%
2	あまり改善できない	1%~25%
3	どちらともいえない	26%~50%
4	やや改善できる	51%~75%
5	大いに改善できる	76%~100%

C. 品質	
回答方法	①当てはまる課題の行を黄色で塗りつぶす。複数回答可。 ②当てはまる課題について、それぞれの改善策が左の評価基準のどれに当てはまるのか、数字を選択する。

当てはまる課題の行に黄色を付けてください
その他は「」に詳しい内容をご記入ください

課題	改善策						
	話し合いの場を設ける			体制を整える		配送手段を整える	
改善策	年間で定表を作成し、計画的な作付けを生産者にお願いする	栄養教諭や地元農家等の関係者で使用する食材の意見交換をする	前年の納入や取り組み等についての反省をする	地場産物の供給状況、生育状況、品質・価格・市場動向等について現状報告をする	納入可能な食材の種類や数量、期間等を検討する	少数の作物の供給量を増やす	
具体的な課題	虫や砂などの異物が混入している	統一した品目や形状の地場産食材の数量確保	地場産物にこだわりすぎて、質の悪いものを出すのは避けたい	その他「」		流通業者に地場産物の取り扱いを増やしてもらう	配送を専門に行う人員を自治で確保する

改善策							課題	改善策	具体的な課題
食材の調達を工夫する			意識						
地場野菜生産出荷 組合と給食センター 間で、献立に合わせ て栽培や出荷量を調 整する	使用頻度の高い物 (にんじん、玉ね ぎ、じゃがいも等) を年中供給できる体 制を整える	特別栽培の 推奨を行う	計画的に栽培 し計画的に購 入する仕組みを つくる	品質及び規格 が均一で作業 しやすい食材 を提供しても らう	地域全体で地 場産物を優先 的に使用する 意識を向上さ せる	市でなるべく、市 産→県産→国産の 順で食材を使用し ようと意識する		虫や砂などの異物が混 入している	
								統一した品目や形状の 地場産食材の数量確保	
								地場産物にこだわりす ぎて、質の悪いものを 出すのは避けたい	
								その他「」	

本アンケート調査票 (Excel) (流通) (回答例)

評価基準 (改善可能性)	改善可能性目安
1	全く改善できない
2	あまり改善できない
3	どちらともいえない
4	やや改善できる
5	大いに改善できる

d. 流通	
回答方法	①当てはまる課題の行を黄色で塗りつぶす。複数回答可。 ②当てはまる課題について、それぞれの改善策が左の評価基準のどれに当てはまるのか、数字を選択する。
回答例	①「地場産物を学校まで届ける納入ルート（配送車、人）の確保」、「全市に配送可能な供給体制を整える」が当てはまるので、この2つの行を黄色で塗りつぶす。 ②「提供すべき量が多いため」の行を見る。 改善策の列の上から「年間予定表を作成し、計画的な作付けを生産者をお願いする」ことで「全く改善できない」ので、1を選択する。「栄養教諭や地元農家等の関係者で使用する食材の意見交換をする」では「全く改善できない」ので1を選択 当てはまる課題の行に黄色を付けてください その他は「」に詳しい内容をご記入ください

課題	改善策					
	話し合いの場を設ける	地場産物の供給状況、使用状況、生育状況、品質・価格・市場動向等について現状報告をする	納入可能な食材の種類や数量、期間等を検討する	少数の作物の供給量を増やす	体制を整える	配送手段を整える
年間予定表を作成し、計画的な作付けを生産者にお願する	1(全く改善できない)	1(全く改善できない)	1(全く改善できない)	4(やや改善できる)	3(どちらともいえない)	2(あまり改善できない)
栄養教諭や地元農家等の関係者で使用する食材の意見交換をする	1(全く改善できない)	5(大いに改善できる)	1(全く改善できない)	4(やや改善できる)	3(どちらともいえない)	2(あまり改善できない)
前年の納入や取り組み等についての反省をする	4(やや改善できる)	5(大いに改善できる)	1(全く改善できない)	4(やや改善できる)	3(どちらともいえない)	2(あまり改善できない)
地場産物を学校まで届ける納入ルート（配送車、人）の確保	2(あまり改善できない)	4(やや改善できる)	1(全く改善できない)	4(やや改善できる)	3(どちらともいえない)	2(あまり改善できない)
地場産物を学校まで届ける納入ルート（時間）の確保	2(あまり改善できない)	4(やや改善できる)	1(全く改善できない)	4(やや改善できる)	3(どちらともいえない)	2(あまり改善できない)
全市に配送可能な供給体制を整える	2(あまり改善できない)	4(やや改善できる)	1(全く改善できない)	4(やや改善できる)	3(どちらともいえない)	2(あまり改善できない)
その他「」						

改善策							改善策	課題
食材の調達を工夫する			意識					
地場野菜生産出荷 組と給食センター 間で、献立に合わせ て栽培や出荷量を調 整する	使用頻度の高い物 (にんじん、玉ね ぎ、じゃがいも等) を年中供給できる体 制を整える	特別栽培の 推奨を行う	計画的に栽培 し計画的に購 入する仕組みを つくる	品質及び規格 が均一で作業 しやすい食材 を提供しても らう	地域全体で地場 産物を優先的に 使用する意識を 向上させる	市でなるべく、 市産→県産→国 産の順で食材を 使用しようとい 意識する	地場産物を学校まで届 ける納入ルート（配送 車、人）の確保	具体的な課題
2(あまり改善できな い)	2(あまり改善できな い)	2(あまり改善 できない)	2(あまり改善 できない)	2(あまり改善で きない)	2(あまり改善で きない)	2(あまり改善で きない)		
2(あまり改善できな い)	2(あまり改善できな い)	2(あまり改善 できない)	2(あまり改善 できない)	2(あまり改善で きない)	2(あまり改善で きない)	2(あまり改善で きない)	全市に配送可能な供給 体制を整える	その他「」
2(あまり改善できな い)	2(あまり改善できな い)	2(あまり改善 できない)	2(あまり改善 できない)	2(あまり改善で きない)	2(あまり改善で きない)	2(あまり改善で きない)		

改善策		改善策											
		加工	連携										
課題	改善策	安価で大量調理にふさわしい加工品を開発する	県と市の取り組みに積極的な運動性を果たせる	出荷組織と連携をする(発注量の確保・変更等に柔軟に対応するため)	学校・農家・教育委員会と連携をとる	学校側が前年度に使用した月ごとの野菜の品目と数量を把握し、生産者や農協に提示する	生産者と給食センターが連携して野菜の使用計画を立てる	JAとの連携	生産者と食料提供価格の調整	栄養士と生産者が積極的にコミュニケーションをとる	地元のお店とのつながりを強く持つ	農家・仲介業者・自治体のそれぞれに利益があるように需要と供給をすり合わせる	農政管轄部署や府県との連携(農業従事者と農地の確保)
		具体的な課題	地場産物を学校まで届ける納入ルート(配達車、人)の確保	4(やや改善でききる)	3(どちらともいえない)	4(やや改善でききる)	5(大いに改善でききる)	1(全く改善できない)	4(やや改善でききる)	3(どちらともいえない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善でききる)
地場産物を学校まで届ける納入ルート(時間)の確保													
	全市に配達可能な供給体制を整える	2(あまり改善でききる)	2(あまり改善できない)	4(やや改善でききる)	3(どちらともいえない)	3(どちらともいえない)	2(あまり改善でききる)	改善でききる	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善でききる)	2(あまり改善でききる)	2(あまり改善できない)
	その他「」												

改善策		課題
協力	農家と契約	
地元の農産物生産販売組合や地元販売店から生産情報を早めに知らせてもらおう	地元の農産物生産販売組合や地元販売店から生産情報を早めに知らせてもらおう	地場産物を学校まで届ける納入ルート（配送車、人）の確保
2(あまり改善できな)	2(あまり改善できな)	
		地場産物を学校まで届ける納入ルート（時間）の確保
2(あまり改善できな)	2(あまり改善できな)	
		全市に配送可能な供給体制を整える その他「」
2(あまり改善できな)	2(あまり改善できな)	

改善策											
課題	市から生産者への対応						外部			情報発信	
	生産者への支援や後継者の育成等々の農業振興策を行う	農家が安心して栽培できる環境を整える	生産者人口や生産地面積が増えるよう働きかけを市農政担当者で行う	早朝の配送や、数量の確保等、大きな組織を連携して、安定的な供給を行う	府県産大豆を使用した製品を安く入手する	ハムやさつま揚げのような原料も外国産が多い食材に代わる製品を見つけて	果物を安価で皮をむく、カットする、個包装にしてくれる業者を見つけて	発注された食材を取りまとめ、生産者と連絡及び調整しながら、食材が確実に納品されるように調理場と生産者との間に介入する	学校給食に地場産物を使用した際、子供達の様子や感想等を業者・生産者へ発信する	生産者側から地場産物についての情報を発信する	生産者から、農産物の生産状況や生産量等についての確実な細かい情報発信を定期的にしてもらう
具体的な課題	地場産物を学校まで届ける納入ルート（配送車、人）の確保	3(どちらともいえない)	4(やや改善できる)	5(大いに改善できる)	1(全く改善できない)	4(やや改善できる)	3(どちらともいえない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)
	地場産物を学校まで届ける納入ルート（時間）の確保										
	全市に配送可能な供給体制を整える その他「」	2(あまり改善できない)	改善できない	4(やや改善できる)	3(どちらともいえない)	ともいえない	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)

改善策				課題
コスト		理解		
割高感のない価格設定にする	保護者の理解を得、給食費を上げる	産業者と学校栄養士が交流を深め、学校給食への地域や農家の理解を促す	生産者と子供たちが給食を一緒に食べる機会を設け、「とれたての食料を子供たちに届けたい」という思いを深める	調理場の設備、機器、器具等の採用と活用をする
2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)
				地場産物を学校まで届ける納入ルート(配送車、人)の確保
				地場産物を学校まで届ける納入ルート(時間)の確保
改善できない	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)	2(あまり改善できない)
				全市に配送可能な供給体制を整える
				その他「」
				具体的な課題

本アンケート調査票 (Excel) (流通) (回答欄)

評価基準 (改善可能性)	改善可能性目安	
1	全く改善できない	0%
2	あまり改善できない	1%~25%
3	どちらともいえない	26%~50%
4	やや改善できる	51%~75%
5	大いに改善できる	76%~100%

d. 流通	
回答方法	<p>①当てはまる課題の行を黄色で塗りつぶす。複数回答可。</p> <p>②当てはまる課題について、それぞれの改善策が左の評価基準のどれに当てはまるのか、数字を選択する。</p>

当てはまる課題の行に黄色を付けてください
 その他は「」に詳しい内容をご記入ください

課題	改善策					
	話し合いの場を設ける			体制を整える		配送手段を整える
	年間予定表を作成し、計画的な作付けを生産者にお願する	栄養教諭や地元農家等の関係者で使用する食材の意見交換をする	前年の納入や取り組み等について反省をする	納入可能な食材の種類や数量、期間等を検討する	少数の作物の供給量を増やす	流通業者に地場産物の取り扱いを増やしてもらう
	地場産物の供給状況、使用状況、生育状況、品質・価格・市場動向等について現状報告をする				地場産物を一括で優先的に安価に納品できるようにする	配送を専門に行う人員を自治で確保する
地場産物を学校まで届ける納入ルート (配送車、人) の確保						
地場産物を学校まで届ける納入ルート (時間) の確保						
全市に配送可能な供給体制を整える						
その他「」						

改善策						
食材の調達を工夫する				意識		
地場産野菜生産出荷 組合と給食センター 間で、献立に合わせ て栽培や出荷量を調 整する	使用頻度の高い物 (にんじん、玉ね ぎ、じゃがいも等) を年中供給できる体 制を整える	特別栽培の 推奨を行う	計画的に栽培し 計画的に購入する 仕組みをつくる	品質及び規格が 均一で作業しや すい食材を提供 してもらう	地域全体で地場産 物を優先的に使用 する意識を向上さ せる	市でなるべく、市 産→県産→国産の 順で食材を使用し ようと意識する
						地場産物を学校まで届 ける納入ルート（配送 車、人）の確保
						地場産物を学校まで届 ける納入ルート（時 間）の確保
						全市に配送可能な供給 体制を整える
						その他「」
				具体的な課題		

改善策		改善策										
		加工	連携									
課題	安価で大量調理にふさわしい加工品を開発する	県と市の取り組み方に積極的な連動性を持たせる	出荷組織と連携をする（発注量の確保・変更等に柔軟に対応するため）	学校・農家・教育委員会と連携をとる	学校側が前年度に使用した月ごとの野菜の品目と数量を把握し、生産者や農協に提示する	生産者（JA）と給食センターが連携して野菜の使用計画を立てる	JAとの連携	生産者と食料提供価格の調整	栄養士と生産者が積極的コミュニケーションをとる	地元のお店とのつながりを強く持つ	農家・仲介業者・自治体のそれぞれに利益があるように需要と供給をすり合わせる	農政管轄部署や府県の連携（農業従事者と農地の確保）
	地場産物を学校まで届ける納入ルート（配送車、人）の確保											
具体的な課題	地場産物を学校まで届ける納入ルート（時間）の確保											
	全市に配送可能な供給体制を整える その他「」											

改善策		課題	具体的な課題
協力	農家と契約		
地元の農産物生産販売組合や地元販売店から情報を早めに知らせてもらう	地元の農産物生産販売組合や地元販売店から情報を早めに知らせてもらう	地元農家と直接契約し、年度当初に使う数量を事前に確保する	地場産物を学校まで届ける納入ルート（配送車、人）の確保 地場産物を学校まで届ける納入ルート（時間）の確保 全市に配送可能な供給体制を整える その他「」

改善策		改善策										
		市から生産者への対応			外部				情報発信			
課題	生産者への支援や後継者の育成等々の農業振興策を行う	農家が安心して栽培できる環境を整える	生産者人口や生産地面積が増えるような働きかけを市農政担当者で行う	早期の配送や、数量の確保等、大きな組織を通過して、安定的な供給を行う	府県産大豆を使用した製品を安く入手する	ハムやさつま揚げのよまな原料も外国産が多い食材に代わる製品を見つけている	果物を安価で販路を拡げ、カットする、個包装にしてくれる業者を見つけている	発注された食材を取りまとめ、生産者と連絡及び調整しながら、食材が確実に納品されるように調理場と生産者との間に入るコーディネーターを見つけている	学校給食に地場産物を使用する際、子供達の様子や感想等を業者・生産者へ発信する	生産者側から地場産物について発信する	生産者から、農産物の生産状況や生産量等について、情報発信を定期的に行う	
	地場産物を学校まで届ける納入ルート（配送車、人）の確保	地場産物を学校まで届ける納入ルート（時間）の確保	全市に配送可能な供給体制を整える	その他「」								
具体的な課題												

改善策			課題	具体的な課題
コスト	理解	その他		
割高感のない価格設定にする	生産者と学校栄養士が交流を深め、学校給食への地域や農家の理解を促す	生産者と子供たちが給食を一緒に食べる機会を設け、「とれたての食材を子供たちに届けたい」という思いを深める	調理場の設備、機器、器具等の採用と活用をする	地場産物を学校まで届ける納入ルート（配達車、人）の確保 地場産物を学校まで届ける納入ルート（時間）の確保 全市に配送可能な供給体制を整える その他「」
保護者の理解を得、給食費を上げる		月1回の地場産物Dayを設ける		
産業振興面からの購入費補助を行う				

本アンケート調査票（Excel）（その他）（回答欄）

評価基準（改善可能性）	改善可能性目安	
1	全く改善できない	0%
2	あまり改善できない	1%~25%
3	どちらともいえない	26%~50%
4	やや改善できる	51%~75%
5	大いに改善できる	76%~100%

e. その他

回答方法	①当てはまる課題を赤い太枠の欄に記入する。複数回答可。 ②記入した課題について、それぞれの改善策が左の評価基準のどれに当てはまるのか、数字を選択する。
------	--

当てはまる課題の行に黄色を付けてください
 その他は「」に詳しい内容をご記入ください

課題	改善策						配送手段を整える	
	話し合いの場を設ける	体制を整える	改善策					
具体的な課題	年間予定表を作成し、計画的な作付けを生産者にお願する	栄養教諭や地元農家等の関係者で使用する食材の意見交換をする	前年の納入や取り組み等についての反省をする	農場産物の供給状況、生育状況、品質・価格・市場動向等について現状報告をする	納入可能な食材の種類や数量、期間等を検討する	少数の作物の供給量を増やす	流通業者に地場産物の取り扱いを増やしてもらう	配送を専門に行う人員を自給で確保する

改善策							課題	
食材の調達を工夫する				意識				
地場産野菜生産出荷組合と給食センター間で、献立に合わせた栽培や出荷量を調整する	使用頻度の高い物（にんじん、玉ねぎ、じゃがいも等）を年中供給できる体制を整える	特別栽培の推奨を行う	計画的に栽培し計画的に購入する仕組みをつくる	品質及び規格が均一で作業しやすい食材を提供してもらう	地域全体で地場産物を優先的に使用する意識を向上させる	市でなるべく、市産→県産→国産の順で食材を使用しようとする意識する	具体的な課題	

改善策		連携																							
		加工	出荷組織と連携 をする（発注量の確保・変更等に柔軟に対応するため）	学校・農家・ 教育委員会と 連携をとる	月に使用した 野菜の品目と数量 を把握し、生 産者や農協に 提供させる	生産者（JA） と給食セン ターが連携し て野菜の使用 計画を立てる	JAと の連携	生産者と食 材提供価格 の調整	栄養士と生産 者が積極的に コミュニケーションをとる	地元のお店との つながりを強く 持つ	農家・仲業者・ 自治体のそれぞれ に利益があるよう に需要と供給をす り合わせる	農政官庁部 署や府県と の連携（農 業従事者と 農地の確 保）													
課題	具体的な課題	安価で大量調 理にふさわし い加工品を開 発する																							

改善策		農家と契約	課題
協力	改善策		
地元の農産物 生産販売組合 や地元販売店 から生産情報 を早めに知ら せてもらう	栄養士だけで なく市の産業 経済課、JAな どからの情報 提供や協力	地元農家と 直接契約 し、年度当 初に使う数 量を事前に 確保する	具体的な課題

改善策		外部							情報発信					
		市から生産者への対応			外部				情報発信					
課題	改善策	生産者への支援や後継者の育成等々の農業振興策を行う	農家が安心して栽培できる環境を整える	生産者人口や生産地面積が増えるような働きかけを市農政担当者で行う	早朝の配送や、数量の確保等、大きな組織を通して、安定的な供給を行う	府県産大豆を使用した製品を安く入手する	ハムやさつま揚げのような原料も外国産が多い食材に代わる製品を見つける	果物を安価で皮をむく、カットする、個包装にしてくれる業者を見つける	発注された食材を取りまとめ、生産者と連絡及び調整しながら、食材が確実に納品されるように調理場と生産者との間に入ターナーを見つける	学校給食に地場産物を使用した際、子供達の様子や感想等を業者・生産者へ発信する	生産者側から地場産物について情報を発信する	生産者から、農産物の生産状況や生産量等についての確実な細かい情報発信を定期的にしていってもらう		
		具体的な課題												

改善策			改善策	課題
コスト	理解	その他		
割高感の多い価格設定にする	生産者と学 校栄養士が 交流を深 め、学校給 食への地理 や農家の理 解を促す	生産者と子供たちが 給食を一緒に食べる 機会を設け、「とれ たての食料を子供た ちに届けたい」とい う思いを深める	調理場の設備、機器、 器具等の採用と活用を する	具体的な課題

本アンケート調査票 (Excel) (実施可能性) (回答例)

評価基準 (実施可能性)		実施可能性目安
1	実施できない	0%
2	実施できかどうかかわからない	1%~25%
3	時間はかかるが実施できる	26%~50%
4	すぐに実施できる	51%~75%
5	すでに実施している	76%~100%

回答方法	①それぞれの改善策が左の評価基準のどれに当てはまるのか、数字を選択する。
回答例	①改善策を見る。 「年間予定表を作成し、計画的な作付けを生産者にお願いする」ことは「時間はかかるが実施できる」ので、3を選択する。「栄養教諭や地元農家等の関係者で使用する食材の意見交換をする」は「すでに実施している」ので5を選択する。…このようにして全て選択していく。

改善策						
改善策	話し合いの場を設ける				配送手段を整える	
	栄養教諭や地元農家等の関係者で使用する食材の意見交換をする	前年の納入や取り組み等について反省をする	地場産物の供給状況、使用状況、生育状況、品質・価格・市場動向等について現状報告をする	納入可能な食材の種類や数量、期間等を検討する	少数の作物の供給量を増やす	地場産物を一括で優先的に安価に納品できる環境を整える
実施可能性	3(時間はかかるが実施できる)	4(すぐに実施できる)	4(すぐに実施できる)	4(すぐに実施できる)	4(すぐに実施できる)	4(すぐに実施できる)
改善策	年間予定表を作成し、計画的な作付けを生産者にお願いする					流通業者に地場産物の取り扱いを増やしてもらう
						配送を専門に行う人員を自治で確保する

改善策										
食材の調達を工夫する			意識							
地場産野菜生産出荷組合と給食センター間で、献立に合わせた栽培や出荷量を調整する	使用頻度の高い物（にんじん、玉ねぎ、じゃがいも等）を年中供給できる体制を整える	特別栽培の推奨を行う	計画的に栽培し計画的に購入する仕組みをつくる	品質及び規格が均一で作業しやすい食材を提供してもらう	地域全体で地場産物を優先的に使用する意識を向上させる	市でなるべく、市産→県産→国産の順で食材を使用しようとする				
						4(すぐに実施できる)	4(すぐに実施できる)	4(すぐに実施できる)	4(すぐに実施できる)	4(すぐに実施できる)

改善策														
改善策	連携										農家と契約			
	加工	県と市の取組	出荷組織と連携	学校・農家・教育委員会と連携	学校側が前年度に使用した月ごとの野菜の品目と数量を把握し、生産者や農協に提示する	生産者（JA）と給食センターが連携して野菜の使用計画を立てる	JAとの連携	生産者と食材提供価格の調整	米養士と生産者が積極的にコミュニケーションをとる	地元の商店とのつながりを強く持つ	農家・仲介業者・自治体のそれぞれに利益があるように需要と供給をすり合わせる	農政管轄部署や府県との連携（農業従事者と農地の確保）	協力	農家と契約
安価で大量調理にふさわしい加工品を開発する	県と市の取組り組み方に積極的な連携性を持たせる	出荷組織と連携をする（発注量の確保・変更等に柔軟に対応するたため）	学校・農家・教育委員会と連携をとる	学校側が前年度に使用した月ごとの野菜の品目と数量を把握し、生産者や農協に提示する	生産者（JA）と給食センターが連携して野菜の使用計画を立てる	JAとの連携	生産者と食材提供価格の調整	米養士と生産者が積極的にコミュニケーションをとる	地元の商店とのつながりを強く持つ	農家・仲介業者・自治体のそれぞれに利益があるように需要と供給をすり合わせる	農政管轄部署や府県との連携（農業従事者と農地の確保）	地元の農産物生産販売組合や地元販売店から生産情報を早め知らせてもらう	米養士だけでなく市の産業経済課、JAなどからの情報提供や協力	地元農家と直接契約し、年度当初に使う数量を事前に確保する
実施可能性	4(すぐに実施できる)	4(すぐに実施できる)	4(すぐに実施できる)	4(すぐに実施できる)	4(すぐに実施できる)	4(すぐに実施できる)	4(すぐに実施できる)	4(すぐに実施できる)	4(すぐに実施できる)	4(すぐに実施できる)	4(すぐに実施できる)	4(すぐに実施できる)	4(すぐに実施できる)	4(すぐに実施できる)

改善策		外部		情報発信											
改善策	市から生産者への対応		外部		情報発信										
	生産者への支援や後継者の育成等々の農業振興策を行う	生産者人口や生産地面積が増えるような働きかけを市農政担当者で行う	早朝の配送や、数量の確保等、大きな組織を通して、安定的な供給を行う	府県産大豆を使用した製品を安くで入手する	ハムやさつま揚げのよな原料も外国産が多い食材に代わる製品を見つける	果物を安価で皮をむく、カットする、個包装にしてくれる業者を見つける	発送された良材を取りまとめ、生産者と連絡及び調整しながら、食材が確実に納品されるように調理場と生産者との間に入るコーディネーターを見つかる	学校給食に地場産物を使用した際、子供達の様子や感想等を業者・生産者へ発信する	生産者側から地場産についての情報を発信する	生産者から、農産物の生産状況や生産量等についての実情を定期的に示す	4(すぐに実施できる)	4(すぐに実施できる)	4(すぐに実施できる)	4(すぐに実施できる)	4(すぐに実施できる)
農家が安心して栽培できる環境を整える	4(すぐに実施できる)	4(すぐに実施できる)	4(すぐに実施できる)	4(すぐに実施できる)	4(すぐに実施できる)	4(すぐに実施できる)	4(すぐに実施できる)	4(すぐに実施できる)	4(すぐに実施できる)	4(すぐに実施できる)	4(すぐに実施できる)	4(すぐに実施できる)	4(すぐに実施できる)	4(すぐに実施できる)	4(すぐに実施できる)
実施可能性	4(すぐに実施できる)	4(すぐに実施できる)	4(すぐに実施できる)	4(すぐに実施できる)	4(すぐに実施できる)	4(すぐに実施できる)	4(すぐに実施できる)	4(すぐに実施できる)	4(すぐに実施できる)	4(すぐに実施できる)	4(すぐに実施できる)	4(すぐに実施できる)	4(すぐに実施できる)	4(すぐに実施できる)	4(すぐに実施できる)

改善策					
コスト			理解		その他
割高感のない価格設定にする	保護者の理解を得、給食費を上げる	産業者の理解を得、給食費を上げる	産業者と学校栄養士が交流を深め、学校給食への地域や農家の理解を促す	産業者と子供たちが給食を一緒に食べる機会を設け、「とれたての食材を子供たちに届けたい」という思いを深める	調理場の設備、機器、器具等の採用と活用をする
4(すぐに実施できる)	4(すぐに実施できる)	4(すぐに実施できる)	4(すぐに実施できる)	4(すぐに実施できる)	2(あまり改善できない)
				月1回の地場産物Dayを設ける	2(あまり改善できない)
					2(あまり改善できない)

本アンケート調査票 (Excel) (実施可能性) (回答欄)

評価基準 (実施可能性)		実施可能性目安
1	実施できない	0%
2	実施できるかどうかかわからない	1%~25%
3	時間はかかるが実施できる	26%~50%
4	すぐに実施できる	51%~75%
5	すでに実施している	76%~100%

①それぞれの改善策が左の評価基準のどれに当てはまるのか、数字を選択する。

改善策						
改善策	話し合いの場を設ける			体制を整える		配送手段を整える
	年間予定表を作成し、計画的な作付けを生産者にお願する	米糞教諭や地元農家等の関係者で使用する食材の意見交換をする	前年の納入や取り組み等について反省する	地場産物の供給状況、生育状況、品質・価格・市場動向等について現状報告をする	納入可能な食材の種類や数量、期間等を検討する	少数の作物の供給量を増やす
実施可能性						流通業者に地場産物の取り扱いを増やしてもらう
						配送を専門に行う人員を自治体確保する

改善策					
食材の調達を工夫する			意識		
<p>地場産野菜生産出荷組合と給食センター間で、献立に合わせて栽培や出荷量を調整する</p>	<p>使用頻度の高い物（にんじん、玉ねぎ、じゃがいも等）を年中供給できる体制を整える</p>	<p>特別栽培の推奨を行う</p>	<p>計画的に栽培し計画的に購入する仕組みをつくる</p>	<p>品質及び規格が均一で作業しやすい食材を提供してもらう</p>	<p>地域全体で地場産物を優先的に使用する意識を向上させる</p>
				<p>市でなるべく、市産→県産→国産の順で食材を使用しようとして意識する</p>	

改善策														
改善策	連携					協力				農家と契約				
	加工	出荷組織と連携を する (発注量の確保・変更等に柔軟に対応するた め)	学校・農家・教育委員会と連携をとる	学校側が前年度に使用した 月ごとの野菜の品目と数量を把握し、生産者や農協に提示する	生産者(JA)と給食センターが連携して野菜の使用計画を立てる	JAとの連携	生産者と食材料提供価格の調整	栄養士と生産者が積極的にコミュニケーションをとる	地元の商店とのつながりを強く持つ	農家・中介業者・自治体のそれぞれに利益があるように需要と供給をすり合わせる	農政官轄部署や府県の連携(農業従事者と農地の確保)	地元の農産物生産販売組合や地元販売店から生産情報を早め知らせてもらう	栄養士だけでなく市の産業経済課、JAなどからの情報提供や協力を	地元農家と直接契約し、年度当初に使う数量を事前に確保する
安価で大量調理にふさわしい加工品を開発する	県と市の取り組み方に積極的な運動性を持たせる													
実施可能性														

改善策										
改善策	市から生産者への対応			外部			情報発信			
	生産者への支援や後継者の育成等々の農業振興策を行う	農家が安心して栽培できる環境を整える	生産者人口や生産地面積が増えるよう働きかけを市農政担当者で行う	早朝の配送や、数量の確保等、大きな組織を通して、安定的な供給を行う	府県産大豆を使用した製品を安く入手する	ハムやさつま揚げのような原料も外国産が多い食材に代わる製品を見つける	果物を安価で皮をむく、カットする、個包装にしてくれる業者を見つける	発注された食材を取りまとめ、生産者と連絡及び調整しながら、食材が確実に納品されるよう調理場と生産者との間に入るコーディネーターをつける	学校給食に地場産物を使用した際、子供達の様子や感想等を業者・生産者へ発信する	生産者側から地場産物についての情報を発信する
実施可能性										

改善策			
コスト		理解	その他
割高感のない価格設定にする	保護者の理解を得、給食費を上げる	生産者と学校栄養士が交流を深め、学校給食への地域や農家の理解を促す	月1回の地場産物Dayを設ける
	産業振興面からの購入費補助を行う	生産者と子供たちが給食を一緒に食べる機会を設け、「とれたての食材を子供たちに届けたい」という思いを深める	調理場の設備、機器、器具等の採用と活用をする

付録3 本アンケート回答結果（改善可能性）

改善策の改善可能性における、回答の一覧を以下に示す。

6-5-1-1 安定的な供給量の確保

安定的な供給量の確保における改善策の改善可能性（背景：提供数の多さ）

	改善策	改善可能性					合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
		全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらとも いえない (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)			
話し合いの場を設ける	年間予定表を作成し、計画的な作付けを生産者をお願いする	1	9	3	5	2	20	58	2.9
	栄養教諭や地元農家等の関係者で使用する食材の意見交換をする	0	3	9	6	2	20	67	3.4
	前年の納入や取り組み等についての反省をする	0	4	7	5	4	20	69	3.5
	地場産物の供給状況、使用状況、生育状況、品質・価格・市場動向等について現状報告をする	0	7	6	5	2	20	62	3.1
	納入可能な食材の種類や数量、期間等を検討する	0	1	8	9	2	20	72	3.6
	少数の作物の供給量を増やす	3	6	7	5	0	21	56	2.7
体制を整える	改善策	全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらとも いえない (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	地場産物を一括で優先的に安価に納品できる環境を整える	1	8	5	4	1	19	53	2.8
配送手段を整える	改善策	全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらとも いえない (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	流通業者に地場産物の取り扱いを増やしてもらおう	2	4	6	7	0	19	56	2.9
配送を専門に行う人員を自治で確保する	7	5	2	5	0	19	43	2.3	
食材の調達を工夫する	改善策	全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらとも いえない (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	地場産野菜生産出荷組合と給食センター間で、献立に合わせて栽培や出荷量を調整する	1	7	7	3	1	19	53	2.8
	使用頻度の高い物（にんじん、玉ねぎ、じゃがいも等）を年中供給できる体制を整える	1	6	6	7	1	21	64	3.0
	特別栽培の推奨を行う	0	11	6	2	1	20	53	2.7
	計画的に栽培し計画的に購入する仕組みをつくる	0	5	9	5	1	20	62	3.1
	品質及び規格が均一で作業しやすい食材を提供してもらおう	1	8	6	5	1	21	60	2.9
意識	改善策	全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらとも いえない (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	地域全体で地場産物を優先的に使用する意識を向上させる	0	2	10	6	0	18	58	3.2
市でなるべく、市産→県産→国産の順で食材を使用しよう意識する	0	2	9	7	0	18	59	3.3	
加工	改善策	全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらとも いえない (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	安価で大量調理にふさわしい加工品を開発する	2	8	1	5	0	16	41	2.6

	改善策	改善可能性					合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
		全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらとも いえない (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)			
連携	県と市の取り組み方に積極的な運動性を持たせる	0	6	6	3	0	15	42	2.8
	出荷組織と連携をする（発注量の確保・変更等に柔軟に対応するため）	0	3	7	5	1	16	52	3.3
	学校・農家・教育委員会と連携をとる	0	2	6	7	1	16	55	3.4
	学校側が前年度に使用した月ごとの野菜の品目と数量を把握し、生産者や農協に提示する	1	3	6	6	0	16	49	3.1
	生産者（JA）と給食センターが連携して野菜の使用計画を立てる	0	3	5	7	0	15	49	3.3
	JAとの連携	0	4	6	7	0	17	54	3.2
	生産者と食材提供価格の調整	1	4	7	4	0	16	46	2.9
	栄養士と生産者が積極的にコミュニケーションをとる	0	4	3	9	0	16	53	3.3
	地元の商店とのつながりを強く持つ	1	5	5	5	0	16	46	2.9
	農家・仲介業者・自治体のそれぞれに利益があるように需要と供給をすり合わせる	0	6	8	2	0	16	44	2.8
	農政管轄部署や府県との連携（農業従事者と農地の確保）	0	3	10	3	0	16	48	3.0
協力	改善策	全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらとも いえない (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	地元の農産物生産販売組合や地元販売店から生産情報を早めに知らせてもらう	1	4	6	3	1	15	44	2.9
	栄養士だけでなく市の産業経済課、JAなどからの情報提供や協力	0	5	2	7	1	15	49	3.3
農家と契約	改善策	全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらとも いえない (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	地元農家と直接契約し、年度当初に使う数量を事前に確保する	0	5	5	6	0	16	49	3.1
市から 生産者への 対応	改善策	全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらとも いえない (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	生産者への支援や後継者の育成等々の農業振興策を行う	0	7	4	5	0	16	46	2.9
	農家が安心して栽培できる環境を整える	0	6	3	7	0	16	49	3.1
	生産者人口や生産地面積が増えるような働きかけを市農政担当者とする	0	6	8	2	0	16	44	2.8
外部	改善策	全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらとも いえない (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	早朝の配送や、数量の確保等、大きな組織を通して、安定的な供給を行う	0	6	5	3	1	15	44	2.9
	府県産大豆を使用した製品を安く入手する	2	5	5	3	0	15	39	2.6
	ハムやさつま揚げのような原料も外国産が多い食材に代わる製品を見つける	1	8	5	1	0	15	36	2.4
	果物を安価で皮をむく、カットする、個包装にしてくれる業者を見つける	2	6	6	1	0	15	36	2.4
	発注された食材を取りまとめ、生産者と連絡及び調整しながら、食材が確実に納品されるように調理場と生産者との間に入るコーディネーターを見つける	1	5	7	2	0	15	40	2.7
情報発信	改善策	全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらとも いえない (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	学校給食に地場産物を使用した際、子供達の様子や感想等を業者・生産者へ発信する	0	2	7	5	1	15	50	3.3
	生産者側から地場産についての情報を発信する	0	3	9	3	0	15	45	3.0
	生産者から、農産物の生産状況や生産量等についての確実な細かい情報発信を定期的に行ってもらう	0	4	6	4	1	15	47	3.1

コスト	改善策	改善可能性					合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
		全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらとも いえない (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)			
	割高感のない価格設定にする	1	2	9	3	0	15	44	2.9
	保護者の理解を得、給食費を上げる	2	7	6	0	0	15	34	2.3
	産業振興面からの購入費補助を行う	1	5	5	4	0	15	42	2.8
理解	改善策	改善可能性					合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
		全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらとも いえない (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)			
		生産者と学校栄養士が交流を深め、学校給食への地域や農家の理解を促す	0	2	5	8			
生産者と子供たちが給食を一緒に食べる機会を設け、「とれたての食材を子供たちに届けたい」という思いを深める	0	4	4	7	0	15	48	3.2	
その他	改善策	改善可能性					合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
		全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらとも いえない (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)			
		月1回の地場産物Dayを設ける	1	3	3	7			
調理場の設備、機器、器具等の採用と活用をする	3	6	3	3	0	15	36	2.4	

安定的な供給量の確保における改善策の改善可能性（背景：生産者の確保が難しい）

話し合いの場を設ける	改善策	改善可能性					合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)				
		全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらとも いえない (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)							
	年間予定表を作成し、計画的な作付けを生産者にお願する	1	2	3	4	0	10	30	3.0				
	栄養教諭や地元農家等の関係者で使用する食材の意見交換をする	2	2	3	2	1	10	28	2.8				
	前年の納入や取り組み等についての反省をする	1	3	1	4	1	10	31	3.1				
	地場産物の供給状況、使用状況、生育状況、品質・価格・市場動向等について現状報告をする	1	4	2	3	0	10	27	2.7				
	納入可能な食材の種類や数量、期間等を検討する	1	1	3	4	1	10	33	3.3				
	少数の作物の供給量を増やす	2	2	4	2	0	10	26	2.6				
体制を整える	改善策	改善可能性					合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)				
		全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらとも いえない (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)							
	地場産物を一括で優先的に安価に納品できる環境を整える	2	2	4	2	0	10	31	3.1				
配送手段を整える	改善策	改善可能性					合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)				
		全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらとも いえない (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)							
	流通業者に地場産物の取り扱いを増やしてもらう	1	2	2	5	0	10	26	2.6				
	配送を専門に行う人員を自治で確保する	4	3	0	3	0	9	23	2.6				
食材の調達を工夫する	改善策	改善可能性					合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)				
		全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらとも いえない (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)							
		地場産野菜生産出荷組合と給食センター間で、献立に合わせて栽培や出荷量を調整する	1	4	3	2				0	10	26	2.6
		使用頻度の高い物（にんじん、玉ねぎ、じゃがいも等）を年中供給できる体制を整える	2	2	3	2				0	9	23	2.6
		特別栽培の推奨を行う	3	3	4	0				0	10	21	2.1
計画的に栽培し計画的に購入する仕組みをつくる	0	2	2	6	0	10	34	3.4					
品質及び規格が均一で作業しやすい食材を提供してもらう	2	4	1	2	1	10	26	2.6					
意識	改善策	改善可能性					合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)				
		全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらとも いえない (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)							
	地域全体で地場産物を優先的に使用する意識を向上させる	0	2	3	5	0	10	33	3.3				
	市でなるべく、市産→県産→国産の順で食材を使用しようと意識する	0	1	2	7	0	10	36	3.6				
加工	改善策	改善可能性					合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)				
		全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらとも いえない (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)							
	安価で大量調理にふさわしい加工品を開発する	1	6	0	0	0	7	13	1.9				

	改善策	改善可能性	全く改善できない	あまり改善できない	どちらともいえない	やや改善できる	大いに改善できる	合計	合計	平均
			(*1)	(*2)	(*3)	(*4)	(*5)	(市)	(点)	(点)
連携	県と市の取り組み方に積極的な連動性を持たせる		0	1	6	1	0	8	24	3.0
	出荷組織と連携をする(発注量の確保・変更等に柔軟に対応するため)		1	2	2	2	1	8	24	3.0
	学校・農家・教育委員会と連携をとる		1	2	1	4	0	8	24	3.0
	学校側が前年度に使用した月ごとの野菜の品目と数量を把握し、生産者や農協に提示する		2	3	0	2	1	8	21	2.6
	生産者(JA)と給食センターが連携して野菜の使用計画を立てる		1	2	1	4	0	8	24	3.0
	JAとの連携		0	1	3	4	0	8	27	3.4
	生産者と食材提供価格の調整		2	2	3	1	0	8	19	2.4
	栄養士と生産者が積極的にコミュニケーションをとる		1	3	2	1	1	8	22	2.8
	地元の商店とのつながりを強く持つ		1	4	2	1	0	8	19	2.4
	農家・仲介業者・自治体のそれぞれに利益があるように需要と供給をすり合わせる		0	2	5	1	0	8	23	2.9
	農政管轄部署や府県との連携(農業従事者と農地の確保)		0	2	5	1	0	8	23	2.9
協力	改善策	改善可能性	全く改善できない	あまり改善できない	どちらともいえない	やや改善できる	大いに改善できる	合計	合計	平均
			(*1)	(*2)	(*3)	(*4)	(*5)	(市)	(点)	(点)
	地元の農産物生産販売組合や地元販売店から生産情報を早めに知らせてもらう		1	3	2	2	0	8	21	2.6
栄養士だけでなく市の産業経済課、JAなどからの情報提供や協力		1	3	2	2	0	8	21	2.6	
農家と契約	改善策	改善可能性	全く改善できない	あまり改善できない	どちらともいえない	やや改善できる	大いに改善できる	合計	合計	平均
			(*1)	(*2)	(*3)	(*4)	(*5)	(市)	(点)	(点)
	地元農家と直接契約し、年度当初に使う数量を事前に確保する		1	2	2	3	0	8	23	2.9
市から生産者への対応	改善策	改善可能性	全く改善できない	あまり改善できない	どちらともいえない	やや改善できる	大いに改善できる	合計	合計	平均
			(*1)	(*2)	(*3)	(*4)	(*5)	(市)	(点)	(点)
	生産者への支援や後継者の育成等々の農業振興策を行う		0	0	2	6	0	8	30	3.8
	農家が安心して栽培できる環境を整える		0	1	3	4	0	8	27	3.4
生産者人口や生産地面積が増えるような働きかけを市農政担当者とする		0	4	2	2	0	8	22	2.8	
外部	改善策	改善可能性	全く改善できない	あまり改善できない	どちらともいえない	やや改善できる	大いに改善できる	合計	合計	平均
			(*1)	(*2)	(*3)	(*4)	(*5)	(市)	(点)	(点)
	早朝の配送や、数量の確保等、大きな組織を通して、安定的な供給を行う		1	3	1	3	0	8	22	2.8
	府県産大豆を使用した製品を安く入手する		2	3	2	1	0	8	18	2.3
	ハムやさつま揚げのような原料も外国産が多い食材に代わる製品を見つける		1	4	2	0	0	7	15	2.1
	果物を安価で皮をむく、カットする、個包装にしてくれる業者を見つける		2	4	0	1	0	7	14	2.0
発注された食材を取りまとめ、生産者と連絡及び調整しながら、食材が確実に納品されるように調理場と生産者との間に入るコーディネーターを見つける		2	3	2	1	0	8	18	2.3	
情報発信	改善策	改善可能性	全く改善できない	あまり改善できない	どちらともいえない	やや改善できる	大いに改善できる	合計	合計	平均
			(*1)	(*2)	(*3)	(*4)	(*5)	(市)	(点)	(点)
	学校給食に地場産物を使用した際、子供達の様子や感想等を業者・生産者へ発信する		0	3	2	2	1	8	25	3.1
	生産者側から地場産物についての情報を発信する		1	2	3	2	0	8	22	2.8
生産者から、農産物の生産状況や生産量等についての確実な細かい情報発信を定期的にしてもらう		1	2	3	2	0	8	22	2.8	
コスト	改善策	改善可能性	全く改善できない	あまり改善できない	どちらともいえない	やや改善できる	大いに改善できる	合計	合計	平均
			(*1)	(*2)	(*3)	(*4)	(*5)	(市)	(点)	(点)
	割高感のない価格設定にする		1	2	4	1	0	8	21	2.6
保護者の理解を得、給食費を上げる		2	5	1	0	0	8	15	1.9	
産業振興面からの購入費補助を行う		2	2	3	1	0	8	19	2.4	

理解	改善策	改善可能性					合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
		全く改善 できない (*1)	あまり改善 できない (*2)	どちらと もいえな い (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)			
	生産者と学校栄養士が交流を深め、学校給食への地域や農家の理解を促す	0	3	3	2	0	8	23	2.9
	生産者と子供たちが給食と一緒に食べる機会を設け、「とれたての食材を子供たちに届けたい」という思いを深める	0	3	4	1	0	8	22	2.8
その他	改善策	改善可能性					合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
		全く改善 できない (*1)	あまり改善 できない (*2)	どちらと もいえな い (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)			
	月1回の地場産物Dayを設ける	1	2	4	1	0	8	21	2.6
	調理場の設備、機器、器具等の採用と活用をする	3	3	0	2	0	8	17	2.1

安定的な供給量の確保における改善策の改善可能性（背景：生産者の高齢化）

話し合いの場を設ける	改善策	改善可能性					合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
		全く改善 できない (*1)	あまり改善 できない (*2)	どちらと もいえな い (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)			
	年間予定表を作成し、計画的な作付けを生産者にお願する	1	2	0	0	0	3	5	1.7
	栄養教諭や地元農家等の関係者で使用する食材の意見交換をする	2	0	1	0	0	3	5	1.7
	前年の納入や取り組み等についての反省をする	2	0	1	0	0	3	5	1.7
	地場産物の供給状況、使用状況、生育状況、品質・価格・市場動向等について現状報告をする	2	1	0	0	0	3	4	1.3
	納入可能な食材の種類や数量、期間等を検討する	1	1	1	0	0	3	6	2.0
	少数の作物の供給量を増やす	3	0	0	0	0	3	3	1.0
体制を整える	改善策	改善可能性					合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
		全く改善 できない (*1)	あまり改善 できない (*2)	どちらと もいえな い (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)			
	地場産物を一括で優先的に安価に納品できる環境を整える	1	1	1	0	0	3	6	2.0
配送手段を整える	改善策	改善可能性					合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
		全く改善 できない (*1)	あまり改善 できない (*2)	どちらと もいえな い (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)			
	流通業者に地場産物の取り扱いを増やしてもらう	2	0	1	0	0	3	5	1.7
	配送を専門に行う人員を自治で確保する	2	1	0	0	0	3	4	1.3
食材の調達を工夫する	改善策	改善可能性					合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
		全く改善 できない (*1)	あまり改善 できない (*2)	どちらと もいえな い (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)			
	地場産野菜生産出荷組合と給食センター間で、献立に合わせて栽培や出荷量を調整する	2	1	0	0	0	3	4	1.3
	使用頻度の高い物（にんじん、玉ねぎ、じゃがいも等）を年中供給できる体制を整える	2	1	0	0	0	3	4	1.3
	特別栽培の推奨を行う	1	1	1	0	0	3	6	2.0
	計画的に栽培し計画的に購入する仕組みをつくる	0	0	3	0	0	3	9	3.0
	品質及び規格が均一で作業しやすい食材を提供してもらう	2	0	1	0	0	3	5	1.7
意識	改善策	改善可能性					合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
		全く改善 できない (*1)	あまり改善 できない (*2)	どちらと もいえな い (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)			
	地域全体で地場産物を優先的に使用する意識を向上させる	0	0	3	0	0	3	9	3.0
	市でなるべく、市産→県産→国産の順で食材を使用しようと意識する	1	1	1	0	0	3	6	2.0
加工	改善策	改善可能性					合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
		全く改善 できない (*1)	あまり改善 できない (*2)	どちらと もいえな い (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)			
	安価で大量調理にふさわしい加工品を開発する	2	1	0	0	0	3	4	1.3

	改善策	改善可能性	全く改善	あまり改	どちらと	やや改善	大いに改	合計	合計	平均	
			できない	善できな	もいえな	できる	善できる				
			(*1)	い (*2)	い (*3)	(*4)	(*5)	(市)	(点)	(点)	
連携	県と市の取り組み方に積極的な運動性を持たせる		1	1	1	0	0	3	6	2.0	
	出荷組織と連携をする（発注量の確保・変更等に柔軟に対応するため）		1	1	1	0	0	3	6	2.0	
	学校・農家・教育委員会と連携をとる		2	0	1	0	0	3	5	1.7	
	学校側が前年度に使用した月ごとの野菜の品目と数量を把握し、生産者や農協に提示する		2	0	1	0	0	3	5	1.7	
	生産者（JA）と給食センターが連携して野菜の使用計画を立てる		1	2	0	0	0	3	5	1.7	
	JAとの連携		1	1	1	0	0	3	6	2.0	
	生産者と食材提供価格の調整		2	1	0	0	0	3	4	1.3	
	栄養士と生産者が積極的にコミュニケーションをとる		1	2	0	0	0	3	5	1.7	
	地元の商店とのつながりを強く持つ		2	1	0	0	0	3	4	1.3	
	農家・仲介業者・自治体のそれぞれに利益があるように需要と供給をすり合わせる		0	1	2	0	0	3	8	2.7	
農政管轄部署や府県との連携（農業従事者と農地の確保）		0	1	2	0	0	3	8	2.7		
協力	改善策	改善可能性	全く改善	あまり改	どちらと	やや改善	大いに改	合計	合計	平均	
			できない	善できな	もいえな	できる	善できる	(市)	(点)	(点)	
			(*1)	い (*2)	い (*3)	(*4)	(*5)				
	地元の農産物生産販売組合や地元販売店から生産情報を早めに知らせてもらう		2	0	1	0	0	3	5	1.7	
	栄養士だけでなく市の産業経済課、JAなどからの情報提供や協力		1	2	0	0	0	3	5	1.7	
農家と契約	改善策	改善可能性	全く改善	あまり改	どちらと	やや改善	大いに改	合計	合計	平均	
			できない	善できな	もいえな	できる	善できる	(市)	(点)	(点)	
	地元農家と直接契約し、年度当初に使う数量を事前に確保する		1	1	1	0	0	3	6	2.0	
市から 対応 生産者への	改善策	改善可能性	全く改善	あまり改	どちらと	やや改善	大いに改	合計	合計	平均	
			できない	善できな	もいえな	できる	善できる	(市)	(点)	(点)	
			(*1)	い (*2)	い (*3)	(*4)	(*5)				
		生産者への支援や後継者の育成等々の農業振興策を行う		0	1	1	1	0	3	9	3.0
	農家が安心して栽培できる環境を整える		0	1	1	1	0	3	9	3.0	
	生産者人口や生産地面積が増えるような働きかけを市農政担当者とする		0	1	1	1	0	3	9	3.0	
外部	改善策	改善可能性	全く改善	あまり改	どちらと	やや改善	大いに改	合計	合計	平均	
			できない	善できな	もいえな	できる	善できる	(市)	(点)	(点)	
			(*1)	い (*2)	い (*3)	(*4)	(*5)				
		早朝の配送や、数量の確保等、大きな組織を通して、安定的な供給を行う		2	1	0	0	0	3	4	1.3
		府県産大豆を使用した製品を安く入手する		2	1	0	0	0	3	4	1.3
		ハムやさつま揚げのような原料も外国産が多い食材に代わる製品を見つける		2	1	0	0	0	3	4	1.3
	果物を安価で皮をむく、カットする、個包装にしてくれる業者を見つける		2	1	0	0	0	3	4	1.3	
	発注された食材を取りまとめ、生産者と連絡及び調整しながら、食材が確実に納品されるように調理場と生産者との間に入るコーディネーターを見つける		2	1	0	0	0	3	4	1.3	
情報発信	改善策	改善可能性	全く改善	あまり改	どちらと	やや改善	大いに改	合計	合計	平均	
			できない	善できな	もいえな	できる	善できる	(市)	(点)	(点)	
			(*1)	い (*2)	い (*3)	(*4)	(*5)				
	学校給食に地場産物を使用した際、子供達の様子や感想等を業者・生産者へ発信する		0	1	2	0	0	3	8	2.7	
	生産者側から地場産物についての情報を発信する		1	1	1	0	0	3	6	2.0	
	生産者から、農産物の生産状況や生産量等についての確実な細かい情報発信を定期的に行ってもら		1	2	0	0	0	3	5	1.7	
コスト	改善策	改善可能性	全く改善	あまり改	どちらと	やや改善	大いに改	合計	合計	平均	
			できない	善できな	もいえな	できる	善できる	(市)	(点)	(点)	
			(*1)	い (*2)	い (*3)	(*4)	(*5)				
	割高感のない価格設定にする		2	0	1	0	0	3	5	1.7	
	保護者の理解を得、給食費を上げる		2	0	1	0	0	3	5	1.7	
	産業振興面からの購入費補助を行う		1	2	0	0	0	3	5	1.7	

	改善策	改善可能性					合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
		全く改善 できない (*1)	あまり改 善できな い (*2)	どちらと もいえな い (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)			
理解	生産者と学校栄養士が交流を深め、学校給食への地域や農家の理解を促す	0	1	2	0	0	3	8	2.7
	生産者と子供たちが給食と一緒に食べる機会を設け、「とれたての食材を子供たちに届けたい」という思いを深める	0	1	2	0	0	3	8	2.7
その他	改善策	全く改善 できない (*1)	あまり改 善できな い (*2)	どちらと もいえな い (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	月1回の地場産物Dayを設ける	2	1	0	0	0	3	4	1.3
	調理場の設備、機器、器具等の採用と活用をする	2	1	0	0	0	3	4	1.3

安定的な供給量の確保における改善策の改善可能性（背景：生産者の後継者不足のため）

	改善策	改善可能性					合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
		全く改善 できない (*1)	あまり改 善できな い (*2)	どちらと もいえな い (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)			
話し合いの場を設ける	年間予定表を作成し、計画的な作付けを生産者をお願いする	1	0	0	0	0	1	1	1.0
	栄養教諭や地元農家等の関係者で使用する食材の意見交換をする	1	0	0	0	0	1	1	1.0
	前年の納入や取り組み等についての反省をする	1	0	0	0	0	1	1	1.0
	地場産物の供給状況、使用状況、生育状況、品質・価格・市場動向等について現状報告をする	1	0	0	0	0	1	1	1.0
	納入可能な食材の種類や数量、期間等を検討する	1	0	0	0	0	1	1	1.0
	少数の作物の供給量を増やす	1	0	0	0	0	1	1	1.0
		改善策	全く改善 できない (*1)	あまり改 善できな い (*2)	どちらと もいえな い (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)
体制を整える	地場産物を一括で優先的に安価に納品できる環境を整える	1	0	0	0	0	1	1	1.0
配送手段を整える	改善策	全く改善 できない (*1)	あまり改 善できな い (*2)	どちらと もいえな い (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	流通業者に地場産物の取り扱いを増やしてもらおう	1	0	0	0	0	1	1	1.0
	配送を専門に行う人員を自治で確保する	1	0	0	0	0	1	1	1.0
食材の調達を工夫する	改善策	全く改善 できない (*1)	あまり改 善できな い (*2)	どちらと もいえな い (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	地場産野菜生産出荷組合と給食センター間で、献立に合わせて栽培や出荷量を調整する	1	0	0	0	0	1	1	1.0
	使用頻度の高い物（にんじん、玉ねぎ、じゃがいも等）を年中供給できる体制を整える	1	0	0	0	0	1	1	1.0
	特別栽培の推奨を行う	1	0	0	0	0	1	1	1.0
	計画的に栽培し計画的に購入する仕組みをつくる	0	0	1	0	0	1	3	3.0
	品質及び規格が均一で作業しやすい食材を提供してもらおう	1	0	0	0	0	1	1	1.0
意識	改善策	全く改善 できない (*1)	あまり改 善できな い (*2)	どちらと もいえな い (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	地域全体で地場産物を優先的に使用する意識を向上させる	0	0	1	0	0	1	3	3.0
	市でなるべく、市産→県産→国産の順で食材を使用しよう意識する	0	0	1	0	0	1	3	3.0
加工	改善策	全く改善 できない (*1)	あまり改 善できな い (*2)	どちらと もいえな い (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	安価で大量調理にふさわしい加工品を開発する	1	0	0	0	0	1	1	1.0

	改善策	改善可能性	改善可能性					合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)	
			全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)				
連携	県と市の取り組み方に積極的な連動性を持たせる		0	0	1	0	0	1	3	3.0	
	出荷組織と連携をする（発注量の確保・変更等に柔軟に対応するため）		1	0	0	0	0	1	1	1.0	
	学校・農家・教育委員会と連携をとる		1	0	0	0	0	1	1	1.0	
	学校側が前年度に使用した月ごとの野菜の品目と数量を把握し、生産者や農協に提示する		1	0	0	0	0	1	1	1.0	
	生産者（JA）と給食センターが連携して野菜の使用計画を立てる		1	0	0	0	0	1	1	1.0	
	JAとの連携		1	0	0	0	0	1	1	1.0	
	生産者と食材提供価格の調整		1	0	0	0	0	1	1	1.0	
	栄養士と生産者が積極的にコミュニケーションをとる		1	0	0	0	0	1	1	1.0	
	地元の商店とのつながりを強く持つ		1	0	0	0	0	1	1	1.0	
	農家・仲介業者・自治体のそれぞれに利益があるように需要と供給をすり合わせる 農政管轄部署や府県との連携（農業従事者と農地の確保）		0	0	1	0	0	1	3	3.0	
協力	地元の農産物生産販売組合や地元販売店から生産情報を早めに知らせてもらう		1	0	0	0	0	1	1	1.0	
	栄養士だけでなく市の産業経済課、JAなどからの情報提供や協力		1	0	0	0	0	1	1	1.0	
	農家と契約		1	0	0	0	0	1	1	1.0	
農家と契約	地元農家と直接契約し、年度当初に使う数量を事前に確保する		1	0	0	0	0	1	1	1.0	
	市から生産者への対応	生産者への支援や後継者の育成等々の農業振興策を行う		0	0	0	1	0	1	4	4.0
		農家が安心して栽培できる環境を整える		0	0	0	1	0	1	4	4.0
生産者人口や生産地面積が増えるような働きかけを市農政担当者を行う			0	0	0	1	0	1	4	4.0	
外部	早朝の配送や、数量の確保等、大きな組織を通して、安定的な供給を行う		1	0	0	0	0	1	1	1.0	
	府県産大豆を使用した製品を安く入手する		1	0	0	0	0	1	1	1.0	
	ハムやさつま揚げのような原料も外国産が多い食材に代わる製品を見つける		1	0	0	0	0	1	1	1.0	
	果物を安価で皮をむく、カットする、個包装してくれる業者を見つける		1	0	0	0	0	1	1	1.0	
	発注された食材を取りまとめ、生産者と連絡及び調整しながら、食材が確実に納品されるように調理場と生産者との間に入るコーディネーターを見つける		1	0	0	0	0	1	1	1.0	
	情報発信	学校給食に地場産物を使用した際、子供達の様子や感想等を業者・生産者へ発信する		0	0	1	0	0	1	3	3.0
生産者側から地場産についての情報を発信する			1	0	0	0	0	1	1	1.0	
生産者から、農産物の生産状況や生産量等についての確実な細かい情報発信を定期的にしてもらう			1	0	0	0	0	1	1	1.0	
コスト	割高感のない価格設定にする		1	0	0	0	0	1	1	1.0	
	保護者の理解を得、給食費を上げる		1	0	0	0	0	1	1	1.0	
	産業振興面からの購入費補助を行う		1	0	0	0	0	1	1	1.0	

	改善策	改善可能性					合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
		全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)			
理解	生産者と学校栄養士が交流を深め、学校給食への地域や農家の理解を促す	0	0	1	0	0	1	3	3.0
	生産者と子供たちが給食を一緒に食べる機会を設け、「とれたての食材を子供たちに届けたい」という思いを深める	0	0	1	0	0	1	3	3.0
その他	改善策	全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	月1回の地場産物Dayを設ける	1	0	0	0	0	1	1	1.0
	調理場の設備、機器、器具等の採用と活用をする	1	0	0	0	0	1	1	1.0

安定的な供給量の確保における改善策の改善可能性

(背景：収穫時期と使用時期が乖離している)

	改善策	改善可能性					合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
		全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)			
話し合いの場を設ける	年間予定表を作成し、計画的な作付けを生産者にお願する	0	1	1	0	2	4	15	3.8
	栄養教諭や地元農家等の関係者で使用する食材の意見交換をする	0	1	1	0	2	4	15	3.8
	前年の納入や取り組み等についての反省をする	0	1	2	1	0	4	12	3.0
	地場産物の供給状況、使用状況、生育状況、品質・価格・市場動向等について現状報告をする	0	2	0	1	1	4	13	3.3
	納入可能な食材の種類や数量、期間等を検討する	0	1	1	0	2	4	15	3.8
	少数の作物の供給量を増やす	0	1	0	3	0	4	14	3.5
	体制を整える	改善策	全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)
	地場産物を一括で優先的に安価に納品できる環境を整える	1	0	0	2	1	4	14	3.5
配送手段を整える	改善策	全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	流通業者に地場産物の取り扱いを増やしてもらう	0	0	0	4	0	4	16	4.0
	配送を専門に行う人員を自治で確保する	1	1	2	0	0	4	9	2.3
食材の調達を工夫する	改善策	全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	地場産野菜生産出荷組合と給食センター間で、献立に合わせて栽培や出荷量を調整する	0	0	0	3	1	4	17	4.3
	使用頻度の高い物（にんじん、玉ねぎ、じゃがいも等）を年中供給できる体制を整える	0	0	1	2	1	4	16	4.0
	特別栽培の推奨を行う	2	0	2	0	0	4	8	2.0
	計画的に栽培し計画的に購入する仕組みをつくる	0	0	0	3	1	4	17	4.3
	品質及び規格が均一で作業しやすい食材を提供してもらう	2	0	1	0	1	4	10	2.5
意識	改善策	全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	地域全体で地場産物を優先的に使用する意識を向上させる	1	0	2	1	0	4	11	2.8
	市でなるべく、市産→県産→国産の順で食材を使用しよう意識する	1	0	1	2	0	4	12	3.0
加工	改善策	全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	安価で大量調理にふさわしい加工品を開発する	1	1	0	2	0	4	11	2.8

	改善策	改善可能性					合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
		全く改善 できない (*1)	あまり改 善できな い (*2)	どちらと もいえな い (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)			
連携	県と市の取り組み方に積極的な連動性を持たせる	1	1	1	1	0	4	10	2.5
	出荷組織と連携をする（発注量の確保・変更等に柔軟に対応するため）	1	1	1	0	1	4	11	2.8
	学校・農家・教育委員会と連携をとる	0	1	2	1	0	4	12	3.0
	学校側が前年度に使用した月ごとの野菜の品目と数量を把握し、生産者や農協に提示する	1	0	1	2	0	4	12	3.0
	生産者（JA）と給食センターが連携して野菜の使用計画を立てる	1	0	1	2	0	4	12	3.0
	JAとの連携	1	0	2	1	0	4	11	2.8
	生産者と食材提供価格の調整	1	0	2	1	0	4	11	2.8
	栄養士と生産者が積極的にコミュニケーションをとる	1	0	1	2	0	4	12	3.0
	地元の商店とのつながりを強く持つ	2	2	0	0	0	4	6	1.5
	農家・仲介業者・自治体のそれぞれに利益があるように需要と供給をすり合わせる	1	1	2	0	0	4	9	2.3
	農政管轄部署や府県との連携（農業従事者と農地の確保）	1	2	1	0	0	4	8	2.0
	協力	改善策	全く改善 できない (*1)	あまり改 善できな い (*2)	どちらと もいえな い (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)
地元の農産物生産販売組合や地元販売店から生産情報を早めに知らせてもらう		1	0	0	3	0	4	13	3.3
栄養士だけでなく市の産業経済課、JAなどからの情報提供や協力		0	0	2	2	0	4	14	3.5
農家と契約	改善策	全く改善 できない (*1)	あまり改 善できな い (*2)	どちらと もいえな い (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	地元農家と直接契約し、年度当初に使う数量を事前に確保する	0	0	3	1	0	4	13	3.3
市から 対応 生産者への	改善策	全く改善 できない (*1)	あまり改 善できな い (*2)	どちらと もいえな い (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	生産者への支援や後継者の育成等々の農業振興策を行う	1	1	2	0	0	4	9	2.3
	農家が安心して栽培できる環境を整える	1	1	2	0	0	4	9	2.3
	生産者人口や生産地面積が増えるような働きかけを市農政担当者とする	1	1	2	0	0	4	9	2.3
外部	改善策	全く改善 できない (*1)	あまり改 善できな い (*2)	どちらと もいえな い (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	早朝の配送や、数量の確保等、大きな組織を通して、安定的な供給を行う	2	0	2	0	0	4	8	2.0
	府県産大豆を使用した製品を安く入手する	2	0	2	0	0	4	8	2.0
	ハムやさつま揚げのような原料も外国産が多い食材に代わる製品を見つける	2	0	2	0	0	4	8	2.0
	果物を安価で皮をむく、カットする、個包装にしてくれる業者を見つける	2	0	2	0	0	4	8	2.0
	発注された食材を取りまとめ、生産者と連絡及び調整しながら、食材が確実に納品されるように調理場と生産者との間に入るコーディネーターを見つける	1	0	3	0	0	4	10	2.5
情報 発信	改善策	全く改善 できない (*1)	あまり改 善できな い (*2)	どちらと もいえな い (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	学校給食に地場産物を使用した際、子供達の様子や感想等を業者・生産者へ発信する	2	0	2	0	0	4	8	2.0
	生産者側から地場産物についての情報を発信する	2	0	2	0	0	4	8	2.0
コスト	改善策	全く改善 できない (*1)	あまり改 善できな い (*2)	どちらと もいえな い (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	割高感のない価格設定にする	1	0	3	0	0	4	10	2.5
	保護者の理解を得、給食費を上げる	2	1	1	0	0	4	7	1.8
産業振興面からの購入費補助を行う	2	0	2	0	0	4	8	2.0	

	改善策	改善可能性					合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
		全く改善 できない (*1)	あまり改 善できな い (*2)	どちらと もいえな い (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)			
理解	生産者と学校栄養士が交流を深め、学校給食への地域や農家の理解を促す	2	0	2	0	0	4	8	2.0
	生産者と子供たちが給食と一緒に食べる機会を設け、「とれたての食材を子供たちに届けたい」という思いを深める	1	1	2	0	0	4	9	2.3
その他	改善策	全く改善 できない (*1)	あまり改 善できな い (*2)	どちらと もいえな い (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	月1回の地場産物Dayを設ける	3	0	1	0	0	4	6	1.5
	調理場の設備、機器、器具等の採用と活用をする	3	1	0	0	0	4	5	1.3

安定的な供給量の確保における改善策の改善可能性（背景：特産品がない）

	改善策	改善可能性					合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
		全く改善 できない (*1)	あまり改 善できな い (*2)	どちらと もいえな い (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)			
話し合いの場を設ける	性 改善策 年間予定表を作成し、計画的な作付けを生産者に願います	0	1	0	1	0	2	6	3.0
	栄養教諭や地元農家等の関係者で使用する食材の意見交換をする	0	1	1	0	0	2	5	2.5
	前年の納入や取り組み等についての反省をする	0	1	0	1	0	2	6	3.0
	地場産物の供給状況、使用状況、生育状況、品質・価格・市場動向等について現状報告をする	0	1	0	1	0	2	6	3.0
	納入可能な食材の種類や数量、期間等を検討する	0	0	1	1	0	2	7	3.5
	少数の作物の供給量を増やす	0	1	0	1	0	2	6	3.0
	性 改善策 地場産物を一括で優先的に安価に納品できる環境を整える	0	0	1	1	0	2	7	3.5
配送手段を整える	性 改善策 流通業者に地場産物の取り扱いを増やしてもらう	0	1	1	0	0	2	5	2.5
	配送を専門に行う人員を自治で確保する	1	1	0	0	0	2	3	1.5
食材の調達を工夫する	性 改善策 地場産野菜生産出荷組合と給食センター間で、献立に合わせて栽培や出荷量を調整する	0	2	0	0	0	2	4	2.0
	使用頻度の高い物（にんじん、玉ねぎ、じゃがいも等）を年中供給できる体制を整える	0	1	0	1	0	2	6	3.0
	特別栽培の推奨を行う	0	1	1	0	0	2	5	2.5
	計画的に栽培し計画的に購入する仕組みをつくる	0	1	0	1	0	2	6	3.0
	品質及び規格が均一で作業しやすい食材を提供してもらう	0	0	1	1	0	2	7	3.5
意識	性 改善策 地域全体で地場産物を優先的に使用する意識を向上させる	0	2	0	0	0	2	4	2.0
	市でなるべく、市産→県産→国産の順で食材を使用しようと意識する	0	2	0	0	0	2	4	2.0
加工	性 改善策 安価で大量調理にふさわしい加工品を開発する	1	1	0	0	0	2	3	1.5

	改善可能 性 改善策	全く改善 できない (*1)	あまり改善で きない (*2)	どちらと もいえな い (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
連携	県と市の取り組み方に積極的な運動性を持たせる	1	1	0	0	0	2	3	1.5
	出荷組織と連携をする（発注量の確保・変更等に柔軟に対応するため）	1	1	0	0	0	2	3	1.5
	学校・農家・教育委員会と連携をとる	0	2	0	0	0	2	4	2.0
	学校側が前年度に使用した月ごとの野菜の品目と数量を把握し、生産者や農協に提示する	0	2	0	0	0	2	4	2.0
	生産者（JA）と給食センターが連携して野菜の使用計画を立てる	0	1	0	0	0	1	2	2.0
	JAとの連携	0	1	0	1	0	2	6	3.0
	生産者と食材提供価格の調整	1	1	0	0	0	2	3	1.5
	栄養士と生産者が積極的にコミュニケーションをとる	1	0	1	0	0	2	4	2.0
	地元の商店とのつながりを強く持つ	1	0	1	0	0	2	4	2.0
	農家・仲介業者・自治体のそれぞれに利益があるように需要と供給をすり合わせる	0	2	0	0	0	2	4	2.0
	農政管轄部署や府県との連携（農業従事者と農地の確保）	0	1	1	0	0	2	5	2.5
	協力	改善可能 性 改善策	全く改善 できない (*1)	あまり改善で きない (*2)	どちらと もいえな い (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)
地元の農産物生産販売組合や地元販売店から生産情報を早めに知らせてもらう		0	2	0	0	0	2	4	2.0
栄養士だけでなく市の産業経済課、JAなどからの情報提供や協力		0	1	1	0	0	2	5	2.5
農家と契約	改善可能 性 改善策	全く改善 できない (*1)	あまり改善で きない (*2)	どちらと もいえな い (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	地元農家と直接契約し、年度当初に使う数量を事前に確保する	0	2	0	0	0	2	4	2.0
市から 対応 生産者への	改善可能 性 改善策	全く改善 できない (*1)	あまり改善で きない (*2)	どちらと もいえな い (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	生産者への支援や後継者の育成等々の農業振興策を行う	0	1	0	1	0	2	6	3.0
	農家が安心して栽培できる環境を整える	0	0	2	0	0	2	6	3.0
	生産者人口や生産地面積が増えるような働きかけを市農政担当者と行う	0	1	1	0	0	2	5	2.5
外部	改善可能 性 改善策	全く改善 できない (*1)	あまり改善で きない (*2)	どちらと もいえな い (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	早朝の配送や、数量の確保等、大きな組織を通して、安定的な供給を行う	0	1	1	0	0	2	5	2.5
	府県産大豆を使用した製品を安く入手する	0	1	1	0	0	2	5	2.5
	ハムやさつま揚げのような原料も外国産が多い食材に代わる製品を見つける	0	1	0	1	0	2	6	3.0
	果物を安価で皮をむく、カットする、個包装にしてくれる業者を見つける	1	0	0	1	0	2	5	2.5
	発注された食材を取りまとめ、生産者と連絡及び調整しながら、食材が確実に納品されるように調理場と生産者との間に入るコーディネーターを見つける	0	1	1	0	0	2	5	2.5
情報発信	改善可能 性 改善策	全く改善 できない (*1)	あまり改善で きない (*2)	どちらと もいえな い (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	学校給食に地場産物を使用した際、子供達の様子や感想等を業者・生産者へ発信する	0	1	0	1	0	2	6	3.0
	生産者側から地場産物についての情報を発信する	0	1	1	0	0	2	5	2.5
	生産者から、農産物の生産状況や生産量等についての確実な細かい情報発信を定期的に行ってもらう	0	1	1	0	0	2	5	2.5
コスト	改善可能 性 改善策	全く改善 できない (*1)	あまり改善で きない (*2)	どちらと もいえな い (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	割高感のない価格設定にする	0	1	1	0	0	2	5	2.5
	保護者の理解を得、給食費を上げる	1	0	1	0	0	2	4	2.0
産業振興面からの購入費補助を行う	1	0	1	0	0	2	4	2.0	

理解	改善策	改善可能性					合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
		全く改善 できない (*1)	あまり改善 できない (*2)	どちらと もいえない (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)			
	生産者と学校栄養士が交流を深め、学校給食への地域や農家の理解を促す	1	0	1	0	0	2	4	2.0
	生産者と子供たちが給食と一緒に食べる機会を設け、「とれたての食材を子供たちに届けたい」という思いを深める	1	0	0	1	0	2	5	2.5
その他	改善策	改善可能性					合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
		全く改善 できない (*1)	あまり改善 できない (*2)	どちらと もいえない (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)			
	月1回の地場産物Dayを設ける	0	0	0	2	0	2	6	3.0
	調理場の設備、機器、器具等の採用と活用をする	1	1	0	0	0	2	3	1.5

安定的な供給量の確保における改善策の改善可能性（背景：気候条件の影響）

話し合いの場を設ける	改善策	改善可能性					合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)					
		全く改善 できない (*1)	あまり改善 できない (*2)	どちらと もいえない (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)								
	年間予定表を作成し、計画的な作付けを生産者にお願する	0	1	0	0	0	1	2	2.0					
	栄養教諭や地元農家等の関係者で使用する食材の意見交換をする	0	1	0	0	0	1	2	2.0					
	前年の納入や取り組み等についての反省をする	0	1	0	0	0	1	2	2.0					
	地場産物の供給状況、使用状況、生育状況、品質・価格・市場動向等について現状報告をする	0	1	0	0	0	1	2	2.0					
	納入可能な食材の種類や数量、期間等を検討する	0	1	0	0	0	1	2	2.0					
	少数の作物の供給量を増やす	0	1	0	0	0	1	2	2.0					
体制を整える	改善策	改善可能性					合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)					
		全く改善 できない (*1)	あまり改善 できない (*2)	どちらと もいえない (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)								
	地場産物を一括で優先的に安価に納品できる環境を整える	0	1	0	0	0	1	2	2.0					
配送手段を整える	改善策	改善可能性					合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)					
		全く改善 できない (*1)	あまり改善 できない (*2)	どちらと もいえない (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)								
	流通業者に地場産物の取り扱いを増やしてもらう	0	1	0	0	0	1	2	2.0					
	配送を専門に行う人員を自治で確保する	0	1	0	0	0	1	2	2.0					
食材の調達を工夫する	改善策	改善可能性					合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)					
		全く改善 できない (*1)	あまり改善 できない (*2)	どちらと もいえない (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)								
			地場産野菜生産出荷組合と給食センター間で、献立に合わせて栽培や出荷量を調整する	0	1	0				0	0	1	2	2.0
			使用頻度の高い物（にんじん、玉ねぎ、じゃがいも等）を年中供給できる体制を整える	0	1	0				0	0	1	2	2.0
			特別栽培の推奨を行う	0	1	0				0	0	1	2	2.0
			計画的に栽培し計画的に購入する仕組みをつくる	0	1	0				0	0	1	2	2.0
	品質及び規格が均一で作業しやすい食材を提供してもらう	0	1	0	0	0	1	2	2.0					
意識	改善策	改善可能性					合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)					
		全く改善 できない (*1)	あまり改善 できない (*2)	どちらと もいえない (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)								
	地域全体で地場産物を優先的に使用する意識を向上させる	0	1	0	0	0	1	2	2.0					
	市でなるべく、市産→県産→国産の順で食材を使用しようと意識する	0	1	0	0	0	1	2	2.0					
加工	改善策	改善可能性					合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)					
		全く改善 できない (*1)	あまり改善 できない (*2)	どちらと もいえない (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)								
	安価で大量調理にふさわしい加工品を開発する	0	1	0	0	0	1	2	2.0					

	改善策	改善可能性	改善可能性			合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)		
			全く改善 できない (*1)	あまり改 善できな い (*2)	どちらと もいえな い (*3)				やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)
連携	県と市の取り組み方に積極的な運動性を持たせる		0	1	0	0	0	1	2	2.0
	出荷組織と連携をする（発注量の確保・変更等に柔軟に対応するため）		0	0	1	0	0	1	3	3.0
	学校・農家・教育委員会と連携をとる		0	1	0	0	0	1	2	2.0
	学校側が前年度に使用した月ごとの野菜の品目と数量を把握し、生産者や農協に提示する		0	1	0	0	0	1	2	2.0
	生産者（JA）と給食センターが連携して野菜の使用計画を立てる		0	1	0	0	0	1	2	2.0
	JAとの連携		0	1	0	0	0	1	2	2.0
	生産者と食材提供価格の調整		0	1	0	0	0	1	2	2.0
	栄養士と生産者が積極的にコミュニケーションをとる		0	1	0	0	0	1	2	2.0
	地元の商店とのつながりを強く持つ		0	1	0	0	0	1	2	2.0
	農家・仲介業者・自治体のそれぞれに利益があるように需要と供給をすり合わせる		0	1	0	0	0	1	2	2.0
農政管轄部署や府県との連携（農業従事者と農地の確保）		0	1	0	0	0	1	2	2.0	
協力	改善策	改善可能性	全く改善 できない (*1)	あまり改 善できな い (*2)	どちらと もいえな い (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	地元の農産物生産販売組合や地元販売店から生産情報を早めに知らせてもらう		0	1	0	0	0	1	2	2.0
	栄養士だけでなく市の産業経済課、JAなどからの情報提供や協力		0	1	0	0	0	1	2	2.0
農家と契約	改善策	改善可能性	全く改善 できない (*1)	あまり改 善できな い (*2)	どちらと もいえな い (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	地元農家と直接契約し、年度当初に使う数量を事前に確保する		0	0	1	0	0	1	3	3.0
市から 対応 生産者 への	改善策	改善可能性	全く改善 できない (*1)	あまり改 善できな い (*2)	どちらと もいえな い (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	生産者への支援や後継者の育成等々の農業振興策を行う		0	1	0	0	0	1	2	2.0
	農家が安心して栽培できる環境を整える		0	1	0	0	0	1	2	2.0
生産者人口や生産地面積が増えるような働きかけを市農政担当者とする		0	1	0	0	0	1	2	2.0	
外部	改善策	改善可能性	全く改善 できない (*1)	あまり改 善できな い (*2)	どちらと もいえな い (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	早朝の配送や、数量の確保等、大きな組織を通して、安定的な供給を行う		0	1	0	0	0	1	2	2.0
	府県産大豆を使用した製品を安く入手する		0	1	0	0	0	1	2	2.0
	ハムやさつま揚げのような原料も外国産が多い食材に代わる製品を見つける		0	1	0	0	0	1	2	2.0
	果物を安価で皮をむく、カットする、個包装にしてくれる業者を見つける		0	1	0	0	0	1	2	2.0
	発注された食材を取りまとめ、生産者と連絡及び調整しながら、食材が確実に納品されるように調理場と生産者との間に入るコーディネーターを見つける		0	1	0	0	0	1	2	2.0
情報 発信	改善策	改善可能性	全く改善 できない (*1)	あまり改 善できな い (*2)	どちらと もいえな い (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	学校給食に地場産物を使用した際、子供達の様子や感想等を業者・生産者へ発信する		0	1	0	0	0	1	2	2.0
	生産者側から地場産物についての情報を発信する		0	1	0	0	0	1	2	2.0
生産者から、農産物の生産状況や生産量等についての確実な細かい情報発信を定期的にしてもらう		0	1	0	0	0	1	2	2.0	
コス ト	改善策	改善可能性	全く改善 できない (*1)	あまり改 善できな い (*2)	どちらと もいえな い (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	割高感のない価格設定にする		0	1	0	0	0	1	2	2.0
	保護者の理解を得、給食費を上げる		0	1	0	0	0	1	2	2.0
産業振興面からの購入費補助を行う		0	1	0	0	0	1	2	2.0	

	改善策	改善可能性					合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
		全く改善 できない (*1)	あまり改 善できな い (*2)	どちらと もいえな い (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)			
理解	生産者と学校栄養士が交流を深め、学校給食への地域や農家の理解を促す	0	1	0	0	0	1	2	2.0
	生産者と子供たちが給食と一緒に食べる機会を設け、「とれたての食材を子供たちに届けたい」という思いを深める	0	1	0	0	0	1	2	2.0
その他	改善策	全く改善 できない (*1)	あまり改 善できな い (*2)	どちらと もいえな い (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	月1回の地場産物Dayを設ける	0	1	0	0	0	1	2	2.0
	調理場の設備、機器、器具等の採用と活用をする	0	1	0	0	0	1	2	2.0

安定的な供給量の確保における改善策の改善可能性（背景：農地減少）

	改善策	改善可能性					合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)	
		全く改善 できない (*1)	あまり改 善できな い (*2)	どちらと もいえな い (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)				
話し合いの場を設ける	年間予定表を作成し、計画的な作付けを生産者をお願いする	0	0	1	0	0	1	3	3.0	
	栄養教諭や地元農家等の関係者で使用する食材の意見交換をする	0	0	0	1	0	1	4	4.0	
	前年の納入や取り組み等についての反省をする	0	0	0	0	1	1	5	5.0	
	地場産物の供給状況、使用状況、生育状況、品質・価格・市場動向等について現状報告をする	0	0	0	1	0	1	4	4.0	
	納入可能な食材の種類や数量、期間等を検討する	0	0	0	0	1	1	5	5.0	
	少数の作物の供給量を増やす	0	0	0	0	1	1	5	5.0	
	体制を整える	改善策	全く改善 できない (*1)	あまり改 善できな い (*2)	どちらと もいえな い (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	地場産物を一括で優先的に安価に納品できる環境を整える	0	1	0	0	0	1	2	2.0	
配送手段を整える	改善策	全く改善 できない (*1)	あまり改 善できな い (*2)	どちらと もいえな い (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)	
		流通業者に地場産物の取り扱いを増やしてもらおう	1	0	0	0	0	1	1	1.0
		配送を専門に行う人員を自治で確保する	0	0	0	1	0	1	4	4.0
食材の調達を工夫する	改善策	全く改善 できない (*1)	あまり改 善できな い (*2)	どちらと もいえな い (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)	
		地場産野菜生産出荷組合と給食センター間で、献立に合わせて栽培や出荷量を調整する	0	0	0	0	1	1	5	5.0
		使用頻度の高い物（にんじん、玉ねぎ、じゃがいも等）を年中供給できる体制を整える	0	0	0	0	1	1	5	5.0
		特別栽培の推奨を行う	0	0	0	1	0	1	4	4.0
		計画的に栽培し計画的に購入する仕組みをつくる	0	0	0	0	1	1	5	5.0
		品質及び規格が均一で作業しやすい食材を提供してもらおう	0	0	0	1	0	1	4	4.0
意識	改善策	全く改善 できない (*1)	あまり改 善できな い (*2)	どちらと もいえな い (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)	
		地域全体で地場産物を優先的に使用する意識を向上させる	0	0	1	0	0	1	3	3.0
		市でなるべく、市産→県産→国産の順で食材を使用しようと意識する	0	0	1	0	0	1	3	3.0
市から対生産者への	改善策	全く改善 できない (*1)	あまり改 善できな い (*2)	どちらと もいえな い (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)	
		生産者への支援や後継者の育成等々の農業振興策を行う	0	0	0	1	0	1	4	4.0
		農家が安心して栽培できる環境を整える	0	0	0	0	1	1	5	5.0
		生産者人口や生産地面積が増えるような働きかけを市農政担当者とする	0	0	0	0	1	1	5	5.0

	改善策	改善可能性					合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
		全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)			
外部	早朝の配送や、数量の確保等、大きな組織を通して、安定的な供給を行う	0	0	1	0	0	1	3	3.0
	発注された食材を取りまとめ、生産者と連絡及び調整しながら、食材が確実に納品されるように調理場と生産者との間に入るコーディネーターを見つける	0	0	0	1	0	1	4	4.0
情報発信	学校給食に地場産物を使用した際、子供達の様子や感想等を業者・生産者へ発信する	0	0	0	0	1	1	5	5.0
	生産者側から地場産物についての情報を発信する	0	0	0	1	0	1	4	4.0
	生産者から、農産物の生産状況や生産量等についての確実な細かい情報発信を定期的に行なってもらう	0	0	0	1	0	1	4	4.0
コスト	割高感のない価格設定にする	0	0	1	0	0	1	3	3.0
	保護者の理解を得、給食費を上げる	1	0	0	0	0	1	1	1.0
	産業振興面からの購入費補助を行う	0	0	1	0	0	1	3	3.0
理解	生産者と学校栄養士が交流を深め、学校給食への地域や農家の理解を促す	0	0	0	0	1	1	5	5.0
	生産者と子供たちが給食を一緒に食べる機会を設け、「とれたての食材を子供たちに届けたい」という思いを深める	0	0	0	0	1	1	5	5.0
その他	月1回の地場産物Dayを設ける	1	0	0	0	0	1	1	1.0
	調理場の設備、機器、器具等の採用と活用をする	1	0	0	0	0	1	1	1.0

安定的な供給量の確保における改善策の改善可能性（背景：農地の活性化が必要）

	改善策	改善可能性					合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
		全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)			
話し合いの場を設ける	年間予定表を作成し、計画的な作付けを生産者へお願いする	0	1	0	0	0	1	2	2.0
	栄養教諭や地元農家等の関係者で使用する食材の意見交換をする	0	1	0	0	0	1	2	2.0
	前年の納入や取り組み等についての反省をする	0	0	0	1	0	1	4	4.0
	地場産物の供給状況、使用状況、生育状況、品質・価格・市場動向等について現状報告をする	0	1	0	0	0	1	2	2.0
	納入可能な食材の種類や数量、期間等を検討する	0	1	0	0	0	1	2	2.0
	少数の作物の供給量を増やす	0	0	1	0	0	1	3	3.0
	体えを整	地場産物を一括で優先的に安価に納品できる環境を整える	0	0	1	0	0	1	3
配送手段を整	流通業者に地場産物の取り扱いを増やしてもらう	0	0	0	1	0	1	4	4.0
	配送を専門に行う人員を自治で確保する	0	1	0	0	0	1	2	2.0

食材の調達を工夫する	改善策	改善可能性					合計(市)	合計(点)	平均(点)					
		全く改善できない(*1)	あまり改善できない(*2)	どちらともいえない(*3)	やや改善できる(*4)	大いに改善できる(*5)								
	地場産野菜生産出荷組合と給食センター間で、献立に合わせて栽培や出荷量を調整する	0	1	0	0	0	1	2	2.0					
	使用頻度の高い物(にんじん,玉ねぎ,じゃがいも等)を年中供給できる体制を整える	0	0	1	0	0	1	3	3.0					
	特別栽培の推奨を行う	0	1	0	0	0	1	2	2.0					
	計画的に栽培し計画的に購入する仕組みをつくる	0	1	0	0	0	1	2	2.0					
	品質及び規格が均一で作業しやすい食材を提供してもらう	1	0	0	0	0	1	1	1.0					
意識	改善策	改善可能性					合計(市)	合計(点)	平均(点)					
		全く改善できない(*1)	あまり改善できない(*2)	どちらともいえない(*3)	やや改善できる(*4)	大いに改善できる(*5)								
	地域全体で地場産物を優先的に使用する意識を向上させる	0	0	0	1	0	1	4	4.0					
	市でなるべく,市産→県産→国産の順で食材を使用しようと意識する	0	0	0	1	0	1	4	4.0					
加工	改善策	改善可能性					合計(市)	合計(点)	平均(点)					
		全く改善できない(*1)	あまり改善できない(*2)	どちらともいえない(*3)	やや改善できる(*4)	大いに改善できる(*5)								
	安価で大量調理にふさわしい加工品を開発する	0	1	0	0	0	1	2	2.0					
連携	改善策	改善可能性					合計(市)	合計(点)	平均(点)					
		全く改善できない(*1)	あまり改善できない(*2)	どちらともいえない(*3)	やや改善できる(*4)	大いに改善できる(*5)								
	県と市の取り組み方に積極的な運動性を持たせる	0	0	1	0	0	1	3	3.0					
	出荷組織と連携をする(発注量の確保・変更等に柔軟に対応するため)	0	0	1	0	0	1	3	3.0					
	学校・農家・教育委員会と連携をとる	0	0	1	0	0	1	3	3.0					
	学校側が前年度に使用した月ごとの野菜の品目と数量を把握し,生産者や農協に提示する	0	0	1	0	0	1	3	3.0					
	生産者(JA)と給食センターが連携して野菜の使用計画を立てる	0	0	1	0	0	1	3	3.0					
	JAとの連携	0	0	1	0	0	1	3	3.0					
	生産者と食材提供価格の調整	0	0	1	0	0	1	3	3.0					
	栄養士と生産者が積極的にコミュニケーションをとる	0	0	1	0	0	1	3	3.0					
	地元の商店とのつながりを強く持つ	0	0	1	0	0	1	3	3.0					
	農家・仲介業者・自治体のそれぞれに利益があるように需要と供給をすり合わせる	0	0	0	1	0	1	4	4.0					
	農政管轄部署や府県との連携(農業従事者と農地の確保)	0	0	0	1	0	1	4	4.0					
協力	改善策	改善可能性					合計(市)	合計(点)	平均(点)					
		全く改善できない(*1)	あまり改善できない(*2)	どちらともいえない(*3)	やや改善できる(*4)	大いに改善できる(*5)								
	地元の農産物生産販売組合や地元販売店から生産情報を早めに知らせてもらう	0	1	0	0	0	1	2	2.0					
	栄養士だけでなく市の産業経済課,JAなどからの情報提供や協力	0	1	0	0	0	1	2	2.0					
農家と契約	改善策	改善可能性					合計(市)	合計(点)	平均(点)					
		全く改善できない(*1)	あまり改善できない(*2)	どちらともいえない(*3)	やや改善できる(*4)	大いに改善できる(*5)								
	地元農家と直接契約し,年度当初に使う数量を事前に確保する	0	0	1	0	0	1	3	3.0					
市から生産者への対応	改善策	改善可能性					合計(市)	合計(点)	平均(点)					
		全く改善できない(*1)	あまり改善できない(*2)	どちらともいえない(*3)	やや改善できる(*4)	大いに改善できる(*5)								
			生産者への支援や後継者の育成等々の農業振興策を行う	0	0	0				1	0	1	4	4.0
			農家が安心して栽培できる環境を整える	0	0	0				1	0	1	4	4.0
	生産者人口や生産地面積が増えるような働きかけを市農政担当者とする	0	0	0	1	0	1	4	4.0					

	改善策	改善可能性					合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
		全く改善 できない (*1)	あまり改善 できない (*2)	どちらと もいえない (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)			
外部	早朝の配送や、数量の確保等、大きな組織を通して、安定的な供給を行う	0	1	0	0	0	1	2	2.0
	府県産大豆を使用した製品を安く入手する	1	0	0	0	0	1	1	1.0
	ハムやさつま揚げのような原料も外国産が多い食材に代わる製品を見つける	1	0	0	0	0	1	1	1.0
	果物を安価で皮をむく、カットする、個包装にしてくれる業者を見つける	1	0	0	0	0	1	1	1.0
	発注された食材を取りまとめ、生産者と連絡及び調整しながら、食材が確実に納品されるように調理場と生産者との間に入るコーディネーターを見つける	0	0	1	0	0	1	3	3.0
情報発信	学校給食に地場産物を使用した際、子供達の様子や感想等を業者・生産者へ発信する	0	0	0	1	0	1	4	4.0
	生産者側から地場産物についての情報を発信する	0	1	0	0	0	1	2	2.0
	生産者から、農産物の生産状況や生産量等についての確実な細かい情報発信を定期的に行ってもらう	0	1	0	0	0	1	2	2.0
コスト	割高感のない価格設定にする	1	0	0	0	0	1	1	1.0
	保護者の理解を得、給食費を上げる	0	1	0	0	0	1	2	2.0
	産業振興面からの購入費補助を行う	0	0	1	0	0	1	3	3.0
理解	生産者と学校栄養士が交流を深め、学校給食への地域や農家の理解を促す	0	0	0	1	0	1	4	4.0
	生産者と子供たちが給食を一緒に食べる機会を設け、「とれたての食材を子供たちに届けたい」という思いを深める	0	0	0	1	0	1	4	4.0
その他	月1回の地場産物Dayを設ける	0	0	1	0	0	1	3	3.0
	調理場の設備、機器、器具等の採用と活用をする	0	0	1	0	0	1	3	3.0

安定的な供給量の確保における改善策の改善可能性（背景：生産者の情報不足）

	改善策	改善可能性					合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
		全く改善 できない (*1)	あまり改善 できない (*2)	どちらと もいえない (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)			
話し合いの場を設ける	年間予定表を作成し、計画的な作付けを生産者をお願いする	0	0	0	0	1	1	5	5.0
	栄養教諭や地元農家等の関係者で使用する食材の意見交換をする	0	0	0	0	1	1	5	5.0
	前年の納入や取り組み等についての反省をする	0	0	0	1	0	1	4	4.0
	地場産物の供給状況、使用状況、生育状況、品質・価格・市場動向等について現状報告をする	0	0	0	1	0	1	4	4.0
	納入可能な食材の種類や数量、期間等を検討する	0	0	0	1	0	1	4	4.0
	少数の作物の供給量を増やす	0	0	1	0	0	1	3	3.0
体制を整える	地場産物を一括で優先的に安価に納品できる環境を整える	0	0	0	1	0	1	4	4.0
配送手段を整える	流通業者に地場産物の取り扱いを増やしてもらう	0	0	0	1	0	1	4	4.0
	配送を専門に行う人員を自治で確保する	0	1	0	0	0	1	2	2.0

食材の調達を工夫する	改善可能性	全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)	
	改善策	地場産野菜生産出荷組合と給食センター間で、献立に合わせて栽培や出荷量を調整する	0	0	1	0	0	1	3	3.0
	使用頻度の高い物（にんじん、玉ねぎ、じゃがいも等）を年中供給できる体制を整える	0	0	0	1	0	1	4	4.0	
	特別栽培の推奨を行う	0	0	1	0	0	1	3	3.0	
	計画的に栽培し計画的に購入する仕組みをつくる	0	0	0	1	0	1	4	4.0	
	品質及び規格が均一で作業しやすい食材を提供してもらう	0	0	0	0	1	1	5	5.0	
意識	改善可能性	全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)	
	改善策	地域全体で地場産物を優先的に使用する意識を向上させる	0	0	0	0	1	1	5	5.0
	市でなるべく、市産→県産→国産の順で食材を使用しようとする意識を醸成する	0	0	0	1	0	1	4	4.0	
加工	改善可能性	全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)	
	改善策	安価で大量調理にふさわしい加工品を開発する	0	1	0	0	0	1	2	2.0
連携	改善可能性	全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)	
	改善策	県と市の取り組み方に積極的な運動性を持たせる	0	0	0	1	0	1	4	4.0
		出荷組織と連携をする（発注量の確保・変更等に柔軟に対応するため）	0	0	0	1	0	1	4	4.0
		学校・農家・教育委員会と連携をとる	0	0	0	1	0	1	4	4.0
		学校側が前年度に使用した月ごとの野菜の品目と数量を把握し、生産者や農協に提示する	1	0	0	0	0	1	1	1.0
		生産者（JA）と給食センターが連携して野菜の使用計画を立てる	0	0	0	1	0	1	4	4.0
		JAとの連携	0	0	1	0	0	1	3	3.0
		生産者と食材提供価格の調整	0	0	1	0	0	1	3	3.0
		栄養士と生産者が積極的にコミュニケーションをとる	0	0	0	1	0	1	4	4.0
		地元の商店とのつながりを強く持つ	0	0	1	0	0	1	3	3.0
		農家・仲介業者・自治体のそれぞれに利益があるように需要と供給をすり合わせる	0	1	0	0	0	1	2	2.0
	農政管轄部署や府県との連携（農業従事者と農地の確保）	0	0	1	0	0	1	3	3.0	
協力	改善可能性	全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)	
	改善策	地元の農産物生産販売組合や地元販売店から生産情報を早めに知らせてもらう	0	0	0	1	0	1	4	4.0
	栄養士だけでなく市の産業経済課、JAなどからの情報提供や協力	0	0	0	1	0	1	4	4.0	
農家と契約	改善可能性	全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)	
	改善策	地元農家と直接契約し、年度当初に使う数量を事前に確保する	0	0	1	0	0	1	3	3.0
市からの対応（生産者へ）	改善可能性	全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)	
	改善策	生産者への支援や後継者の育成等々の農業振興策を行う	0	0	0	1	0	1	4	4.0
		農家が安心して栽培できる環境を整える	0	0	0	1	0	1	4	4.0
	生産者人口や生産地面積が増えるような働きかけを市農政担当者で行う	0	0	1	0	0	1	3	3.0	
外部	改善可能性	全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)	
	改善策	早朝の配送や、数量の確保等、大きな組織を通して、安定的な供給を行う	0	0	1	0	0	1	3	3.0
		府県産大豆を使用した製品を安く入手する	0	0	1	0	0	1	3	3.0
		ハムやさつま揚げのような原料も外国産が多い食材に代わる製品を見つける	0	0	1	0	0	1	3	3.0
		果物を安価で皮をむく、カットする、個包装にしてくれる業者を見つける	0	0	0	1	0	1	4	4.0
	発注された食材を取りまとめ、生産者と連絡及び調整しながら、食材が確実に納品されるように調理場と生産者との間に入るコーディネーターを見つける	0	0	0	1	0	1	4	4.0	

情報発信	改善可能性		全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	改善策									
	学校給食に地場産物を使用した際、子供達の様子や感想等を業者・生産者へ発信する		0	0	1	0	0	1	3	3.0
	生産者側から地場産物についての情報を発信する		0	0	1	0	0	1	3	3.0
	生産者から、農産物の生産状況や生産量等についての確実な細かい情報発信を定期的に行ってもらう		0	0	1	0	0	1	3	3.0
コスト	改善可能性		全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	改善策									
	割高感のない価格設定にする		0	0	1	0	0	1	3	3.0
	保護者の理解を得、給食費を上げる		0	1	0	0	0	1	2	2.0
	産業振興面からの購入費補助を行う		0	0	1	0	0	1	3	3.0
理解	改善可能性		全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	改善策									
	生産者と学校栄養士が交流を深め、学校給食への地域や農家の理解を促す		0	0	0	1	0	1	4	4.0
	生産者と子供たちが給食を一緒に食べる機会を設け、「とれたての食材を子供たちに届けたい」という思いを深める		0	0	0	1	0	1	4	4.0
その他	改善可能性		全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	改善策									
	月1回の地場産物Dayを設ける		0	0	1	0	0	1	3	3.0
	調理場の設備、機器、器具等の採用と活用をする		1	0	0	0	0	1	1	1.0

安定的な供給量の確保における改善策の改善可能性 (背景：手間がかかる)

話し合いの場を設ける	改善可能性		全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	改善策									
	年間予定表を作成し、計画的な作付けを生産者をお願いする		0	0	0	1	0	1	4	4.0
	栄養教諭や地元農家等の関係者で使用する食材の意見交換をする		0	0	0	0	1	1	5	5.0
	前年の納入や取り組み等についての反省をする		0	0	0	1	0	1	4	4.0
	地場産物の供給状況、使用状況、生育状況、品質・価格・市場動向等について現状報告をする		0	0	0	1	0	1	4	4.0
	納入可能な食材の種類や数量、期間等を検討する		0	0	0	1	0	1	4	4.0
	少数の作物の供給量を増やす		0	0	1	0	0	1	3	3.0
体制を整える	改善可能性		全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	改善策									
	地場産物を一括で優先的に安価に納品できる環境を整える		0	0	0	1	0	1	4	4.0
配送手段を整える	改善可能性		全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	改善策									
	流通業者に地場産物の取り扱いを増やしてもらう		0	0	1	0	0	1	3	3.0
	配送を専門に行う人員を自治で確保する		0	0	1	0	0	1	3	3.0
食材の調達を工夫する	改善可能性		全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	改善策									
	地場産野菜生産出荷組合と給食センター間で、献立に合わせて栽培や出荷量を調整する		0	0	1	0	0	1	3	3.0
	使用頻度の高い物 (にんじん、玉ねぎ、じゃがいも等) を年中供給できる体制を整える		0	0	1	0	0	1	3	3.0
	特別栽培の推奨を行う		0	0	1	0	0	1	3	3.0
	計画的に栽培し計画的に購入する仕組みをつくる		0	0	1	0	0	1	3	3.0
	品質及び規格が均一で作業しやすい食材を提供してもらう		0	1	0	0	0	1	2	2.0

意識	改善策	改善可能性					合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)			
		全く改善 できない (*1)	あまり改 善できな い (*2)	どちらと もいえな い (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)						
意識	地域全体で地場産物を優先的に使用する意識を向上させる	0	0	0	1	0	1	4	4.0			
	市でなるべく、市産→県産→国産の順で食材を使用しようと意識する	0	0	1	0	0	1	3	3.0			
加工	改善策	改善可能性					合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)			
		全く改善 できない (*1)	あまり改 善できな い (*2)	どちらと もいえな い (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)						
加工	安価で大量調理にふさわしい加工品を開発する	0	1	0	0	0	1	2	2.0			
	改善策	改善可能性					合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)			
	全く改善 できない (*1)	あまり改 善できな い (*2)	どちらと もいえな い (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)							
連携	県と市の取り組み方に積極的な連動性を持たせる	0	0	1	0	0	1	3	3.0			
	出荷組織と連携をする（発注量の確保・変更等に柔軟に対応するため）	0	0	0	1	0	1	4	4.0			
	学校・農家・教育委員会と連携をとる	0	1	0	0	0	1	2	2.0			
	学校側が前年度に使用した月ごとの野菜の品目と数量を把握し、生産者や農協に提示する	1	0	0	0	0	1	1	1.0			
	生産者（JA）と給食センターが連携して野菜の使用計画を立てる	0	1	0	0	0	1	2	2.0			
	JAとの連携	0	0	1	0	0	1	3	3.0			
	生産者と食材提供価格の調整	0	1	0	0	0	1	2	2.0			
	栄養士と生産者が積極的にコミュニケーションをとる	0	0	1	0	0	1	3	3.0			
	地元の商店とのつながりを強く持つ	0	1	0	0	0	1	2	2.0			
	農家・仲介業者・自治体のそれぞれに利益があるように需要と供給をすり合わせる	0	1	0	0	0	1	2	2.0			
	農政管轄部署や府県との連携（農業従事者と農地の確保）	0	1	0	0	0	1	2	2.0			
	協力	改善策	改善可能性					合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)		
		全く改善 できない (*1)	あまり改 善できな い (*2)	どちらと もいえな い (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)						
地元の農産物生産販売組合や地元販売店から生産情報を早めに知らせてもらう		0	0	1	0	0	1				3	3.0
協力	改善策	改善可能性					合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)			
		全く改善 できない (*1)	あまり改 善できな い (*2)	どちらと もいえな い (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)						
	栄養士だけでなく市の産業経済課、JAなどからの情報提供や協力	0	0	0	1	0				1	4	4.0
農家と契約	改善策	改善可能性					合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)			
		全く改善 できない (*1)	あまり改 善できな い (*2)	どちらと もいえな い (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)						
農家と契約	地元農家と直接契約し、年度当初に使う数量を事前に確保する	0	0	1	0	0	1	3	3.0			
	改善策	改善可能性					合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)			
	全く改善 できない (*1)	あまり改 善できな い (*2)	どちらと もいえな い (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)							
市から 対応	生産者への支援や後継者の育成等々の農業振興策を行う	0	0	1	0	0	1	3	3.0			
	農家が安心して栽培できる環境を整える	0	0	1	0	0	1	3	3.0			
	生産者人口や生産地面積が増えるような働きかけを市農政担当者とする	0	0	1	0	0	1	3	3.0			
外部	改善策	改善可能性					合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)			
		全く改善 できない (*1)	あまり改 善できな い (*2)	どちらと もいえな い (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)						
	早朝の配送や、数量の確保等、大きな組織を通して、安定的な供給を行う	0	0	1	0	0				1	3	3.0
	府県産大豆を使用した製品を安く入手する	0	0	1	0	0				1	3	3.0
	ハムやさつま揚げのような原料も外国産が多い食材に代わる製品を見つける	0	0	1	0	0				1	3	3.0
	果物を安価で皮をむく、カットする、個包装にしてくれる業者を見つける	0	0	0	1	0				1	4	4.0
発注された食材を取りまとめ、生産者と連絡及び調整しながら、食材が確実に納品されるように調理場と生産者との間に入るコーディネーターを見つける	0	0	0	1	0	1	4	4.0				

	改善策	改善可能性	全く改善できない	あまり改善できない	どちらともいえない	やや改善できる	大いに改善できる	合計	合計	平均
			(*1)	(*2)	(*3)	(*4)	(*5)	(市)	(点)	(点)
情報発信	学校給食に地場産物を使用した際、子供達の様子や感想等を業者・生産者へ発信する		0	0	1	0	0	1	3	3.0
	生産者側から地場産物についての情報を発信する		0	1	0	0	0	1	2	2.0
	生産者から、農産物の生産状況や生産量等についての確実な細かい情報発信を定期的に行ってもらう		0	1	0	0	0	1	2	2.0
コスト	改善策	改善可能性	全く改善できない	あまり改善できない	どちらともいえない	やや改善できる	大いに改善できる	合計	合計	平均
			(*1)	(*2)	(*3)	(*4)	(*5)	(市)	(点)	(点)
	割高感のない価格設定にする		0	0	1	0	0	1	3	3.0
	保護者の理解を得、給食費を上げる		0	1	0	0	0	1	2	2.0
	産業振興面からの購入費補助を行う		0	0	1	0	0	1	3	3.0
理解	改善策	改善可能性	全く改善できない	あまり改善できない	どちらともいえない	やや改善できる	大いに改善できる	合計	合計	平均
			(*1)	(*2)	(*3)	(*4)	(*5)	(市)	(点)	(点)
	生産者と学校栄養士が交流を深め、学校給食への地域や農家の理解を促す		0	0	1	0	0	1	3	3.0
	生産者と子供たちが給食と一緒に食べる機会を設け、「とれたての食材を子供たちに届けたい」という思いを深める		0	1	0	0	0	1	2	2.0
その他	改善策	改善可能性	全く改善できない	あまり改善できない	どちらともいえない	やや改善できる	大いに改善できる	合計	合計	平均
			(*1)	(*2)	(*3)	(*4)	(*5)	(市)	(点)	(点)
	月1回の地場産物Dayを設ける		0	1	0	0	0	1	2	2.0
	調理場の設備、機器、器具等の採用と活用をする		1	0	0	0	0	1	1	1.0

安定的な供給量の確保における改善策の改善可能性

(背景：気候等に供給量が左右される)

	改善策	改善可能性	全く改善できない	あまり改善できない	どちらともいえない	やや改善できる	大いに改善できる	合計	合計	平均
			(*1)	(*2)	(*3)	(*4)	(*5)	(市)	(点)	(点)
話し合いの場を設ける	年間予定表を作成し、計画的な作付けを生産者へお願いする		0	1	0	0	0	1	2	2.0
	栄養教諭や地元農家等の関係者で使用する食材の意見交換をする		0	1	0	0	0	1	2	2.0
	前年の納入や取り組み等についての反省をする		0	1	0	0	0	1	2	2.0
	地場産物の供給状況、使用状況、生育状況、品質・価格・市場動向等について現状報告をする		0	1	0	0	0	1	2	2.0
	納入可能な食材の種類や数量、期間等を検討する		0	1	0	0	0	1	2	2.0
	少数の作物の供給量を増やす		0	1	0	0	0	1	2	2.0
	体制を整える	改善策	改善可能性	全く改善できない	あまり改善できない	どちらともいえない	やや改善できる	大いに改善できる	合計	合計
			(*1)	(*2)	(*3)	(*4)	(*5)	(市)	(点)	(点)
	地場産物を一括で優先的に安価に納品できる環境を整える		0	0	0	0	1	1	5	5.0
配送手段を整える	改善策	改善可能性	全く改善できない	あまり改善できない	どちらともいえない	やや改善できる	大いに改善できる	合計	合計	平均
			(*1)	(*2)	(*3)	(*4)	(*5)	(市)	(点)	(点)
	流通業者に地場産物の取り扱いを増やしてもらう		0	0	1	0	0	1	3	3.0
	配送を専門に行う人員を自治で確保する		0	0	1	0	0	1	3	3.0
食材の調達を工夫する	改善策	改善可能性	全く改善できない	あまり改善できない	どちらともいえない	やや改善できる	大いに改善できる	合計	合計	平均
			(*1)	(*2)	(*3)	(*4)	(*5)	(市)	(点)	(点)
	地場産野菜生産出荷組合と給食センター間で、献立に合わせて栽培や出荷量を調整する		0	0	1	0	0	1	3	3.0
	使用頻度の高い物（にんじん、玉ねぎ、じゃがいも等）を年中供給できる体制を整える		0	0	0	0	1	1	5	5.0
	特別栽培の推奨を行う		1	0	0	0	0	1	1	1.0
	計画的に栽培し計画的に購入する仕組みをつくる		0	0	1	0	0	1	3	3.0
	品質及び規格が均一で作業しやすい食材を提供してもらう		1	0	0	0	0	1	1	1.0

意識	改善策	改善可能性					合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)				
		全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)							
意識	地域全体で地場産物を優先的に使用する意識を向上させる	1	0	0	0	0	1	1	1.0				
	市でなるべく、市産→県産→国産の順で食材を使用しよう意識する	1	0	0	0	0	1	1	1.0				
加工	改善策	改善可能性					合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)				
		全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)							
加工	安価で大量調理にふさわしい加工品を開発する	0	0	0	1	0	1	4	4.0				
連携	改善策	改善可能性					合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)				
		全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)							
		県と市の取り組み方に積極的な運動性を持たせる	0	0	0	1				0	1	4	4.0
		出荷組織と連携をする(発注量の確保・変更等に柔軟に対応するため)	0	0	0	1				0	1	4	4.0
		学校・農家・教育委員会と連携をとる	0	1	0	0				0	1	2	2.0
		学校側が前年度に使用した月ごとの野菜の品目と数量を把握し、生産者や農協に提示する	1	0	0	0				0	1	1	1.0
		生産者(JA)と給食センターが連携して野菜の使用計画を立てる	0	1	0	0				0	1	2	2.0
		JAとの連携	0	0	0	1				0	1	4	4.0
		生産者と食材提供価格の調整	1	0	0	0				0	1	1	1.0
		栄養士と生産者が積極的にコミュニケーションをとる	1	0	0	0				0	1	1	1.0
		地元の商店とのつながりを強く持つ	1	0	0	0				0	1	1	1.0
		農家・仲介業者・自治体のそれぞれに利益があるように需要と供給をすり合わせる	0	1	0	0				0	1	2	2.0
		農政管轄部署や府県との連携(農業従事者と農地の確保)	0	0	0	1				0	1	4	4.0
協力	改善策	改善可能性					合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)				
		全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)							
		地元の農産物生産販売組合や地元販売店から生産情報を早めに知らせてもらう	0	0	0	1				0	1	4	4.0
栄養士だけでなく市の産業経済課, JAなどからの情報提供や協力	0	0	0	1	0	1	4	4.0					
農家と契約	改善策	改善可能性					合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)				
		全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)							
農家と契約	地元農家と直接契約し、年度当初に使う数量を事前に確保する	0	0	1	0	0	1	3	3.0				
市から 対応 生産者への	改善策	改善可能性					合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)				
		全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)							
		生産者への支援や後継者の育成等々の農業振興策を行う	0	0	0	1				0	1	4	4.0
		農家が安心して栽培できる環境を整える	0	0	1	0				0	1	3	3.0
生産者人口や生産地面積が増えるような働きかけを市農政担当者とする	0	0	0	1	0	1	4	4.0					
外部	改善策	改善可能性					合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)				
		全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)							
		早朝の配送や、数量の確保等、大きな組織を通して、安定的な供給を行う	0	0	0	0				1	1	5	5.0
		府県産大豆を使用した製品を安く入手する	1	0	0	0				0	1	1	1.0
		ハムやさつま揚げのような原料も外国産が多い食材に代わる製品を見つける	0	1	0	0				0	1	2	2.0
		果物を安価で皮をむく、カットする、個包装にしてくれる業者を見つける	0	1	0	0				0	1	2	2.0
発注された食材を取りまとめ、生産者と連絡及び調整しながら、食材が確実に納品されるように調理場と生産者との間に入るコーディネーターを見つける	0	0	1	0	0	1	3	3.0					
情報発信	改善策	改善可能性					合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)				
		全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)							
		学校給食に地場産物を使用した際、子供達の様子や感想等を業者・生産者へ発信する	0	0	1	0				0	1	3	3.0
		生産者側から地場産物についての情報を発信する	0	0	0	1				0	1	4	4.0
生産者から、農産物の生産状況や生産量等についての確実な細かい情報発信を定期的に行ってもらおう	0	0	0	1	0	1	4	4.0					

コスト	改善策	改善可能性	全く改善できない	あまり改善できない	どちらともいえない	やや改善できる	大いに改善できる	合計(市)	合計(点)	平均(点)
			(*1)	(*2)	(*3)	(*4)	(*5)			
	割高感のない価格設定にする		0	0	1	0	0	1	3	3.0
	保護者の理解を得、給食費を上げる		0	0	1	0	0	1	3	3.0
	産業振興面からの購入費補助を行う		0	0	1	0	0	1	3	3.0
理解	改善策	改善可能性	全く改善できない	あまり改善できない	どちらともいえない	やや改善できる	大いに改善できる	合計(市)	合計(点)	平均(点)
			(*1)	(*2)	(*3)	(*4)	(*5)			
			生産者と学校栄養士が交流を深め、学校給食への地域や農家の理解を促す	0	1	0	0			
生産者と子供たちが給食を一緒に食べる機会を設け、「とれたての食材を子供たちに届けたい」という思いを深める	0	1	0	0	0	1	2	2.0		
その他	改善策	改善可能性	全く改善できない	あまり改善できない	どちらともいえない	やや改善できる	大いに改善できる	合計(市)	合計(点)	平均(点)
			(*1)	(*2)	(*3)	(*4)	(*5)			
			月1回の地場産物Dayを設ける	1	0	0	0			
調理場の設備、機器、器具等の採用と活用をする	1	0	0	0	0	1	1	1.0		

品質における改善策の改善可能性 (背景：統一した品目や形状の地場産食材の数量確保)

話し合いの場を設ける	改善策	改善可能性	全く改善できない	あまり改善できない	どちらともいえない	やや改善できる	大いに改善できる	合計(市)	合計(点)	平均(点)				
			(*1)	(*2)	(*3)	(*4)	(*5)							
	年間予定表を作成し、計画的な作付けを生産者をお願いする		0	2	3	1	0	6	17	2.8				
	栄養教諭や地元農家等の関係者で使用する食材の意見交換をする		0	0	3	1	2	6	23	3.8				
	前年の納入や取り組み等についての反省をする		0	0	3	2	1	6	22	3.7				
	地場産物の供給状況、使用状況、生育状況、品質・価格・市場動向等について現状報告をする		1	1	1	2	1	6	19	3.2				
	納入可能な食材の種類や数量、期間等を検討する		0	0	2	3	1	6	23	3.8				
	少数の作物の供給量を増やす		1	3	1	0	0	5	10	2.0				
体制を整える	改善策	改善可能性	全く改善できない	あまり改善できない	どちらともいえない	やや改善できる	大いに改善できる	合計(市)	合計(点)	平均(点)				
			(*1)	(*2)	(*3)	(*4)	(*5)							
	地場産物を一括で優先的に安価に納品できる環境を整える		0	2	1	2	0	5	15	3.0				
配送手段を整える	改善策	改善可能性	全く改善できない	あまり改善できない	どちらともいえない	やや改善できる	大いに改善できる	合計(市)	合計(点)	平均(点)				
			(*1)	(*2)	(*3)	(*4)	(*5)							
	流通業者に地場産物の取り扱いを増やしてもらう		1	2	1	1	0	5	12	2.4				
	配送を専門に行う人員を自治で確保する		4	1	0	0	0	5	6	1.2				
食材の調達を工夫する	改善策	改善可能性	全く改善できない	あまり改善できない	どちらともいえない	やや改善できる	大いに改善できる	合計(市)	合計(点)	平均(点)				
			(*1)	(*2)	(*3)	(*4)	(*5)							
			地場産野菜生産出荷組合と給食センター間で、献立に合わせて栽培や出荷量を調整する	0	2	1	2				0	5	15	3.0
			使用頻度の高い物(にんじん、玉ねぎ、じゃがいも等)を年中供給できる体制を整える	1	2	2	1				0	6	15	2.5
			特別栽培の推奨を行う	1	3	2	0				0	6	13	2.2
計画的に栽培し計画的に購入する仕組みをつくる	0	2	2	2	0	6	18	3.0						
品質及び規格が均一で作業しやすい食材を提供してもらう	0	2	2	1	1	6	19	3.2						
意識	改善策	改善可能性	全く改善できない	あまり改善できない	どちらともいえない	やや改善できる	大いに改善できる	合計(市)	合計(点)	平均(点)				
			(*1)	(*2)	(*3)	(*4)	(*5)							
	地域全体で地場産物を優先的に使用する意識を向上させる		1	1	2	1	0	5	13	2.6				
	市でなるべく、市産→県産→国産の順で食材を使用しようと意識する		1	0	2	2	0	5	15	3.0				

品質における改善策の改善可能性

(背景：地場産物にこだわりすぎて、質の悪いものを出すのは避けたい)

話し合いの場を設ける	改善策	改善可能性					合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)					
		全く改善 できない (*1)	あまり改善 できない (*2)	どちらとも いえない (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改善 できる (*5)								
	年間予定表を作成し、計画的な作付けを生産者をお願いする	0	1	2	1	1	5	17	3.4					
	栄養教諭や地元農家等の関係者で使用する食材の意見交換をする	0	0	1	2	2	5	21	4.2					
	前年の納入や取り組み等についての反省をする	0	0	1	3	1	5	20	4.0					
	地場産物の供給状況、使用状況、生育状況、品質・価格・市場動向等について現状報告をする	0	1	0	3	1	5	19	3.8					
	納入可能な食材の種類や数量、期間等を検討する	0	0	2	1	2	5	20	4.0					
	少数の作物の供給量を増やす	1	3	1	0	0	5	10	2.0					
体 え 制 を 整 え	改善策	改善可能性					合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)					
		全く改善 できない (*1)	あまり改善 できない (*2)	どちらとも いえない (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改善 できる (*5)								
	地場産物を一括で優先的に安価に納品できる環境を整える	0	1	2	1	0	4	12	3.0					
配 送 手 段 を 整 え	改善策	改善可能性					合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)					
		全く改善 できない (*1)	あまり改善 できない (*2)	どちらとも いえない (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改善 できる (*5)								
	流通業者に地場産物の取り扱いを増やしてもらう	0	1	2	1	0	4	12	3.0					
	配送を専門に行う人員を自治で確保する	2	0	1	1	0	4	9	2.3					
食 材 の 調 達 を 工 夫 す る	改善策	改善可能性					合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)					
		全く改善 できない (*1)	あまり改善 できない (*2)	どちらとも いえない (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改善 できる (*5)								
			地場産野菜生産出荷組合と給食センター間で、献立に合わせて栽培や出荷量を調整する	0	2	1				1	0	4	11	2.8
			使用頻度の高い物（にんじん、玉ねぎ、じゃがいも等）を年中供給できる体制を整える	1	1	2				1	0	5	13	2.6
			特別栽培の推奨を行う	0	2	1				2	0	5	15	3.0
			計画的に栽培し計画的に購入する仕組みをつくる	0	1	1				2	1	5	18	3.6
	品質及び規格が均一で作業しやすい食材を提供してもらう	0	2	2	0	1	5	15	3.0					
意 識	改善策	改善可能性					合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)					
		全く改善 できない (*1)	あまり改善 できない (*2)	どちらとも いえない (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改善 できる (*5)								
	地域全体で地場産物を優先的に使用する意識を向上させる	1	1	1	1	0	4	10	2.5					
	市でなるべく、市産→県産→国産の順で食材を使用しようと意識する	1	0	3	0	0	4	10	2.5					

品質における改善策の改善可能性（背景：虫や砂などの異物が混入している）

話し合いの場を設ける	改善策	改善可能性					合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
		全く改善 できない (*1)	あまり改善 できない (*2)	どちらとも いえない (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改善 できる (*5)			
	年間予定表を作成し、計画的な作付けを生産者をお願いする	1	1	0	2	0	4	11	2.8
	栄養教諭や地元農家等の関係者で使用する食材の意見交換をする	0	0	2	2	0	4	14	3.5
	前年の納入や取り組み等についての反省をする	0	0	1	3	0	4	15	3.8
	地場産物の供給状況、使用状況、生育状況、品質・価格・市場動向等について現状報告をする	1	1	0	2	0	4	11	2.8
	納入可能な食材の種類や数量、期間等を検討する	0	2	1	1	0	4	11	2.8
	少数の作物の供給量を増やす	1	2	0	1	0	4	9	2.3
体 制 を 整 え	改善策	改善可能性					合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
		全く改善 できない (*1)	あまり改善 できない (*2)	どちらとも いえない (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改善 できる (*5)			
	地場産物を一括で優先的に安価に納品できる環境を整える	1	1	2	0	0	4	9	2.3

配 送 手 段 を 整 え る	改善策	改善可能性	全く改善 できない (*1)	あまり改善 できない (*2)	どちらと もいえな い (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)	
			流通業者に地場産物の取り扱いを増やしてもらう	2	1	0	1	0	4	8	2.0
配送を専門に行う人員を自治で確保する	3	0	1	0	0	4	6	1.5			
食 材 の 調 達 を 工 夫 す る	改善策	改善可能性	全く改善 できない (*1)	あまり改善 できない (*2)	どちらと もいえな い (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)	
			地場産野菜生産出荷組合と給食センター間で、献立に合わせて栽培や出荷量を調整する	1	2	1	0	0	4	8	2.0
			使用頻度の高い物（にんじん、玉ねぎ、じゃがいも等）を年中供給できる体制を整える	1	1	2	0	0	4	9	2.3
			特別栽培の推奨を行う	1	1	1	1	0	4	10	2.5
			計画的に栽培し計画的に購入する仕組みをつくる	1	0	1	2	0	4	12	3.0
			品質及び規格が均一で作業しやすい食材を提供してもらう	0	3	1	1	0	5	13	2.6
			意 識	改善策	改善可能性	全く改善 できない (*1)	あまり改善 できない (*2)	どちらと もいえな い (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)	合計 (市)
地域全体で地場産物を優先的に使用する意識を向上させる	1	2				1	0	0	4	8	2.0
市でなるべく、市産→県産→国産の順で食材を使用しようと意識する	1	0				3	0	0	4	10	2.5

流通における改善策の改善可能性

(背景：地場産物を学校まで届ける納入ルート（配送車，人）の確保)

話 し 合 い の 場 を 設 け る	改善策	改善可能性	全く改善 できない (*1)	あまり改善 できない (*2)	どちらと もいえな い (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)	
			年間予定表を作成し、計画的な作付けを生産者にお願する	2	0	0	1	0	3	6	2.0
栄養教諭や地元農家等の関係者で使用する食材の意見交換をする	2	0	0	1	0	3	6	2.0			
前年の納入や取り組み等についての反省をする	1	1	0	1	0	3	7	2.3			
地場産物の供給状況、使用状況、生育状況、品質・価格・市場動向等について現状報告をする	2	0	0	1	0	3	6	2.0			
納入可能な食材の種類や数量、期間等を検討する	1	1	0	1	0	3	7	2.3			
少数の作物の供給量を増やす	1	0	1	1	0	3	8	2.7			
体 制 を 整 え る	改善策	改善可能性	全く改善 できない (*1)	あまり改善 できない (*2)	どちらと もいえな い (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)	
			地場産物を一括で優先的に安価に納品できる環境を整える	2	1	0	0	0	3	4	1.3
配 送 手 段 を 整 え る	改善策	改善可能性	全く改善 できない (*1)	あまり改善 できない (*2)	どちらと もいえな い (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)	
			流通業者に地場産物の取り扱いを増やしてもらう	0	1	1	1	0	3	9	3.0
			配送を専門に行う人員を自治で確保する	0	0	1	1	1	3	12	4.0
食 材 の 調 達 を 工 夫 す る	改善策	改善可能性	全く改善 できない (*1)	あまり改善 できない (*2)	どちらと もいえな い (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)	
			地場産野菜生産出荷組合と給食センター間で、献立に合わせて栽培や出荷量を調整する	0	1	1	1	0	3	9	3.0
			使用頻度の高い物（にんじん、玉ねぎ、じゃがいも等）を年中供給できる体制を整える	1	0	1	1	0	3	8	2.7
			特別栽培の推奨を行う	1	0	2	0	0	3	7	2.3
			計画的に栽培し計画的に購入する仕組みをつくる	1	0	0	2	0	3	9	3.0
			品質及び規格が均一で作業しやすい食材を提供してもらう	1	0	2	0	0	3	7	2.3

意識	改善策	改善可能性	全く改善できない	あまり改善できない	どちらともいえない	やや改善できる	大いに改善できる	合計	合計	平均	
			(*1)	(*2)	(*3)	(*4)	(*5)	(市)	(点)	(点)	
意識			1	0	0	1	1	3	10	3.3	
			地域全体で地場産物を優先的に使用する意識を向上させる								
加工			1	0	0	2	0	3	9	3.0	
			市でなるべく、市産→県産→国産の順で食材を使用しようと意識する								
加工			1	0	0	0	0	1	1	1.0	
			安価で大量調理にふさわしい加工品を開発する								
連携			1	0	0	1	0	2	5	2.5	
			果と市の取り組み方に積極的な連動性を持たせる								
			出荷組織と連携をする（発注量の確保・変更等に柔軟に対応するため）	1	0	0	1	0	2	5	2.5
			学校・農家・教育委員会と連携をとる	0	0	1	0	1	2	8	4.0
			学校側が前年度に使用した月ごとの野菜の品目と数量を把握し、生産者や農協に提示する	1	0	0	1	0	2	5	2.5
			生産者（JA）と給食センターが連携して野菜の使用計画を立てる	1	0	0	1	0	2	5	2.5
			JAとの連携	0	0	1	1	0	2	7	3.5
			生産者と食材提供価格の調整	1	0	0	1	0	2	5	2.5
			栄養士と生産者が積極的にコミュニケーションをとる	1	0	0	1	0	2	5	2.5
			地元の商店とのつながりを強く持つ	0	0	1	1	0	2	7	3.5
			農家・仲介業者・自治体のそれぞれに利益があるように需要と供給をすり合わせる	1	0	0	0	1	2	6	3.0
			農政管轄部署や府県との連携（農業従事者と農地の確保）	1	0	0	1	0	2	5	2.5
協力			1	0	0	1	0	2	5	2.5	
			地元の農産物生産販売組合や地元販売店から生産情報を早めに知らせてもらう								
			栄養士だけでなく市の産業経済課、JAなどからの情報提供や協力	1	0	1	0	0	2	4	2.0
農家と契約			1	0	0	0	1	2	6	3.0	
			地元農家と直接契約し、年度当初に使う数量を事前に確保する								
市から対応生産者への			1	0	0	0	1	2	6	3.0	
			生産者への支援や後継者の育成等々の農業振興策を行う								
			農家が安心して栽培できる環境を整える	1	0	1	0	0	2	4	2.0
			生産者人口や生産地面積が増えるような働きかけを市農政担当者とする	1	0	0	1	0	2	5	2.5
外部			0	0	1	1	0	2	7	3.5	
			早朝の配送や、数量の確保等、大きな組織を通して、安定的な供給を行う								
			府県産大豆を使用した製品を安く入手する	1	0	1	0	0	2	4	2.0
			ハムやさつま揚げのような原料も外国産が多い食材に代わる製品を見つける	1	0	0	0	0	1	1	1.0
			果物を安価で皮をむく、カットする、個包装にしてくれる業者を見つける	1	0	0	0	0	1	1	1.0
			発注された食材を取りまとめ、生産者と連絡及び調整しながら、食材が確実に納品されるように調理場と生産者との間に入るコーディネーターを見つける	1	0	0	1	0	2	5	2.5
情報発信			1	0	1	0	0	2	4	2.0	
			学校給食に地場産物を使用した際、子供達の様子や感想等を業者・生産者へ発信する								
			生産者側から地場産物についての情報を発信する	1	0	1	0	0	2	4	2.0
			生産者から、農産物の生産状況や生産量等についての確実な細かい情報発信を定期的に行ってもら	1	0	0	1	0	2	5	2.5

コスト	改善策	改善可能性	全く改善できない	あまり改善できない	どちらともいえない	やや改善できる	大いに改善できる	合計(市)	合計(点)	平均(点)
			(*1)	(*2)	(*3)	(*4)	(*5)			
	割高感のない価格設定にする		1	0	1	0	0	2	4	2.0
	保護者の理解を得、給食費を上げる		1	1	0	0	0	2	3	1.5
	産業振興面からの購入費補助を行う		1	1	0	0	0	2	3	1.5
理解	改善策	改善可能性	全く改善できない	あまり改善できない	どちらともいえない	やや改善できる	大いに改善できる	合計(市)	合計(点)	平均(点)
			(*1)	(*2)	(*3)	(*4)	(*5)			
			生産者と学校栄養士が交流を深め、学校給食への地域や農家の理解を促す	0	0	2	0			
生産者と子供たちが給食を一緒に食べる機会を設け、「とれたての食材を子供たちに届けたい」という思いを深める	1	0	1	0	0	2	4	2.0		
その他	改善策	改善可能性	全く改善できない	あまり改善できない	どちらともいえない	やや改善できる	大いに改善できる	合計(市)	合計(点)	平均(点)
			(*1)	(*2)	(*3)	(*4)	(*5)			
			月1回の地場産物Dayを設ける	1	0	0	1			
調理場の設備、機器、器具等の採用と活用をする	1	0	1	0	0	2	4	2.0		

流通における改善策の改善可能性 (背景：全市に配送可能な供給体制を整える)

話し合いの場を設ける	改善策	改善可能性	全く改善できない	あまり改善できない	どちらともいえない	やや改善できる	大いに改善できる	合計(市)	合計(点)	平均(点)				
			(*1)	(*2)	(*3)	(*4)	(*5)							
	年間予定表を作成し、計画的な作付けを生産者にお願する		1	1	0	0	0	2	3	1.5				
	栄養教諭や地元農家等の関係者で使用する食材の意見交換をする		1	0	1	0	0	2	4	2.0				
	前年の納入や取り組み等についての反省をする		1	0	1	0	0	2	4	2.0				
	地場産物の供給状況、使用状況、生育状況、品質・価格・市場動向等について現状報告をする		1	1	0	0	0	2	3	1.5				
	納入可能な食材の種類や数量、期間等を検討する		1	0	1	0	0	2	4	2.0				
	少数の作物の供給量を増やす		0	2	0	0	0	2	4	2.0				
体制を整える	改善策	改善可能性	全く改善できない	あまり改善できない	どちらともいえない	やや改善できる	大いに改善できる	合計(市)	合計(点)	平均(点)				
			(*1)	(*2)	(*3)	(*4)	(*5)							
	地場産物を一括で優先的に安価に納品できる環境を整える		0	1	0	1	0	2	6	3.0				
配送手段を整える	改善策	改善可能性	全く改善できない	あまり改善できない	どちらともいえない	やや改善できる	大いに改善できる	合計(市)	合計(点)	平均(点)				
			(*1)	(*2)	(*3)	(*4)	(*5)							
	流通業者に地場産物の取り扱いを増やしてもらう		0	1	1	0	0	2	5	2.5				
	配送を専門に行う人員を自治で確保する		1	0	1	0	0	2	4	2.0				
食材の調達を工夫する	改善策	改善可能性	全く改善できない	あまり改善できない	どちらともいえない	やや改善できる	大いに改善できる	合計(市)	合計(点)	平均(点)				
			(*1)	(*2)	(*3)	(*4)	(*5)							
			地場産野菜生産出荷組合と給食センター間で、献立に合わせて栽培や出荷量を調整する	0	1	1	0				0	2	5	2.5
			使用頻度の高い物(にんじん、玉ねぎ、じゃがいも等)を年中供給できる体制を整える	0	1	1	0				0	2	5	2.5
			特別栽培の推奨を行う	1	1	0	0				0	2	3	1.5
計画的に栽培し計画的に購入する仕組みをつくる	0	1	1	0	0	2	5	2.5						
品質及び規格が均一で作業しやすい食材を提供してもらう	1	1	0	0	0	2	3	1.5						
意識	改善策	改善可能性	全く改善できない	あまり改善できない	どちらともいえない	やや改善できる	大いに改善できる	合計(市)	合計(点)	平均(点)				
			(*1)	(*2)	(*3)	(*4)	(*5)							
	地域全体で地場産物を優先的に使用する意識を向上させる		1	0	1	0	0	2	4	2.0				
	市でなるべく、市産→県産→国産の順で食材を使用しようと意識する		1	0	0	1	0	2	5	2.5				
加工	改善策	改善可能性	全く改善できない	あまり改善できない	どちらともいえない	やや改善できる	大いに改善できる	合計(市)	合計(点)	平均(点)				
			(*1)	(*2)	(*3)	(*4)	(*5)							
	安価で大量調理にふさわしい加工品を開発する		1	0	0	0	0	1	1	1.0				

	改善策	改善可能性	改善可能性					合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
			全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)			
連携	県と市の取り組み方に積極的な運動性を持たせる		1	0	0	0	0	1	1	1.0
	出荷組織と連携をする(発注量の確保・変更等に柔軟に対応するため)		0	0	1	0	0	1	3	3.0
	学校・農家・教育委員会と連携をとる		0	1	0	0	0	1	2	2.0
	学校側が前年度に使用した月ごとの野菜の品目と数量を把握し、生産者や農協に提示する		0	1	0	0	0	1	2	2.0
	生産者(JA)と給食センターが連携して野菜の使用計画を立てる		0	1	0	0	0	1	2	2.0
	JAとの連携		0	0	1	0	0	1	3	3.0
	生産者と食材提供価格の調整		1	0	0	0	0	1	1	1.0
	栄養士と生産者が積極的にコミュニケーションをとる		1	0	0	0	0	1	1	1.0
	地元の商店とのつながりを強く持つ		0	0	1	0	0	1	3	3.0
	農家・仲介業者・自治体のそれぞれに利益があるように需要と供給をすり合わせる 農政管轄部署や府県との連携(農業従事者と農地の確保)		0	0	1	0	0	1	3	3.0
協力	改善策	改善可能性	全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	地元の農産物生産販売組合や地元販売店から生産情報を早めに知らせてもらう		1	0	0	0	0	1	1	1.0
	栄養士だけでなく市の産業経済課、JAなどからの情報提供や協力		1	0	0	0	0	1	1	1.0
農家と契約	改善策	改善可能性	全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	地元農家と直接契約し、年度当初に使う数量を事前に確保する		1	0	0	0	0	1	1	1.0
市から 対応 生産者への	改善策	改善可能性	全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	生産者への支援や後継者の育成等々の農業振興策を行う		0	0	1	0	0	1	3	3.0
	農家が安心して栽培できる環境を整える		0	0	1	0	0	1	3	3.0
	生産者人口や生産地面積が増えるような働きかけを市農政担当者とする		0	0	1	0	0	1	3	3.0
外部	改善策	改善可能性	全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	早朝の配送や、数量の確保等、大きな組織を通して、安定的な供給を行う		0	0	0	1	0	1	4	4.0
	府県産大豆を使用した製品を安く入手する ハムやさつま揚げのような原料も外国産が多い食材に代わる製品を見つける		1	0	0	0	0	1	1	1.0
	果物を安価で皮をむく、カットする、個包装にしてくれる業者を見つける		0	1	0	0	0	1	2	2.0
	発注された食材を取りまとめ、生産者と連絡及び調整しながら、食材が確実に納品されるように調理場と生産者との間に入るコーディネーターを見つける		0	1	0	0	0	1	2	2.0
	情報発信	改善策	改善可能性	全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)
学校給食に地場産物を使用した際、子供達の様子や感想等を業者・生産者へ発信する 生産者側から地場産物についての情報を発信する		1	0	0	0	0	1	1	1.0	
生産者から、農産物の生産状況や生産量等についての確実な細かい情報発信を定期的にしてもらう		1	0	0	0	0	1	1	1.0	
コスト	改善策	改善可能性	全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	割高感のない価格設定にする		1	0	0	0	0	1	1	1.0
	保護者の理解を得、給食費を上げる		1	0	0	0	0	1	1	1.0
産業振興面からの購入費補助を行う		1	0	0	0	0	1	1	1.0	

	改善策	改善可能性					合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
		全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)			
理解	生産者と学校栄養士が交流を深め、学校給食への地域や農家の理解を促す	1	0	0	0	0	1	1	1.0
	生産者と子供たちが給食を一緒に食べる機会を設け、「とれたての食材を子供たちに届けたい」という思いを深める	0	0	1	0	0	1	3	3.0
その他	改善策	全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	月1回の地場産物Dayを設ける	1	0	0	0	0	1	1	1.0
	調理場の設備、機器、器具等の採用と活用をする	1	0	0	0	0	1	1	1.0

流通における改善策の改善可能性（背景：給食センターに配送可能な供給体制を整える）

	改善策	改善可能性					合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
		全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)			
話し合いの場を設ける	年間予定表を作成し、計画的な作付けを生産者をお願いする	1	0	0	0	0	1	1	1.0
	栄養教諭や地元農家等の関係者で使用する食材の意見交換をする	1	0	0	0	0	1	1	1.0
	前年の納入や取り組み等についての反省をする	1	0	0	0	0	1	1	1.0
	地場産物の供給状況、使用状況、生育状況、品質・価格・市場動向等について現状報告をする	1	0	0	0	0	1	1	1.0
	納入可能な食材の種類や数量、期間等を検討する	0	0	1	0	0	1	3	3.0
	少数の作物の供給量を増やす	1	0	0	0	0	1	1	1.0
	改善策	全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
体制を整える	地場産物を一括で優先的に安価に納品できる環境を整える	0	1	0	0	0	1	2	2.0
配送手段を整える	改善策	全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	流通業者に地場産物の取り扱いを増やしてもらう	0	0	1	0	0	1	3	3.0
	配送を専門に行う人員を自治で確保する	0	0	1	0	0	1	3	3.0
食材の調達を工夫する	改善策	全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	地場産野菜生産出荷組合と給食センター間で、献立に合わせて栽培や出荷量を調整する	1	0	0	0	0	1	1	1.0
	使用頻度の高い物（にんじん、玉ねぎ、じゃがいも等）を年中供給できる体制を整える	1	0	0	0	0	1	1	1.0
	特別栽培の推奨を行う	1	0	0	0	0	1	1	1.0
	計画的に栽培し計画的に購入する仕組みをつくる	1	0	0	0	0	1	1	1.0
	品質及び規格が均一で作業しやすい食材を提供してもらう	1	0	0	0	0	1	1	1.0
意識	改善策	全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	地域全体で地場産物を優先的に使用する意識を向上させる	0	1	0	0	0	1	2	2.0
	市でなるべく、市産→県産→国産の順で食材を使用しようと意識する	0	1	0	0	0	1	2	2.0
加工	改善策	全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	安価で大量調理にふさわしい加工品を開発する	1	0	0	0	0	1	1	1.0

	改善策	改善可能性					合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
		全く改善 できない (*1)	あまり改善 できない (*2)	どちらと もいえない (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)			
連携	県と市の取り組み方に積極的な運動性を持たせる	0	1	0	0	0	1	2	2.0
	出荷組織と連携をする(発注量の確保・変更等に柔軟に対応するため)	0	0	1	0	0	1	3	3.0
	学校・農家・教育委員会と連携をとる	0	1	0	0	0	1	2	2.0
	学校側が前年度に使用した月ごとの野菜の品目と数量を把握し、生産者や農協に提示する	1	0	0	0	0	1	1	1.0
	生産者(JA)と給食センターが連携して野菜の使用計画を立てる	0	1	0	0	0	1	2	2.0
	JAとの連携	0	0	1	0	0	1	3	3.0
	生産者と食材提供価格の調整	1	0	0	0	0	1	1	1.0
	栄養士と生産者が積極的にコミュニケーションをとる	1	0	0	0	0	1	1	1.0
	地元の商店とのつながりを強く持つ	0	1	0	0	0	1	2	2.0
	農家・仲介業者・自治体のそれぞれに利益があるように需要と供給をすり合わせる 農政管轄部署や府県との連携(農業従事者と農地の確保)	1	0	0	0	0	1	1	1.0
0	1	0	0	0	1	2	2.0		
協力	改善策	全く改善 できない (*1)	あまり改善 できない (*2)	どちらと もいえない (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	地元の農産物生産販売組合や地元販売店から生産情報を早めに知らせてもらう	1	0	0	0	0	1	1	1.0
	栄養士だけでなく市の産業経済課、JAなどからの情報提供や協力	0	0	1	0	0	1	3	3.0
農家と契約	改善策	全く改善 できない (*1)	あまり改善 できない (*2)	どちらと もいえない (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	地元農家と直接契約し、年度当初に使う数量を事前に確保する	1	0	0	0	0	1	1	1.0
市から 対応 生産者への	改善策	全く改善 できない (*1)	あまり改善 できない (*2)	どちらと もいえない (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	生産者への支援や後継者の育成等々の農業振興策を行う	1	0	0	0	0	1	1	1.0
	農家が安心して栽培できる環境を整える	1	0	0	0	0	1	1	1.0
	生産者人口や生産地面積が増えるような働きかけを市農政担当者で行う	0	1	0	0	0	1	2	2.0
外部	改善策	全く改善 できない (*1)	あまり改善 できない (*2)	どちらと もいえない (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	早朝の配送や、数量の確保等、大きな組織を通して、安定的な供給を行う	0	0	0	1	0	1	4	4.0
	府県産大豆を使用した製品を安く入手する ハムやさつま揚げのような原料も外国産が多い食材に代わる製品を見つける	1	0	0	0	0	1	1	1.0
	1	0	0	0	0	1	1	1.0	
	果物を安価で皮をむく、カットする、個包装にしてくれる業者を見つける	1	0	0	0	0	1	1	1.0
	発注された食材を取りまとめ、生産者と連絡及び調整しながら、食材が確実に納品されるように調理場と生産者との間に入るコーディネーターを見つける	1	0	0	0	0	1	1	1.0
情報 発信	改善策	全く改善 できない (*1)	あまり改善 できない (*2)	どちらと もいえない (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	学校給食に地場産物を使用した際、子供達の様子や感想等を業者・生産者へ発信する 生産者側から地場産物についての情報を発信する	1	0	0	0	0	1	1	1.0
	1	0	0	0	0	1	1	1.0	
	生産者から、農産物の生産状況や生産量等についての確実な細かい情報発信を定期的にしてもらう	0	1	0	0	0	1	2	2.0
コス ト	改善策	全く改善 できない (*1)	あまり改善 できない (*2)	どちらと もいえない (*3)	やや改善 できる (*4)	大いに改 善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	割高感のない価格設定にする	1	0	0	0	0	1	1	1.0
	保護者の理解を得、給食費を上げる	0	1	0	0	0	1	2	2.0
産業振興面からの購入費補助を行う	0	0	1	0	0	1	3	3.0	

価格における改善策の改善可能性（背景：限られた予算の中で実施する必要がある）

	改善策	改善可能性					合計 (市)	合計 (県)	平均 (県)
		全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)			
話し合いの場を設ける	年間予定表を作成し、計画的な作付けを生産者をお願いする	0	2	1	1	0	4	11	2.8
	栄養教諭や地元農家等の関係者で使用する食材の意見交換をする	0	2	1	1	0	4	11	2.8
	前年の納入や取り組み等についての反省をする	0	1	1	2	0	4	13	3.3
	地場産物の供給状況、使用状況、生育状況、品質・価格・市場動向等について現状報告をする	0	1	1	2	0	4	13	3.3
	納入可能な食材の種類や数量、期間等を検討する	0	1	1	2	0	4	13	3.3
	少数の作物の供給量を増やす	1	2	0	1	0	4	9	2.3
体制を整える	改善策	全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)	合計 (市)	合計 (県)	平均 (県)
	地場産物を一括で優先的に安価に納品できる環境を整える	0	1	0	3	0	4	14	3.5
配送手段を整える	改善策	全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)	合計 (市)	合計 (県)	平均 (県)
	流通業者に地場産物の取り扱いを増やしてもらう	1	2	0	1	0	4	9	2.3
	配送を専門に行う人員を自治で確保する	3	0	1	0	0	4	6	1.5
食材の調達を工夫する	改善策	全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)	合計 (市)	合計 (県)	平均 (県)
	地場産野菜生産出荷組合と給食センター間で、献立に合わせて栽培や出荷量を調整する	1	2	0	1	0	4	9	2.3
	使用頻度の高い物（にんじん、玉ねぎ、じゃがいも等）を年中供給できる体制を整える	1	0	3	0	0	4	10	2.5
	特別栽培の推奨を行う	1	2	1	0	0	4	8	2.0
	計画的に栽培し計画的に購入する仕組みをつくる	0	1	0	3	0	4	14	3.5
	品質及び規格が均一で作業しやすい食材を提供してもらう	1	0	3	0	0	4	10	2.5
意識	改善策	全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)	合計 (市)	合計 (県)	平均 (県)
	地域全体で地場産物を優先的に使用する意識を向上させる	1	1	2	0	0	4	9	2.3
	市でなるべく、市産→県産→国産の順で食材を使用しようとする意識を醸成する	1	1	2	0	0	4	9	2.3
加工	改善策	全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)	合計 (市)	合計 (県)	平均 (県)
	安価で大量調理にふさわしい加工品を開発する	1	0	1	1	1	4	13	3.3
連携	改善策	全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)	合計 (市)	合計 (県)	平均 (県)
	県と市の取り組み方に積極的な運動性を持たせる	0	2	2	0	0	4	10	2.5
	出荷組織と連携をする（発注量の確保・変更等に柔軟に対応するため）	0	1	3	0	0	4	11	2.8
	学校・農家・教育委員会と連携をとる	1	0	2	1	0	4	11	2.8
	学校側が前年度に使用した月ごとの野菜の品目と数量を把握し、生産者や農協に提示する	0	2	1	1	0	4	11	2.8
	生産者（JA）と給食センターが連携して野菜の使用計画を立てる	0	1	1	2	0	4	13	3.3
	JAとの連携	0	1	1	2	0	4	13	3.3
	生産者と食材提供価格の調整	0	0	2	2	0	4	14	3.5
	栄養士と生産者が積極的にコミュニケーションをとる	1	1	1	1	0	4	10	2.5
	地元の商店とのつながりを強く持つ	1	2	1	0	0	4	8	2.0
	農家・仲介業者・自治体のそれぞれに利益があるように需要と供給をすり合わせる	0	2	2	0	0	4	10	2.5
農政管轄部署や府県との連携（農業従事者と農地の確保）	1	1	2	0	0	4	9	2.3	
協力	改善策	全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)	合計 (市)	合計 (県)	平均 (県)
	地元の農産物生産販売組合や地元販売店から生産情報を早めに知らせてもらう	0	2	1	1	0	4	11	2.8
	栄養士だけでなく市の産業経済課、JAなどからの情報提供や協力	0	1	2	1	0	4	12	3.0

	改善策	改善可能性					合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
		全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)			
農家と契約	改善策	全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	地元農家と直接契約し、年度当初に使う数量を事前に確保する	0	2	2	0	0	4	10	2.5
市から対応	改善策	全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	生産者への支援や後継者の育成等々の農業振興策を行う	1	2	1	0	0	4	8	2.0
	農家が安心して栽培できる環境を整える	1	3	0	0	0	4	7	1.8
	生産者人口や生産地面積が増えるような働きかけを市農政担当者と行う	1	1	2	0	0	4	9	2.3
外部	改善策	全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	早朝の配達や、数量の確保等、大きな組織を通して、安定的な供給を行う	1	1	2	0	0	4	9	2.3
	府県産大豆を使用した製品を安く入手する	0	0	0	4	0	4	16	4.0
	ハムやさつま揚げのような原料も外国産が多い食材に代わる製品を見つける	1	1	2	0	0	4	9	2.3
	果物を安価で皮をむく、カットする、個包装にしてくれる業者を見つける	0	1	1	2	0	4	13	3.3
	発注された食材を取りまとめ、生産者と連絡及び調整しながら、食材が確実に納品されるように調理場と生産者との間に入るコーディネーターを見つける	1	2	1	0	0	4	8	2.0
情報発信	改善策	全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	学校給食に地場産物を使用した際、子供達の様子や感想等を業者・生産者へ発信する	1	2	0	1	0	4	9	2.3
	生産者側から地場産物についての情報を発信する	0	1	2	1	0	4	12	3.0
	生産者から、農産物の生産状況や生産量等についての確実な細かい情報発信を定期的に行う	0	2	2	0	0	4	10	2.5
コスト	改善策	全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	割高感のない価格設定にする	0	1	0	3	0	4	14	3.5
	保護者の理解を得、給食費を上げる	0	2	0	2	0	4	12	3.0
産業振興面からの購入費補助を行う	0	2	0	2	0	4	12	3.0	
理解	改善策	全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	生産者と学校栄養士が交流を深め、学校給食への地域や農家の理解を促す	1	2	0	1	0	4	9	2.3
生産者と子供たちが給食を一緒に食べる機会を設け、「とれたての食材を子供たちに届けたい」という思いを深める	1	1	1	1	0	4	10	2.5	
その他	改善策	全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	月1回の地場産物Dayを設ける	1	1	1	0	1	4	11	2.8
調理場の設備、機器、器具等の採用と活用をする	1	1	2	0	0	4	9	2.3	

価格における改善策の改善可能性（背景：地場産の方が高い）

	改善策	改善可能性					合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
		全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)			
話し合いの場を設ける	改善策	全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	年間予定表を作成し、計画的な作付けを生産者へお願いする	1	1	0	0	0	2	3	1.5
	栄養教諭や地元農家等の関係者で使用する食材の意見交換をする	1	1	0	0	0	2	3	1.5
	前年の納入や取り組み等についての反省をする	1	1	0	0	0	2	3	1.5
	地場産物の供給状況、使用状況、生育状況、品質・価格・市場動向等について現状報告をする	1	1	0	0	0	2	3	1.5
	納入可能な食材の種類や数量、期間等を検討する	0	1	1	0	0	2	5	2.5
少数の作物の供給量を増やす	0	2	0	0	0	2	4	2.0	
体制を整える	改善策	全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	地場産物を一括で優先的に安価に納品できる環境を整える	0	0	1	0	1	2	8	4.0

配 送 手 段 を 整 え る	改善策	改善可能性	全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
		流通業者に地場産物の取り扱いを増やしてもらう		0	1	1	0	0	2	5
	配送を専門に行う人員を自治で確保する		0	2	0	0	0	2	4	2.0
食 材 の 調 達 を 工 夫 す る	改善策	改善可能性	全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
		地場産野菜生産出荷組合と給食センター間で、献立に合わせて栽培や出荷量を調整する	1	0	1	0	0	2	4	2.0
		使用頻度の高い物（にんじん、玉ねぎ、じゃがいも等）を年中供給できる体制を整える	1	0	1	0	0	2	4	2.0
		特別栽培の推奨を行う	1	1	0	0	0	2	3	1.5
		計画的に栽培し計画的に購入する仕組みをつくる	1	0	1	0	0	2	4	2.0
		品質及び規格が均一で作業しやすい食材を提供してもらう	1	1	0	0	0	2	3	1.5
意 識	改善策	改善可能性	全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
		地域全体で地場産物を優先的に使用する意識を向上させる	0	0	2	0	0	2	6	3.0
		市でなるべく、市産→県産→国産の順で食材を使用しようと意識する	0	1	1	0	0	2	5	2.5
加 工	改善策	改善可能性	全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
		安価で大量調理にふさわしい加工品を開発する	0	0	0	2	0	2	8	4.0
連 携	改善策	改善可能性	全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
		県と市の取り組み方に積極的な連動性を持たせる	0	1	1	0	0	2	5	2.5
		出荷組織と連携をする（発注量の確保・変更等に柔軟に対応するため）	1	0	1	0	0	2	4	2.0
		学校・農家・教育委員会と連携をとる	1	1	0	0	0	2	3	1.5
		学校側が前年度に使用した月ごとの野菜の品目と数量を把握し、生産者や農協に提示する	2	0	0	0	0	2	2	1.0
		生産者（JA）と給食センターが連携して野菜の使用計画を立てる	0	2	0	0	0	2	4	2.0
		JAとの連携	0	0	2	0	0	2	6	3.0
		生産者と食材提供価格の調整	0	0	2	0	0	2	6	3.0
		栄養士と生産者が積極的にコミュニケーションをとる	1	1	0	0	0	2	3	1.5
		地元の商店とのつながりを強く持つ	1	1	0	0	0	2	3	1.5
		農家・仲介業者・自治体のそれぞれに利益があるように需要と供給をすり合わせる	0	0	1	1	0	2	7	3.5
		農政管轄部署や府県との連携（農業従事者と農地の確保）	0	0	2	0	0	2	6	3.0
協 力	改善策	改善可能性	全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
		地元の農産物生産販売組合や地元販売店から生産情報を早めに知らせてもらう	1	1	0	0	0	2	3	1.5
		栄養士だけでなく市の産業経済課、JAなどからの情報提供や協力	1	1	0	0	0	2	3	1.5
農 家 と 契 約	改善策	改善可能性	全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
		地元農家と直接契約し、年度当初に使う数量を事前に確保する	1	0	1	0	0	2	4	2.0
市 か ら 対 生 産 者 へ の	改善策	改善可能性	全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
		生産者への支援や後継者の育成等々の農業振興策を行う	0	1	1	0	0	2	5	2.5
		農家が安心して栽培できる環境を整える	0	1	1	0	0	2	5	2.5
		生産者人口や生産地面積が増えるような働きかけを市農政担当者とする	0	1	1	0	0	2	5	2.5

価格における改善策の改善可能性（背景：他府県産の方が安い）

話し合いの場を設ける	改善策	改善可能性					合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
		全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)			
話し合いの場を設ける	年間予定表を作成し、計画的な作付けを生産者をお願いする	0	1	0	0	0	1	2	2.0
	栄養教諭や地元農家等の関係者で使用する食材の意見交換をする	0	1	0	0	0	1	2	2.0
	前年の納入や取り組み等についての反省をする	0	1	0	0	0	1	2	2.0
	地場産物の供給状況、使用状況、生育状況、品質・価格・市場動向等について現状報告をする	0	1	0	0	0	1	2	2.0
	納入可能な食材の種類や数量、期間等を検討する	0	1	0	0	0	1	2	2.0
	少数の作物の供給量を増やす	0	1	0	0	0	1	2	2.0
	体制を整える	改善策	全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)
配送手段を整える	地場産物を一括で優先的に安価に納品できる環境を整える	0	1	0	0	0	1	2	2.0
	流通業者に地場産物の取り扱いを増やしてもらう	0	1	0	0	0	1	2	2.0
	配送を専門に行う人員を自治で確保する	1	0	0	0	0	1	1	1.0
食材の調達を工夫する	改善策	全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	地場産野菜生産出荷組合と給食センター間で、畝立に合わせて栽培や出荷量を調整する	0	1	0	0	0	1	2	2.0
	使用頻度の高い物（にんじん、玉ねぎ、じゃがいも等）を年中供給できる体制を整える	0	1	0	0	0	1	2	2.0
	特別栽培の推奨を行う	0	1	0	0	0	1	2	2.0
	計画的に栽培し計画的に購入する仕組みをつくる	0	1	0	0	0	1	2	2.0
	品質及び規格が均一で作業しやすい食材を提供してもらう	0	1	0	0	0	1	2	2.0
	意識	改善策	全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)
意識	地域全体で地場産物を優先的に使用する意識を向上させる	0	0	1	0	0	1	3	3.0
	市でなるべく、市産→県産→国産の順で食材を使用しよう意識する	0	0	0	1	0	1	4	4.0

価格における改善策の改善可能性（背景：時期により、市場より価格が高い）

話し合いの場を設ける	改善策	改善可能性					合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
		全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)			
話し合いの場を設ける	年間予定表を作成し、計画的な作付けを生産者をお願いする	0	1	0	0	0	1	2	2.0
	栄養教諭や地元農家等の関係者で使用する食材の意見交換をする	0	1	0	0	0	1	2	2.0
	前年の納入や取り組み等についての反省をする	0	1	0	0	0	1	2	2.0
	地場産物の供給状況、使用状況、生育状況、品質・価格・市場動向等について現状報告をする	1	0	0	0	0	1	1	1.0
	納入可能な食材の種類や数量、期間等を検討する	0	0	1	0	0	1	3	3.0
	少数の作物の供給量を増やす	0	1	0	0	0	1	2	2.0
	体制を整える	改善策	全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)
体制を整える	地場産物を一括で優先的に安価に納品できる環境を整える	0	0	1	0	0	1	3	3.0

配 送 手 段 を 整 え る	改善策	改善可能性	全く改善できない	あまり改善できない	どちらともいえない	やや改善できる	大いに改善できる	合計	合計	平均
			(*1)	(*2)	(*3)	(*4)	(*5)	(市)	(点)	(点)
配 送 手 段 を 整 え る	流通業者に地場産物の取り扱いを増やしてもらう		0	0	1	0	0	1	3	3.0
	配送を専門に行う人員を自治で確保する		0	1	0	0	0	1	2	2.0
食 材 の 調 達 を 工 夫 す る	改善策	改善可能性	全く改善できない	あまり改善できない	どちらともいえない	やや改善できる	大いに改善できる	合計	合計	平均
			(*1)	(*2)	(*3)	(*4)	(*5)	(市)	(点)	(点)
	地場産野菜生産出荷組合と給食センター間で、献立に合わせて栽培や出荷量を調整する		0	0	1	0	0	1	3	3.0
	使用頻度の高い物(にんじん,玉ねぎ,じゃがいも等)を年中供給できる体制を整える		0	0	1	0	0	1	3	3.0
	特別栽培の推奨を行う		0	1	0	0	0	1	2	2.0
	計画的に栽培し計画的に購入する仕組みをつくる		0	0	1	0	0	1	3	3.0
品質及び規格が均一で作業しやすい食材を提供してもらう		0	1	0	0	0	1	2	2.0	
意 識	改善策	改善可能性	全く改善できない	あまり改善できない	どちらともいえない	やや改善できる	大いに改善できる	合計	合計	平均
			(*1)	(*2)	(*3)	(*4)	(*5)	(市)	(点)	(点)
	地域全体で地場産物を優先的に使用する意識を向上させる		0	0	1	0	0	1	3	3.0
市でなるべく,市産→県産→国産の順で食材を使用しようとする意識を		0	1	0	0	0	1	2	2.0	
加 工	改善策	改善可能性	全く改善できない	あまり改善できない	どちらともいえない	やや改善できる	大いに改善できる	合計	合計	平均
			(*1)	(*2)	(*3)	(*4)	(*5)	(市)	(点)	(点)
	安価で大量調理にふさわしい加工品を開発する		0	0	0	1	0	1	4	4.0
連 携	改善策	改善可能性	全く改善できない	あまり改善できない	どちらともいえない	やや改善できる	大いに改善できる	合計	合計	平均
			(*1)	(*2)	(*3)	(*4)	(*5)	(市)	(点)	(点)
	県と市の取り組み方に積極的な運動性を持たせる		0	0	1	0	0	1	3	3.0
	出荷組織と連携をする(発注量の確保・変更等に柔軟に対応するため)		0	0	1	0	0	1	3	3.0
	学校・農家・教育委員会と連携をとる		0	1	0	0	0	1	2	2.0
	学校側が前年度に使用した月ごとの野菜の品目と数量を把握し,生産者や農協に提示する		1	0	0	0	0	1	1	1.0
	生産者(JA)と給食センターが連携して野菜の使用計画を立てる		0	1	0	0	0	1	2	2.0
	JAとの連携		0	0	1	0	0	1	3	3.0
	生産者と食材提供価格の調整		0	0	1	0	0	1	3	3.0
	栄養士と生産者が積極的にコミュニケーションをとる		0	1	0	0	0	1	2	2.0
	地元の商店とのつながりを強く持つ		0	1	0	0	0	1	2	2.0
	農家・仲介業者・自治体のそれぞれに利益があるように需要と供給をすり合わせる		0	1	0	0	0	1	2	2.0
農政管轄部署や府県との連携(農業従事者と農地の確保)		0	0	1	0	0	1	3	3.0	
協 力	改善策	改善可能性	全く改善できない	あまり改善できない	どちらともいえない	やや改善できる	大いに改善できる	合計	合計	平均
			(*1)	(*2)	(*3)	(*4)	(*5)	(市)	(点)	(点)
	地元の農産物生産販売組合や地元販売店から生産情報を早めに知らせてもらう		0	1	0	0	0	1	2	2.0
栄養士だけでなく市の産業経済課,JAなどからの情報提供や協力		0	1	0	0	0	1	2	2.0	
農 家 と 契 約	改善策	改善可能性	全く改善できない	あまり改善できない	どちらともいえない	やや改善できる	大いに改善できる	合計	合計	平均
			(*1)	(*2)	(*3)	(*4)	(*5)	(市)	(点)	(点)
	地元農家と直接契約し,年度当初に使う数量を事前に確保する		0	0	1	0	0	1	3	3.0
市 か ら 生 産 者 へ の 対 応	改善策	改善可能性	全く改善できない	あまり改善できない	どちらともいえない	やや改善できる	大いに改善できる	合計	合計	平均
			(*1)	(*2)	(*3)	(*4)	(*5)	(市)	(点)	(点)
	生産者への支援や後継者の育成等々の農業振興策を行う		0	1	0	0	0	1	2	2.0
	農家が安心して栽培できる環境を整える		0	1	0	0	0	1	2	2.0
生産者人口や生産地面積が増えるような働きかけを市農政担当者とする		0	1	0	0	0	1	2	2.0	

	改善策	改善可能性	改善可能性					合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
			全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)			
外部	早朝の配送や、数量の確保等、大きな組織を通して、安定的な供給を行う		0	0	1	0	0	1	3	3.0
	府県産大豆を使用した製品を安く入手する		0	0	1	0	0	1	3	3.0
	ハムやさつま揚げのような原料も外国産が多い食材に代わる製品を見つける		0	0	1	0	0	1	3	3.0
	果物を安価で皮をむく、カットする、個包装にしてくれる業者を見つける		0	1	0	0	0	1	2	2.0
	発注された食材を取りまとめ、生産者と連絡及び調整しながら、食材が確実に納品されるように調理場と生産者との間に入るコーディネーターを見つける		1	0	0	0	0	1	1	1.0
情報発信	改善策	改善可能性	全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	学校給食に地場産物を使用した際、子供達の様子や感想等を業者・生産者へ発信する		1	0	0	0	0	1	1	1.0
	生産者側から地場産物についての情報を発信する		0	1	0	0	0	1	2	2.0
	生産者から、農産物の生産状況や生産量等についての確実な細かい情報発信を定期的に行なう		0	1	0	0	0	1	2	2.0
コスト	改善策	改善可能性	全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	割高感のない価格設定にする		0	0	0	1	0	1	4	4.0
	保護者の理解を得、給食費を上げる		0	1	0	0	0	1	2	2.0
	産業振興面からの購入費補助を行う		0	0	1	0	0	1	3	3.0
理解	改善策	改善可能性	全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	生産者と学校栄養士が交流を深め、学校給食への地域や農家の理解を促す		0	1	0	0	0	1	2	2.0
	生産者と子供たちが給食を一緒に食べる機会を設け、「とれたての食材を子供たちに届けたい」という思いを深める		0	1	0	0	0	1	2	2.0
その他	改善策	改善可能性	全く改善できない (*1)	あまり改善できない (*2)	どちらともいえない (*3)	やや改善できる (*4)	大いに改善できる (*5)	合計 (市)	合計 (点)	平均 (点)
	月1回の地場産物Dayを設ける		0	0	1	0	0	1	3	3.0
	調理場の設備、機器、器具等の採用と活用をする		1	0	0	0	0	1	1	1.0

付録4 改善策の標準偏差（改善可能性・実施可能性）

※標準偏差が1.25以上：赤字で赤いセル

改善可能性・実施可能性どちらの標準偏差も1.25未満：黄色のセル

安定的な供給量の確保における標準偏差（背景：提供数が多い）

話し合いの場を設ける	改善策	改善可能性の標準偏差	実施可能性の標準偏差
	栄養教諭や地元農家等の関係者で使用する食材の意見交換をする	0.853	1.398
前年の納入や取り組み等についての反省をする	1.023	1.093	
納入可能な食材の種類や数量, 期間等を検討する	0.735	1.350	
意識	改善策	改善可能性の標準偏差	実施可能性の標準偏差
	市でなるべく, 市産→県産→国産の順で食材を使用しようと意識する	0.650	1.224
連携	改善策	改善可能性の標準偏差	実施可能性の標準偏差
	学校・農家・教育委員会と連携をとる	0.788	1.283
	JAとの連携	0.785	1.477
情報発信	改善策	改善可能性の標準偏差	実施可能性の標準偏差
	学校給食に地場産物を使用した際, 子供達の様子や感想等を業者・生産者へ発信する	0.789	1.072

安定的な供給量の確保における標準偏差（背景：生産者の確保が難しい）

話し合いの場を設ける	改善策	改善可能性の標準偏差	実施可能性の標準偏差
	栄養教諭や地元農家等の関係者で使用する食材の意見交換をする	1.249	1.398
前年の納入や取り組み等についての反省をする	1.221	1.093	
納入可能な食材の種類や数量, 期間等を検討する	1.100	1.350	
意識	改善策	改善可能性の標準偏差	実施可能性の標準偏差
	市でなるべく, 市産→県産→国産の順で食材を使用しようと意識する	0.663	1.224
連携	改善策	改善可能性の標準偏差	実施可能性の標準偏差
	学校・農家・教育委員会と連携をとる	1.118	1.283
	JAとの連携	0.696	1.477
情報発信	改善策	改善可能性の標準偏差	実施可能性の標準偏差
	学校給食に地場産物を使用した際, 子供達の様子や感想等を業者・生産者へ発信する	1.053	1.072

安定的な供給量の確保における標準偏差（背景：特産品がない）

話し合いの場を設ける	改善策	改善可能性	改善可能性の標準偏差	実施可能性の標準偏差
	栄養教諭や地元農家等の関係者で使用する食材の意見交換をする		0.500	1.398
	前年の納入や取り組み等についての反省をする		1.000	1.093
	納入可能な食材の種類や数量, 期間等を検討する		0.500	1.350
意識	改善策	改善可能性	改善可能性の標準偏差	実施可能性の標準偏差
	市でなるべく, 市産→県産→国産の順で食材を使用しようと意識する		0.000	1.224
連携	改善策	改善可能性	改善可能性の標準偏差	実施可能性の標準偏差
	学校・農家・教育委員会と連携をとる		0.000	1.283
	JAとの連携		1.000	1.477
情報発信	改善策	改善可能性	改善可能性の標準偏差	実施可能性の標準偏差
	学校給食に地場産物を使用した際, 子供達の様子や感想等を業者・生産者へ発信する		1.000	1.072

安定的な供給量の確保における標準偏差

(背景：収穫時期と使用時期が乖離しているため)

話し合いの場を設ける	改善策	改善可能性	改善可能性の標準偏差	実施可能性の標準偏差
	栄養教諭や地元農家等の関係者で使用する食材の意見交換をする		1.299	1.398
	前年の納入や取り組み等についての反省をする		0.707	1.093
	納入可能な食材の種類や数量, 期間等を検討する		1.299	1.350
意識	改善策	改善可能性	改善可能性の標準偏差	実施可能性の標準偏差
	市でなるべく, 市産→県産→国産の順で食材を使用しようと意識する		1.225	1.224
連携	改善策	改善可能性	改善可能性の標準偏差	実施可能性の標準偏差
	学校・農家・教育委員会と連携をとる		0.707	1.283
	JAとの連携		1.090	1.477
情報発信	改善策	改善可能性	改善可能性の標準偏差	実施可能性の標準偏差
	学校給食に地場産物を使用した際, 子供達の様子や感想等を業者・生産者へ発信する		1.000	1.072

品質における標準偏差（背景：統一した品目や形状の地場産食材の数量確保）

話し合いの場を設ける	改善策	改善可能性の標準偏差	実施可能性の標準偏差
	栄養教諭や地元農家等の関係者で使用する食材の意見交換をする	0.898	1.398
	前年の納入や取り組み等についての反省をする	0.745	1.093
	納入可能な食材の種類や数量、期間等を検討する	0.687	1.350
意識	改善策	改善可能性の標準偏差	実施可能性の標準偏差
	市でなるべく、市産→県産→国産の順で食材を使用しようと意識する	1.095	1.224

品質における標準偏差

（背景：地場産物にこだわりすぎて、質の悪いものを出すのは避けたい）

話し合いの場を設ける	改善策	改善可能性の標準偏差	実施可能性の標準偏差
	栄養教諭や地元農家等の関係者で使用する食材の意見交換をする	0.748	1.398
	前年の納入や取り組み等についての反省をする	0.632	1.093
	納入可能な食材の種類や数量、期間等を検討する	0.894	1.350
意識	改善策	改善可能性の標準偏差	実施可能性の標準偏差
	市でなるべく、市産→県産→国産の順で食材を使用しようと意識する	0.866	1.224

品質における標準偏差（背景：虫や砂などの異物が混入している）

話し合いの場を設ける	改善策	改善可能性の標準偏差	実施可能性の標準偏差
	栄養教諭や地元農家等の関係者で使用する食材の意見交換をする	0.500	1.398
	前年の納入や取り組み等についての反省をする	0.433	1.093
	納入可能な食材の種類や数量、期間等を検討する	0.829	1.350
意識	改善策	改善可能性の標準偏差	実施可能性の標準偏差
	市でなるべく、市産→県産→国産の順で食材を使用しようと意識する	0.866	1.224

流通における標準偏差

(背景：地場産物を学校まで届ける納入ルート（配送車、人）の確保)

話し合いの場を設ける	改善策	改善可能性	改善可能性の標準偏差	実施可能性の標準偏差
	栄養教諭や地元農家等の関係者で使用する食材の意見交換をする			1.414
	前年の納入や取り組み等についての反省をする		1.247	1.093
	納入可能な食材の種類や数量, 期間等を検討する		1.414	1.350
意識	改善策	改善可能性	改善可能性の標準偏差	実施可能性の標準偏差
	市でなるべく, 市産→県産→国産の順で食材を使用しようと意識する		1.414	1.224
連携	改善策	改善可能性	改善可能性の標準偏差	実施可能性の標準偏差
	学校・農家・教育委員会と連携をとる		1.000	1.283
	JAとの連携		0.500	1.477
情報発信	改善策	改善可能性	改善可能性の標準偏差	実施可能性の標準偏差
	学校給食に地場産物を使用した際, 子供達の様子や感想等を業者・生産者へ発信する		1.000	1.072